

市内中小企業の景況について  
(第 106 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態、経営動向などを把握するため、四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたのでお知らせします。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 25 年 3 月
- ・ 調査対象期間 平成 25 年 1 月～3 月期 (3 箇月実績) / 平成 25 年 4～6 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 379 社, 非製造業 421 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。516 社が回答 (回収率 64.5%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	270 ( 52.3 )	非製造業	246 ( 47.7 )
西陣	26 ( 5.0 )	卸売	61 ( 11.8 )
染色	37 ( 7.2 )	小売	50 ( 9.7 )
印刷	24 ( 4.7 )	情報通信	19 ( 3.7 )
窯業	20 ( 3.9 )	飲食・宿泊	25 ( 4.8 )
化学	22 ( 4.3 )	サービス	53 ( 10.3 )
金属	28 ( 5.4 )	建設	38 ( 7.4 )
機械	29 ( 5.6 )	不明	0 ( 0.0 )
その他の製造	84 ( 16.3 )	合 計	516 ( 100.0 )

➤ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

➤ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

# 調査結果概要

## 1. 景気動向調査について

- 今期の企業景気DIは、全業種で1.9ポイント上昇した。政府の経済対策や進行する円安株高を背景とする景気回復への期待感から、一部では原材料・仕入コストの上昇などのマイナス要因はあったものの、製造業で3.5ポイント、非製造業で0.6ポイントとそれぞれ上昇し、3期ぶりに改善した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全業種で5.3ポイント上昇した。製造業で5.9ポイント、非製造業でも4.7ポイントとそれぞれ上昇した。新政権の経済対策により消費マインドが回復基調にあることを背景に、円安による原材料や輸入燃料価格の上昇、海外経済情勢や外交問題への不安等は残されているものの、今後の景気回復への期待は高まっている。

### (1) 今期実績 平成25年1月～3月期

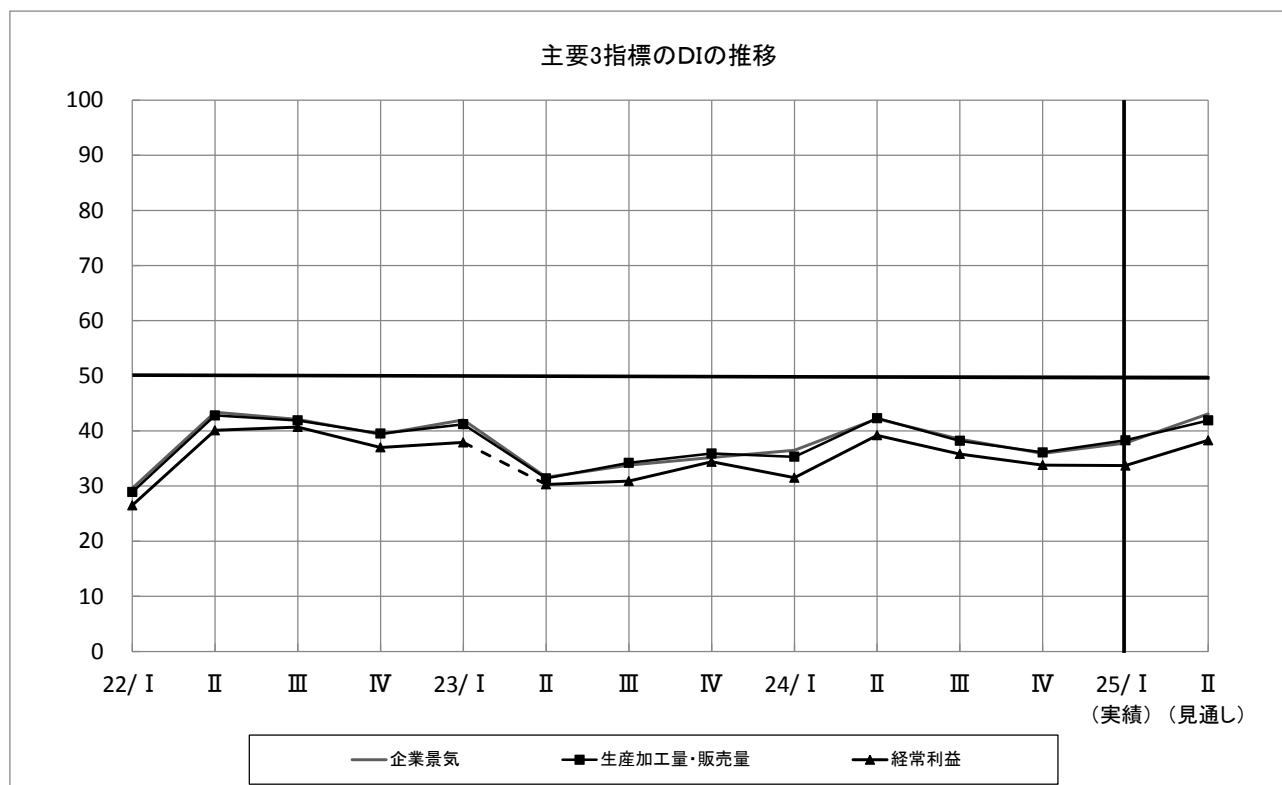
今期（平成25年1月～3月期）の全業種のDIは、企業景気DIが37.8と、前期と比較し1.9ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは38.3で同2.2ポイント上昇、経常利益DIは33.7で横ばいとなった。

#### ・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	37.8 (△1.9)	38.3 (△2.2)	33.7 (△0.0)
(製造業)	36.4 (△3.5)	36.8 (△3.7)	32.9 (△1.3)
(非製造業)	39.4 (△0.6)	40.3 (△0.9)	34.7 (▼1.2)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期、△は上昇、▼は低下を示す。）

#### ・主要3指標のDIの推移



全業種の企業景気DIは、平成24年後半は海外経済不安や円高、日中関係の悪化等により若干低下したものの、新政権の経済政策に対する期待感もあり、今期は再び回復した。

製造業全体の企業景気DIは3.5ポイント上昇した。「経費削減で利益が改善」(上京区/西陣)、「営業努力」(東山区/窯業)、「昨年に発行を予定していた案件が、3月に延期され発行予定」(左京区/印刷)、「官公庁及び大学関係からの受注増と製造品に対する引き合いが増加」(左京区/その他の製造業)、「円安基調への転換による設備投資の増加」(下京区/機械)、「受注回復」(山科区/金属)といった、経費削減や営業における自助努力によるものや、延期されていた案件の確定、官公庁関連の年度未受注、その他設備投資関連の受注の増加により、西陣、窯業、印刷、機械、金属、その他の製造の6業種が上昇した。一方、「円安の為、海外から購入している原料及びナフサ等の国内原料の価格が上昇しておりコストアップとなっている。」(中京区/化学)や、「メーカーの海外生産への移行とプリント服の需要の減少」(右京区/染色)といった、円安の影響や得意先の海外移転、製品に対する需要の減少により化学、染色が低下した。

非製造業全体の企業景気DIは0.6ポイント上昇した。「政権交代により官公庁の科学技術関連の予算が増加し、業績は好調」(中京区/卸売)、「前年に実施した改装の効果が出ている」(下京区/飲食・宿泊)、「省エネの推進に伴い、顧客先の設備投資により売上が増加」(上京区/サービス)といった政権交代による政策転換の影響や設備投資の回復に加えて、自助努力による業績アップもあり、卸売、飲食・宿泊、サービスが上昇した。一方、「仕入の8割以上が輸入品のため、急激な円安の影響を受け業況が悪化」(右京区/小売)、「IT投資の減少」(中京区/情報通信)、「全般的に工事量が減少」(右京区/建設)といった、円安の影響やIT投資の停滞に加えて官民の工事需要の減退で、小売、情報通信、建設は低下した。

観光関連については、震災後2年が経過して外国人観光客の回復は見られているものの、近隣諸国との外交問題や日帰り客の増加に伴う客単価の低下、修学旅行客の減少等もあり、0.3ポイントの上昇と微増にとどまった。

今回の調査では、デフレ脱却を目標とした政府の経済政策への期待感から、14業種中9業種で企業景気DIが上昇し、景況感は改善した。しかし、経済対策に伴う需要増加は一部に留まっており、今後の更なる設備投資や消費の回復を期待する声が高まっている。一方で、円安基調への転換により原材料の仕入価格の上昇への懸念も強まっている。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中5業種であり、いずれも低下した業種は3業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	43.8 ( △ 6.8 )	50.0 ( △ 10.9 )	37.5 ( △ 2.7 )
金属	32.1 ( △ 12.9 )	33.3 ( △ 12.1 )	35.2 ( △ 10.2 )
機械	31.0 ( △ 6.9 )	34.5 ( △ 8.6 )	29.3 ( △ 3.4 )
その他の製造	39.9 ( △ 2.7 )	38.7 ( △ 0.3 )	34.5 ( △ 1.2 )
卸売	40.2 ( △ 3.7 )	40.5 ( △ 3.8 )	37.5 ( △ 4.2 )

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	31.1 ( ▼ 3.9 )	25.0 ( ▼ 7.3 )	30.6 ( ▼ 3.3 )
小売	28.7 ( ▼ 3.8 )	34.8 ( ▼ 1.4 )	25.0 ( ▼ 7.8 )
情報通信	50.0 ( ▼ 11.1 )	55.9 ( ▼ 7.4 )	41.7 ( ▼ 8.3 )

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。）

## (2) 来期見通し 平成25年4月～6月期

来期（平成25年4月～6月期）の全業種のDIの見通しは、企業景気DIが43.1となり、今期と比較し5.3ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは41.9で同3.6ポイントの上昇、経常利益DIは38.3で同4.6ポイントの上昇となった。

### ・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.1 (△5.3)	41.9 (△3.6)	38.3 (△4.6)
(製造業)	42.3 (△5.9)	41.6 (△4.8)	38.1 (△5.2)
(非製造業)	44.1 (△4.7)	42.1 (△1.8)	38.5 (△3.8)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇を示す。）

企業景気DIの来期見通しは製造業で5.9ポイント上昇し、非製造業で4.7ポイント上昇した。

製造業では、全ての業種で企業景気DIは上昇した。「市況の改善」（南区／金属）、「円安傾向により輸出向けの受注が増加し、生産量の増加が見込まれる」（南区／機械）、「新製品や新柄の投入により、若干であるが生産量の増加傾向が有る」（上京区／西陣）、「大手メーカーからの新商品の受注の獲得で売上が増加予定」（下京区／その他の製造）といった市況改善や円安による海外向けの受注増加に加えて新製品の投入及び新規受注の獲得で金属、機械、西陣、その他の製造で上昇した。また、「染色技術が評価され受注が堅調」（上京区／染色）、「営業努力」（東山区／窯業）、「他社との差別化」（伏見区／化学）といった独自の技術や営業努力が報われて成果へ結びついたという声もあり、染色、窯業、化学が上昇した。

一方、「円安に伴う仕入価格の上昇が予想される中、販売価格に上昇分を上乗せする事が困難」（中京区／西陣）、「原材料高、販売不振」（南区／窯業）といった円安のマイナス効果を危惧する声や「アベノミクスで零円気は良いが、実体経済がどう動くのか不透明。現状から大きく変化がないと予想する」といった今後の動向への慎重な声も寄せられている。

非製造業においては、6業種中4業種の企業景気DIが上昇した。「ネット販売が好調」（山科区／小売）、「新商品の投入」（下京区／情報通信）、「自社商品が支持され顧客が増加」（北区／飲食・宿泊）、「得意先からの紹介が増え顧客が拡大」（山科区／サービス）といった時流の販売チャンネルの展開や新商品の投入に加えて、既存顧客からの紹介による新規開拓で、小売、情報通信、飲食・宿泊、サービスの上昇が見込まれている。また、卸売においては、「4月～5月の納品予定が大幅に増加」（右京区／卸売）というプラスな声がある一方で、「生糸の仕入単価の上昇を販売単価に転嫁できない」（北区／卸売）といったマイナスの声があり、企業景気DIは横ばいとなった。建設においては、「競合激しく受注減少」（東山区／建設）、「工事量の減少」（下京区／建設）といった声があり、企業景気DIは低下している。

なお、観光関連では、外国人観光客の増加への期待や観光シーズン本番を迎えた事もあり、企業景気DIは12.2ポイントと大幅上昇している。

国内経済においては、新政権の経済対策や、それに伴う消費マインドの上昇、民間企業の設備投資意欲の回復などもあり、年明けから続く円安株高傾向も相まって、景気回復に対する期待感が膨らんでいる。ユーロ圏や中国などの海外経済の下振れ懸念や近隣諸国との外交問題が国内経済の回復の妨げとなるリスクは残っているものの、国内景気は先行きに対して明るい兆しが見え始めている。

市内中小企業においては、製造業及び非製造業の企業景気DIは上昇した。新政権による経済対策や円安株高の進行に伴う消費マインドの改善を背景に、設備投資や自社開発の新製品の投入など積極姿勢を見せる企業が増えている。しかし、円安による一部の原材料価格の上昇や電力コストの上昇、中国との外交問題による中国人観光客の減少など先行きに対する不安材料も残されている。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中10業種、いずれも低下と予測している業種は0業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI		生産加工量・販売量DI		経常利益DI	
染色	36.1	( △ 5.0 )	31.4	( △ 6.4 )	35.3	( △ 4.7 )
印刷	47.8	( △ 4.0 )	52.2	( △ 2.2 )	43.5	( △ 6.0 )
化学	50.0	( △ 9.5 )	52.3	( △ 6.8 )	47.6	( △ 4.7 )
金属	40.7	( △ 8.6 )	42.3	( △ 9.0 )	40.4	( △ 5.2 )
機械	44.8	( △ 13.8 )	44.8	( △ 10.3 )	37.9	( △ 8.6 )
その他の製造	44.0	( △ 4.1 )	44.0	( △ 5.3 )	38.6	( △ 4.1 )
小売	39.4	( △ 10.7 )	42.2	( △ 7.4 )	34.4	( △ 9.4 )
情報通信	57.9	( △ 7.9 )	58.8	( △ 2.9 )	55.6	( △ 13.9 )
飲食・宿泊	44.0	( △ 10.0 )	41.3	( △ 10.9 )	29.2	( △ 0.0 )
サービス	48.0	( △ 4.7 )	42.6	( △ 2.6 )	43.2	( △ 2.3 )

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期、△は上昇を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	35.9	<b>37.8</b>	43.1	36.1	<b>38.3</b>	41.9	33.7	<b>33.7</b>	38.3
製造業	32.9	<b>36.4</b>	42.3	33.1	<b>36.8</b>	41.6	31.6	<b>32.9</b>	38.1
非製造業	38.8	<b>39.4</b>	44.1	39.4	<b>40.3</b>	42.1	35.9	<b>34.7</b>	38.5

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	32.9	<b>36.4</b>	42.3	33.1	<b>36.8</b>	41.6	31.6	<b>32.9</b>	38.1
西陣	32.0	<b>34.6</b>	36.0	30.0	<b>36.5</b>	34.0	30.0	<b>23.1</b>	28.0
染色	35.0	<b>31.1</b>	36.1	32.3	<b>25.0</b>	31.4	33.9	<b>30.6</b>	35.3
印刷	37.0	<b>43.8</b>	47.8	39.1	<b>50.0</b>	52.2	34.8	<b>37.5</b>	43.5
窯業	29.4	<b>35.0</b>	37.5	26.5	<b>32.5</b>	30.0	35.3	<b>28.9</b>	34.2
化学	40.9	<b>40.5</b>	50.0	39.1	<b>45.5</b>	52.3	32.6	<b>42.9</b>	47.6
金属	19.2	<b>32.1</b>	40.7	21.2	<b>33.3</b>	42.3	25.0	<b>35.2</b>	40.4
機械	24.1	<b>31.0</b>	44.8	25.9	<b>34.5</b>	44.8	25.9	<b>29.3</b>	37.9
その他の製造	37.2	<b>39.9</b>	44.0	38.4	<b>38.7</b>	44.0	33.3	<b>34.5</b>	38.6
非製造業	38.8	<b>39.4</b>	44.1	39.4	<b>40.3</b>	42.1	35.9	<b>34.7</b>	38.5
卸売	36.5	<b>40.2</b>	40.2	36.7	<b>40.5</b>	38.8	33.3	<b>37.5</b>	38.3
小売	32.5	<b>28.7</b>	39.4	36.2	<b>34.8</b>	42.2	32.8	<b>25.0</b>	34.4
情報通信	61.1	<b>50.0</b>	57.9	63.3	<b>55.9</b>	58.8	50.0	<b>41.7</b>	55.6
飲食・宿泊	29.4	<b>34.0</b>	44.0	30.6	<b>30.4</b>	41.3	25.8	<b>29.2</b>	29.2
サービス	42.7	<b>43.3</b>	48.0	40.5	<b>40.0</b>	42.6	43.2	<b>40.9</b>	43.2
建設	44.7	<b>44.6</b>	44.3	46.8	<b>47.0</b>	39.4	38.6	<b>35.1</b>	35.7
観光関連企業	37.5	<b>37.8</b>	50.0	38.7	<b>37.0</b>	48.9	37.1	<b>35.4</b>	45.7

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	19.4	<b>16.9</b>	17.2

## 2. 当面の経営戦略について

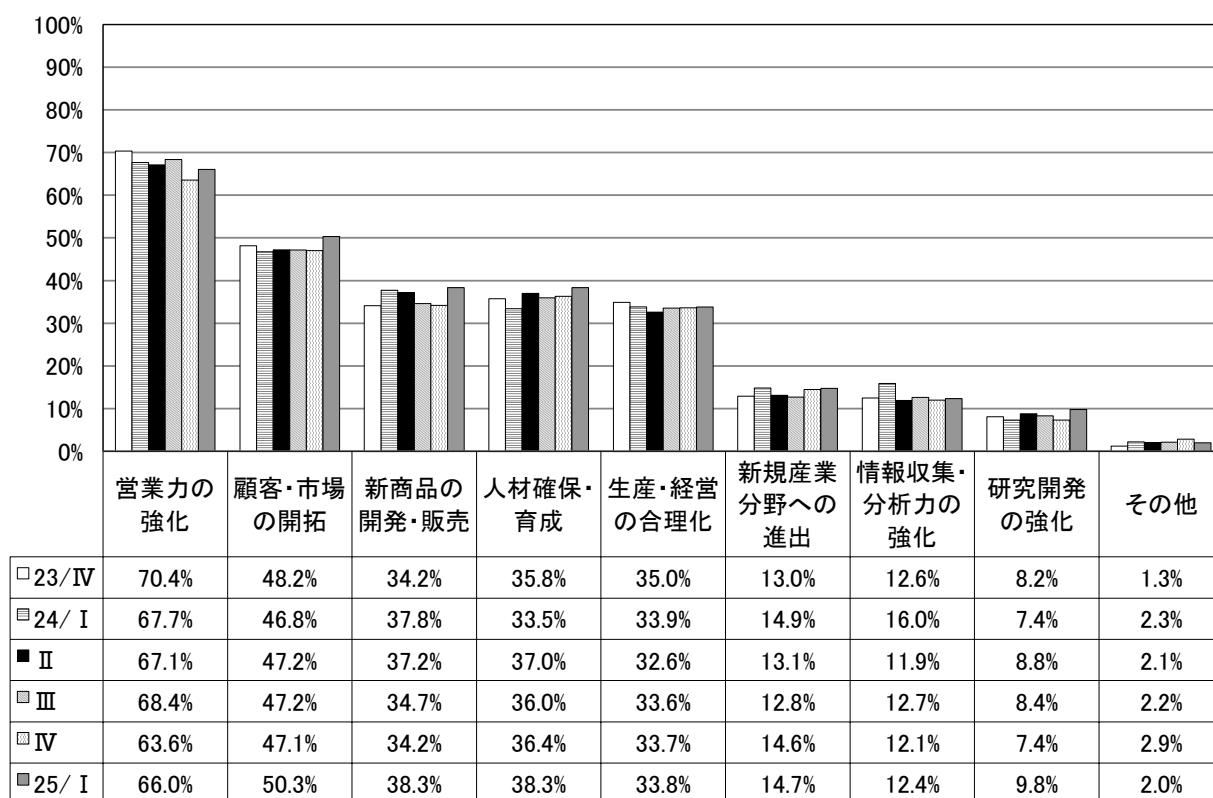
### ● 「営業力の強化」を挙げる企業が66.0%で引き続きトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の66.0%を占め、最も多くなっている。「顧客・市場の開拓」が50.3%で続き、以下同比率の「新商品の開発・販売」、「人材確保・育成」が38.3%、「生産・経営の合理化」が33.8%の順となっている。

前期と比較すると、回答数上位5項目の順位変動として、4位だった「新商品の開発・販売」が同率3位となった。伸長率として、「新商品の開発・販売」が4.1ポイントと最も高く、以下は「顧客・市場の開拓」が3.2ポイント、「営業力の強化」及び「研究開発の強化」が2.4ポイント、「人材育成」が1.9ポイントと続いている。

「新商品の開発・販売」の上昇幅が大きかったことについては、以前より営業力強化に取り組んできた企業が、好転しない業績や経済環境を打破すべく、新たな商品開発・販売に取り組んでいる傾向が窺える。

その他の意見として「内部留保の増大」（南区／機械）といった企業体力の強化を掲げるものや、「店舗改装」（伏見区／小売）として設備投資による集客アップを目指す企業もあった。一方で、「人員整理」（中京区／サービス）などまだまだ厳しい企業環境を示す意見も寄せられた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が100%を超える。

### 3. 経営上の不安要素について

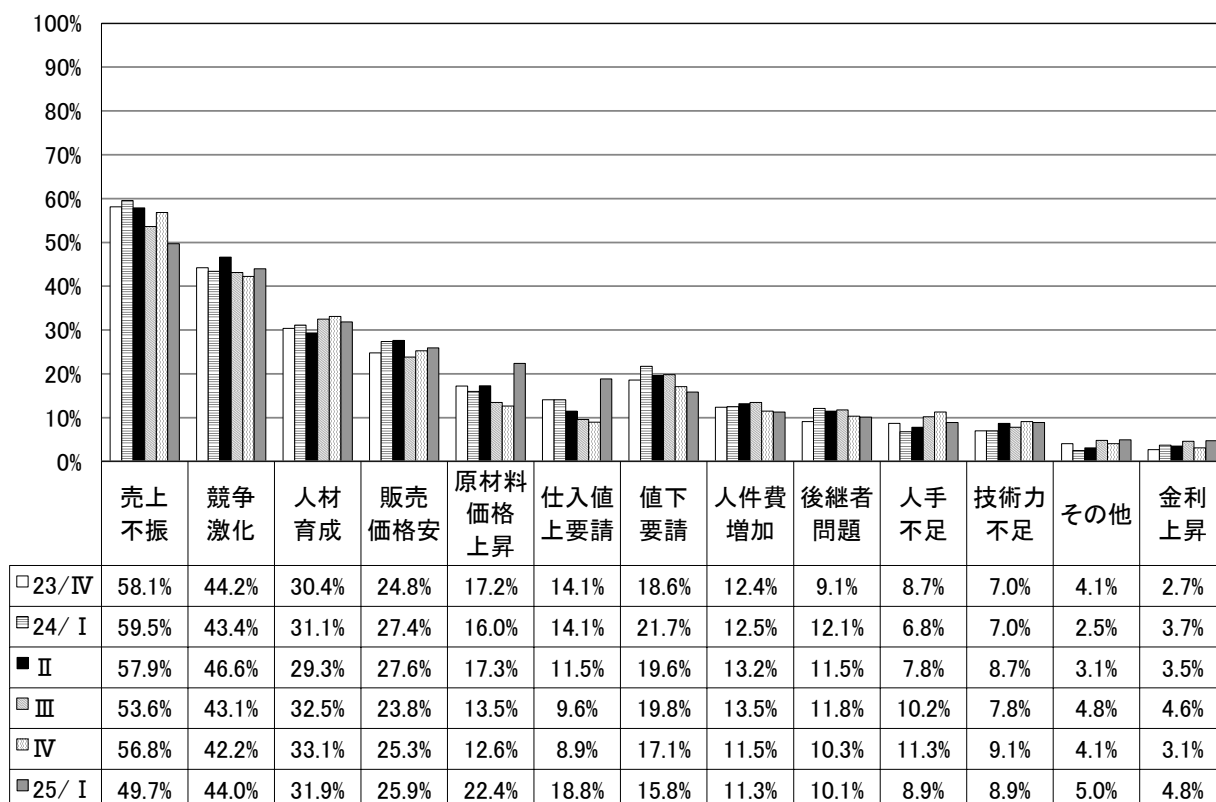
- 「売上不振」を挙げる企業が49.7%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのは「仕入値上要請」の9.9ポイント。

経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が49.7%を占めており、以下「競争激化」が44.0%、「人材育成」が31.9%、「販売価格安」が25.9%、「原材料価格上昇」が22.4%の順となっている。

前期と比較すると、回答上位5項目の順位変動は、上位4位までは変動はなく、5位に「原材料価格上昇」が上がった。今回の特徴として、急激な円安傾向の強まりを反映して「仕入値上要請」9.9ポイント及び「原材料価格上昇」9.8ポイントが突出した上昇幅となっている。また、「原材料価格上昇」を不安要素として捉えている業種は製造業全体で30.5%、非製造業全体で20.7%、特に地場産業の西陣50.0%、染色43.2%及び化学40.0%が上位となった。一方、トップの「売上不振」が7.1ポイント低下しており、各企業の売上不振に対する不安が和らぎつつある様子が窺える。また、非製造業の建設では「売上不振」以上に「競争激化」68.4%の割合が最も多く、厳しい業界状況が反映された結果となっている。

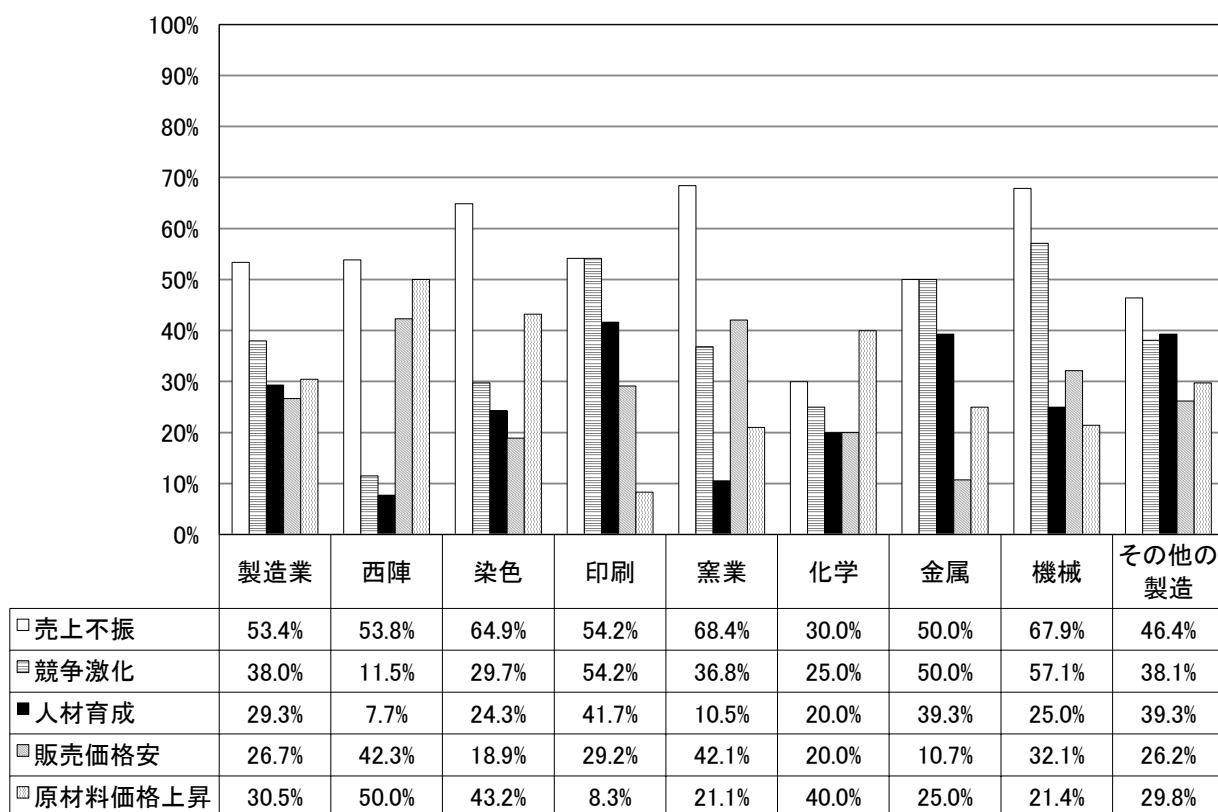
原材料価格の上昇の中では、「原糸」(右京区/西陣)、「金箔」(上京区/西陣)、「燃料」(中京区/染色)、「銅」(伏見区/金属)、「紙・インク」(左京区/印刷)、「原油」(山科区/化学)、「大豆」(伏見区/その他の製造)等への不安が示されている。

その他の意見として「銀行の貸しはがし」(中京区/サービス)、「資金難」(伏見区/卸売)、「経済動向」(伏見区/小売)、「消費税増税」(下京区/その他製造業)といった銀行の対応や資金繰りを含めた経営全般や経済状況全般に対する意見に加え、増税負担に対する不安という意見もあった。また、円安による「電気・ガス等公共料金値上げ」(中京区/染色)や「取引先の閉店」(山科区/その他製造)等、多種多様の意見が寄せられた。

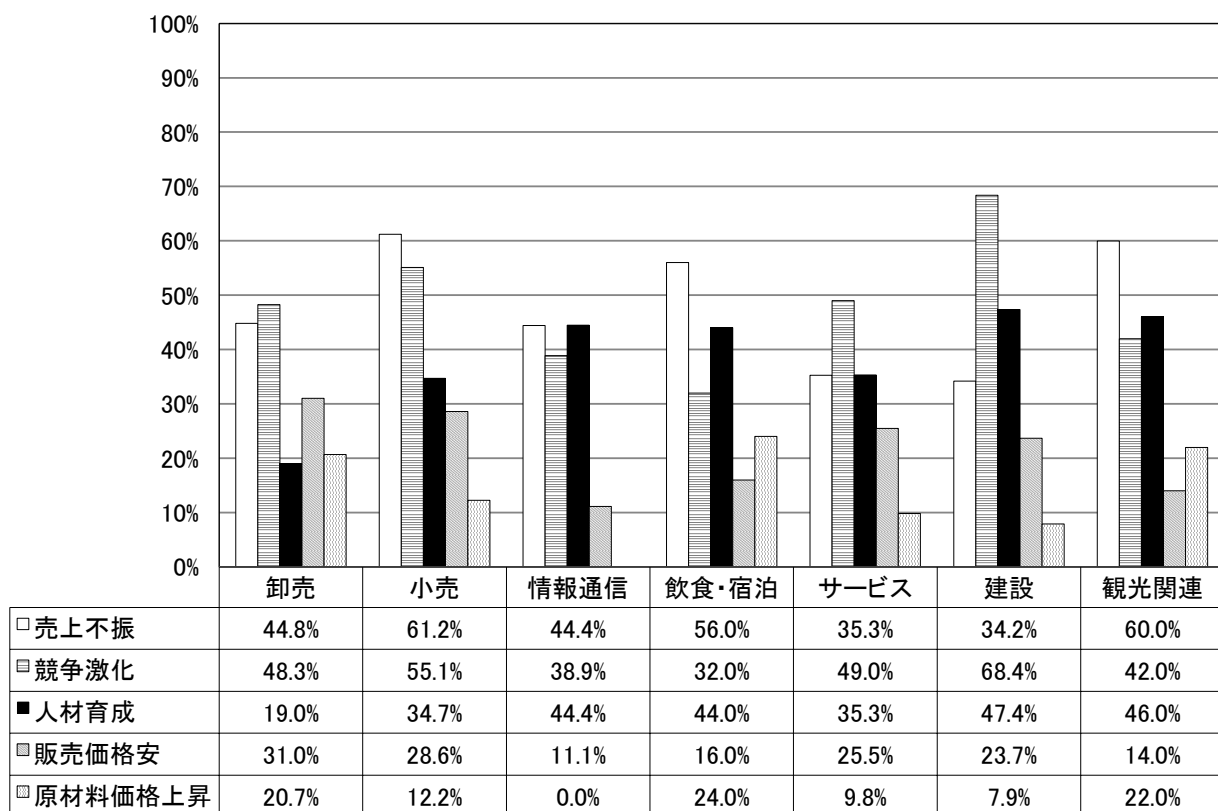


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答



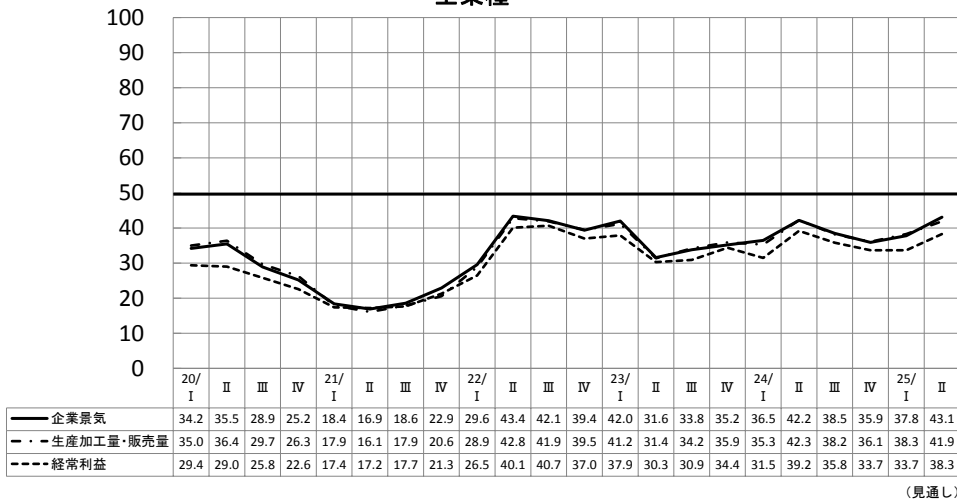
・経営上の不安要素・非製造業主要回答



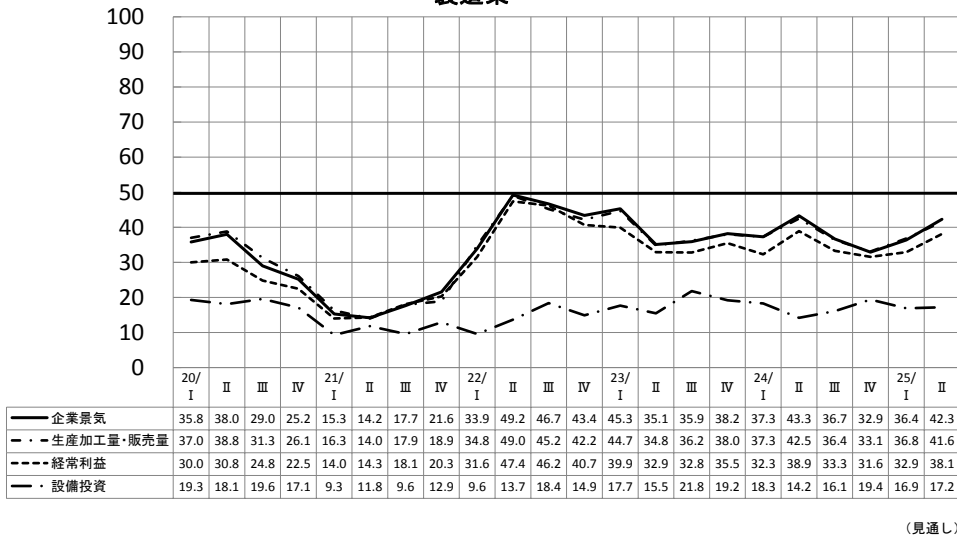


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

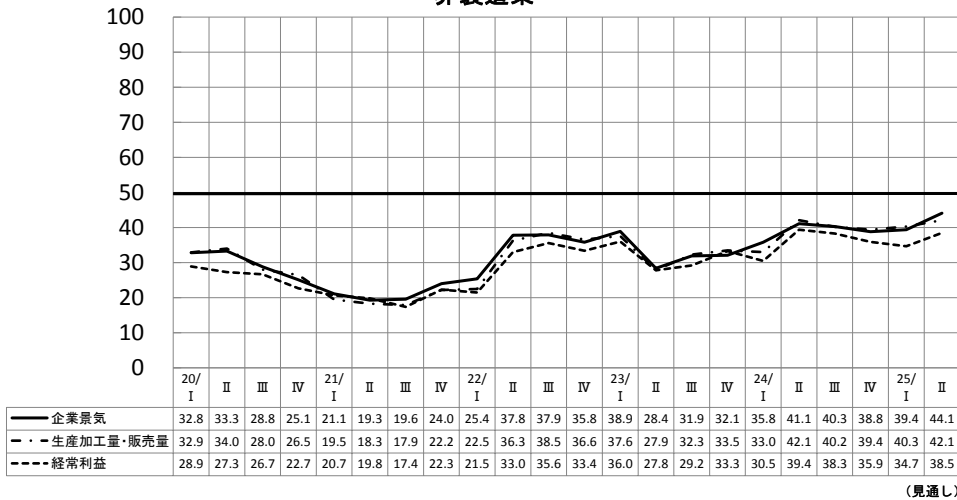
全業種



製造業

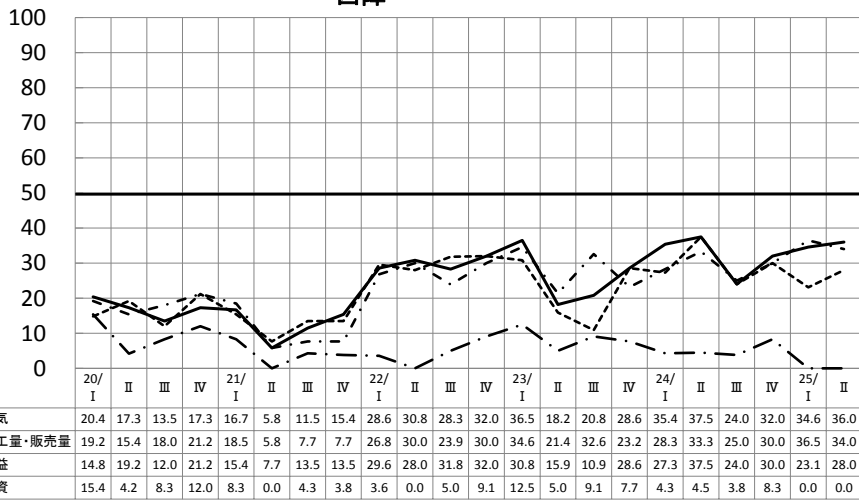


非製造業



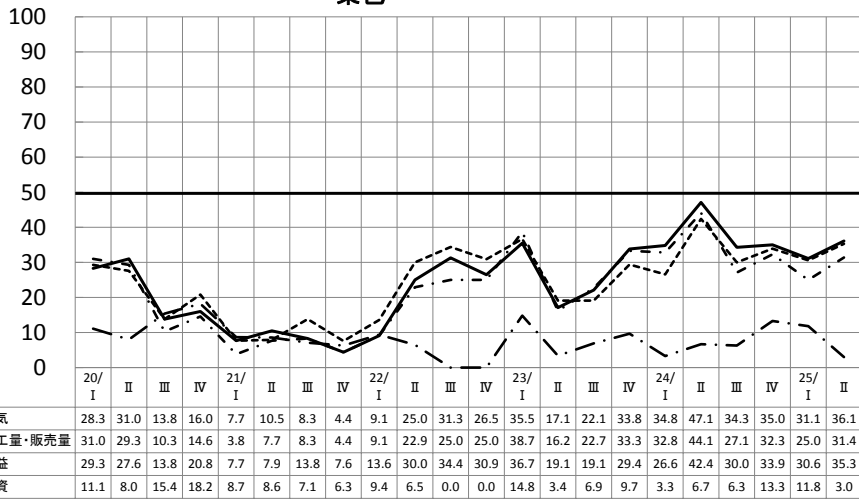
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



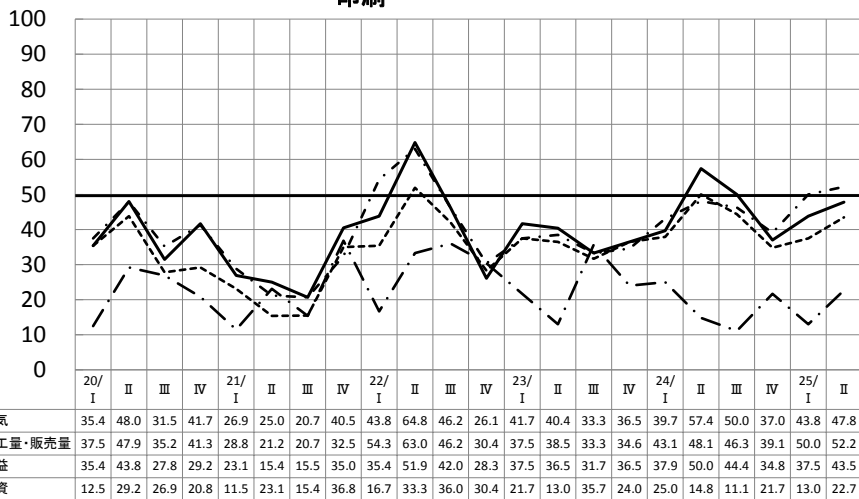
(見通し)

染色



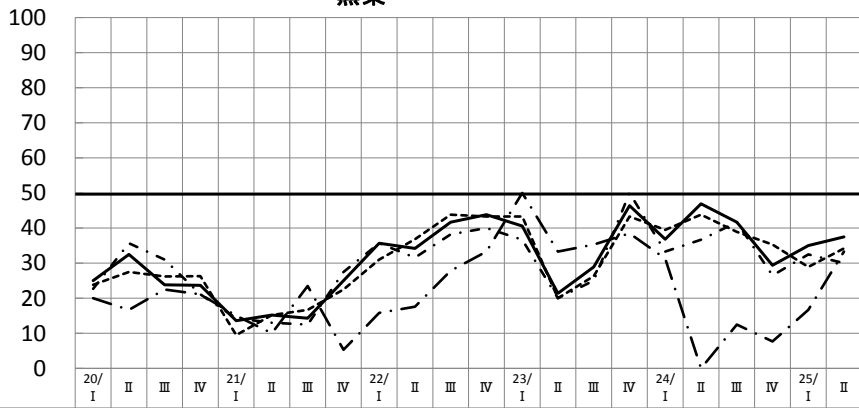
(見通し)

印刷



(見通し)

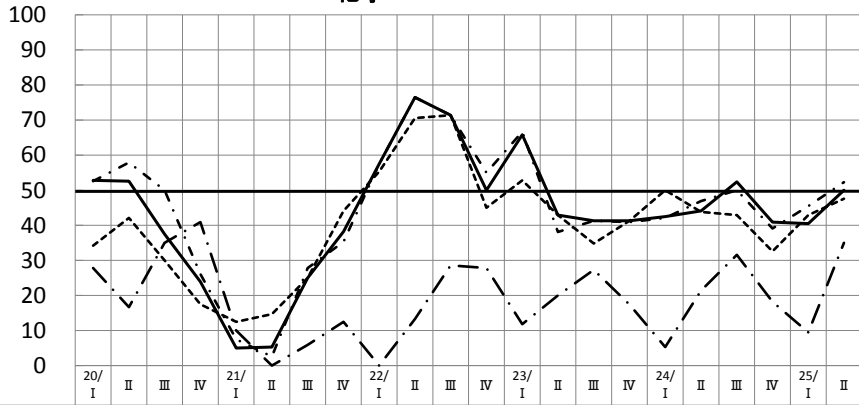
### 窯業



	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II
— 企業景気	25.0	32.5	23.8	23.7	13.6	15.2	14.3	25.0	35.7	34.2	41.7	43.8	40.6	21.4	28.9	46.4	36.8	46.9	41.7	29.4	35.0	37.5
- - - 生産加工量・販売量	22.7	35.7	31.0	21.1	14.3	13.0	12.5	27.5	35.7	31.6	38.2	40.0	36.7	20.0	25.0	50.0	33.3	36.7	41.7	26.5	32.5	30.0
----- 経常利益	23.8	27.5	26.2	26.3	9.5	15.2	16.7	22.5	31.0	36.8	43.8	43.3	43.3	20.0	26.3	43.3	39.5	43.8	38.9	35.3	28.9	34.2
— 設備投資	20.0	16.7	22.5	21.1	15.0	10.0	23.5	5.3	15.8	17.6	27.8	33.3	50.0	33.3	35.3	38.5	31.3	0.0	12.5	7.7	16.7	33.3

(見通し)

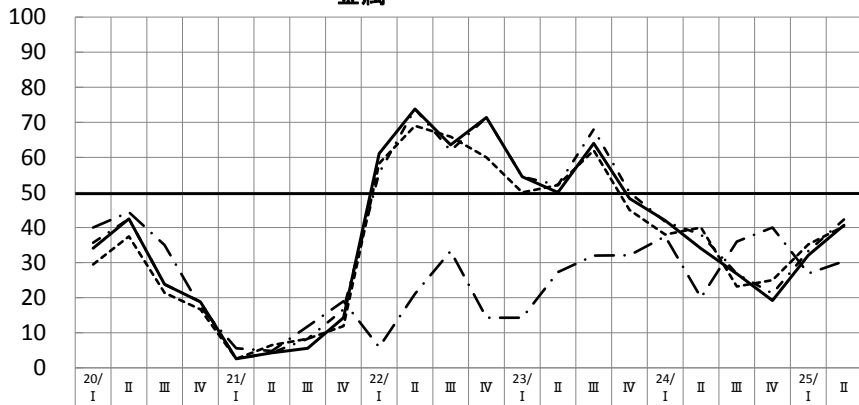
### 化学



	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II
— 企業景気	52.8	52.6	37.5	23.9	5.0	5.3	25.0	38.2	57.5	76.5	71.4	50.0	65.8	42.9	41.3	41.3	42.5	44.1	52.4	40.9	40.5	50.0
- - - 生産加工量・販売量	52.6	57.9	50.0	26.1	7.5	2.6	27.8	35.3	57.5	76.5	71.4	55.0	66.7	38.1	41.3	40.9	42.1	46.9	50.0	39.1	45.5	52.3
----- 経常利益	34.2	42.1	30.0	17.5	12.5	14.7	25.0	44.1	55.3	70.6	71.4	45.0	52.8	42.9	34.8	41.3	50.0	43.8	42.9	32.6	42.9	47.6
— 設備投資	27.8	16.7	35.0	40.9	10.0	0.0	5.9	12.5	0.0	13.3	28.6	27.8	11.8	20.0	27.3	17.4	5.3	21.4	31.6	18.2	9.5	35.0

(見通し)

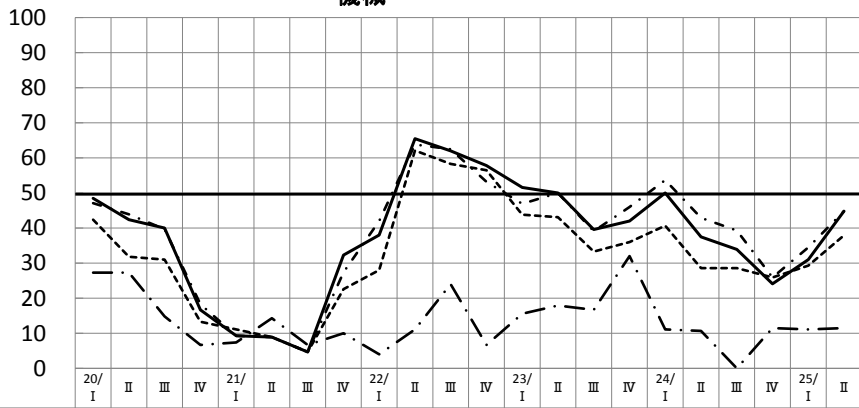
### 金属



	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II
— 企業景気	34.1	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	5.6	14.3	61.1	73.8	63.6	71.4	54.5	50.0	64.0	48.3	42.0	34.0	26.8	19.2	32.1	40.7
- - - 生産加工量・販売量	35.7	42.5	23.8	18.8	2.6	4.3	8.3	16.7	55.6	73.8	61.9	71.4	54.5	52.1	68.0	50.0	41.7	38.0	26.8	21.2	33.3	42.3
----- 経常利益	29.5	37.5	21.4	16.7	2.6	6.5	8.3	11.9	58.3	69.0	65.9	60.0	50.0	52.1	62.0	45.0	38.0	40.0	23.2	25.0	35.2	40.4
— 設備投資	40.0	44.4	35.0	17.4	5.6	4.8	11.8	19.0	5.9	21.1	33.3	14.3	14.3	27.3	32.0	32.1	37.5	20.0	36.0	40.0	26.9	30.4

(見通し)

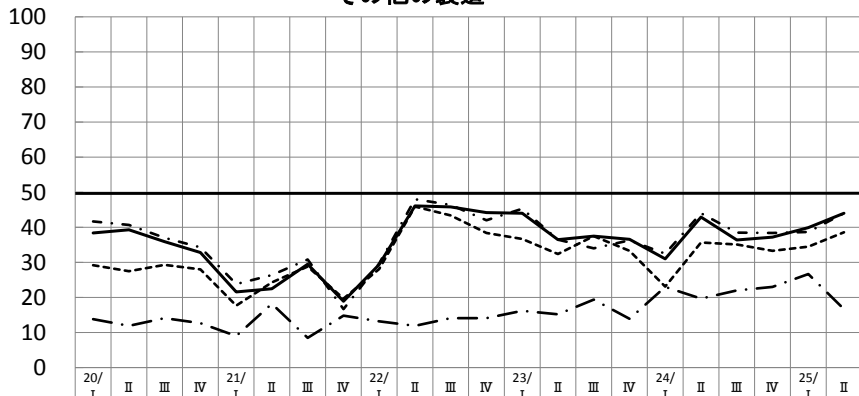
### 機械



	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II
— 企業景気	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.0	57.8	51.6	50.0	39.6	42.0	50.0	37.5	33.9	24.1	31.0	44.8
·· 生産加工量・販売量	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	62.5	53.2	46.9	50.0	39.1	46.0	53.7	42.9	39.3	25.9	34.5	44.8
--- 経常利益	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.3	56.5	43.8	43.1	33.3	36.0	40.7	28.6	28.6	25.9	29.3	37.9
-· 設備投資	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	24.0	6.7	15.6	17.9	16.7	32.0	11.1	10.7	0.0	11.5	11.1	11.5

(見通し)

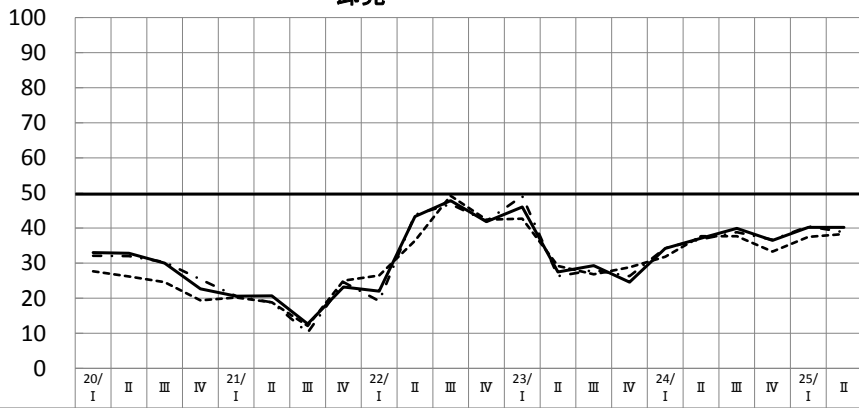
### その他の製造



	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III	IV	23/I	II	III	IV	24/I	II	III	IV	25/I	II
— 企業景気	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	45.8	44.2	44.0	36.5	37.5	36.6	31.0	42.9	36.4	37.2	39.9	44.0
·· 生産加工量・販売量	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	46.4	42.0	45.3	36.5	34.0	36.3	32.5	44.0	38.5	38.4	38.7	44.0
--- 経常利益	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	43.4	38.4	36.7	32.4	37.5	33.3	23.1	35.7	35.1	33.3	34.5	38.6
-· 設備投資	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	14.1	14.1	16.2	15.2	19.4	13.9	23.0	19.7	22.0	23.0	26.7	16.7

(見通し)

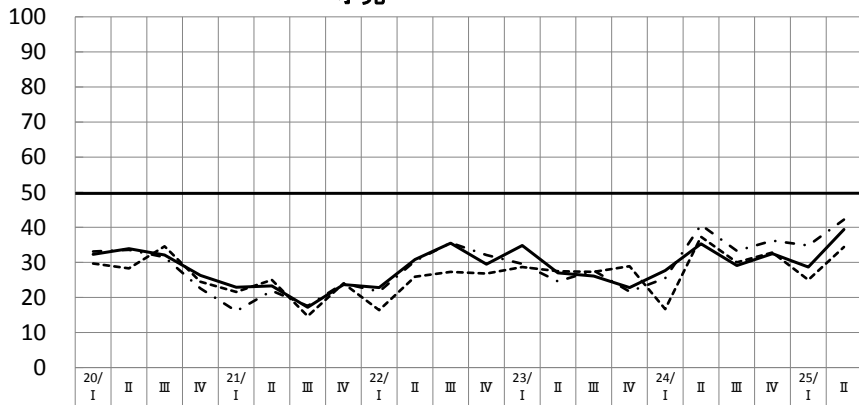
### 卸売



	20/ I	II	III	IV	21/ I	II	III	IV	22/ I	II	III	IV	23/ I	II	III	IV	24/ I	II	III	IV	25/ I	II
— 企業景気	33.0	32.8	30.0	22.7	20.6	20.7	12.7	23.2	22.0	43.3	47.8	41.8	46.0	27.5	29.3	24.6	34.2	37.1	39.9	36.5	40.2	40.2
- - 生産加工量・販売量	32.1	32.0	30.3	25.4	20.6	18.8	10.2	24.6	19.2	43.8	46.8	42.0	49.1	26.3	28.0	26.3	34.3	36.8	38.8	36.7	40.5	38.8
- · - 経常利益	27.7	26.2	24.6	19.4	20.2	18.8	12.1	25.0	26.5	36.4	49.2	42.4	42.7	29.2	26.8	28.8	31.8	37.7	37.7	33.3	37.5	38.3

(見通し)

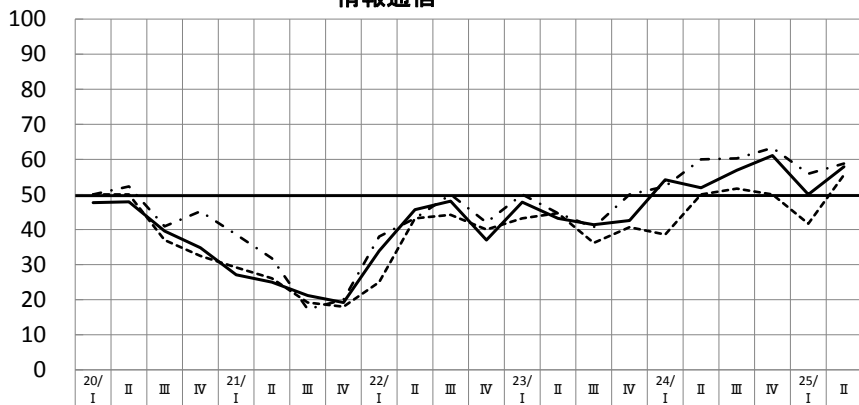
### 小売



	20/ I	II	III	IV	21/ I	II	III	IV	22/ I	II	III	IV	23/ I	II	III	IV	24/ I	II	III	IV	25/ I	II
— 企業景気	32.3	33.9	32.1	26.3	22.9	23.3	17.2	23.7	22.8	30.8	35.5	29.5	34.8	27.0	26.1	22.8	27.7	35.3	29.1	32.5	28.7	39.4
- - 生産加工量・販売量	33.1	33.6	31.5	22.6	16.1	21.9	17.6	24.0	21.7	30.4	35.6	32.1	29.6	24.6	27.7	21.7	25.5	40.7	33.3	36.2	34.8	42.2
- · - 経常利益	29.7	28.3	34.6	24.5	21.6	25.0	14.7	24.0	16.4	25.9	27.3	26.8	28.7	27.5	27.3	28.9	16.7	37.3	30.0	32.8	25.0	34.4

(見通し)

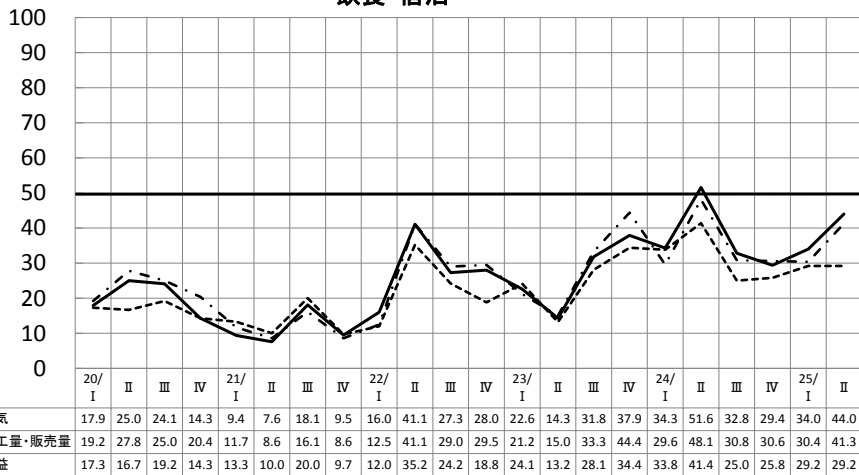
### 情報通信



	20/ I	II	III	IV	21/ I	II	III	IV	22/ I	II	III	IV	23/ I	II	III	IV	24/ I	II	III	IV	25/ I	II
— 企業景気	47.7	47.9	39.6	34.8	27.1	25.0	21.2	19.2	33.9	45.7	48.1	37.0	47.8	43.2	41.4	42.6	54.2	51.9	56.9	61.1	50.0	57.9
- - 生産加工量・販売量	50.0	52.3	40.9	45.2	38.6	31.8	17.3	20.0	38.0	43.2	50.0	42.0	50.0	44.7	40.7	50.0	52.3	60.0	60.3	63.3	55.9	58.8
- · - 経常利益	50.0	50.0	37.0	32.5	29.2	26.1	19.2	18.0	25.0	43.2	44.2	40.0	43.2	44.7	36.2	40.7	38.6	50.0	51.7	50.0	41.7	55.6

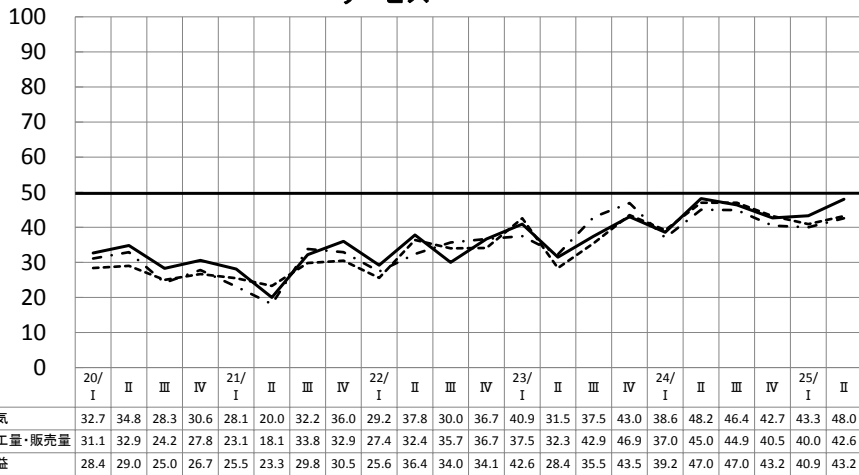
(見通し)

### 飲食・宿泊



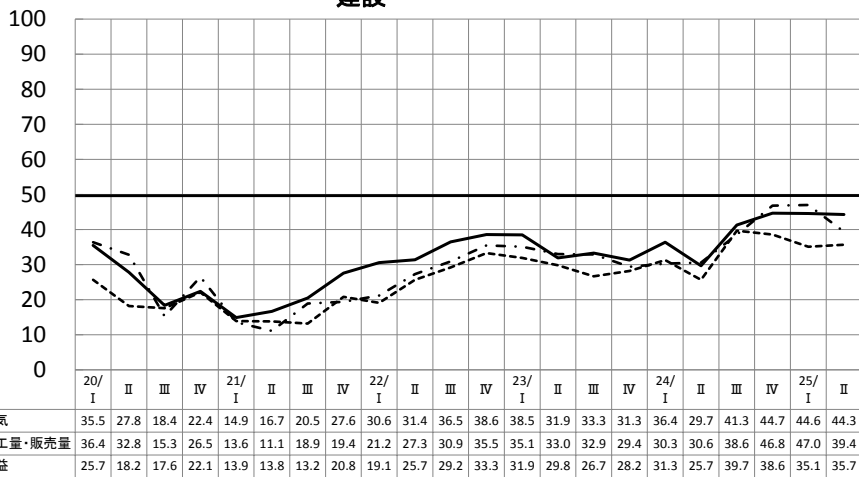
(見通し)

### サービス



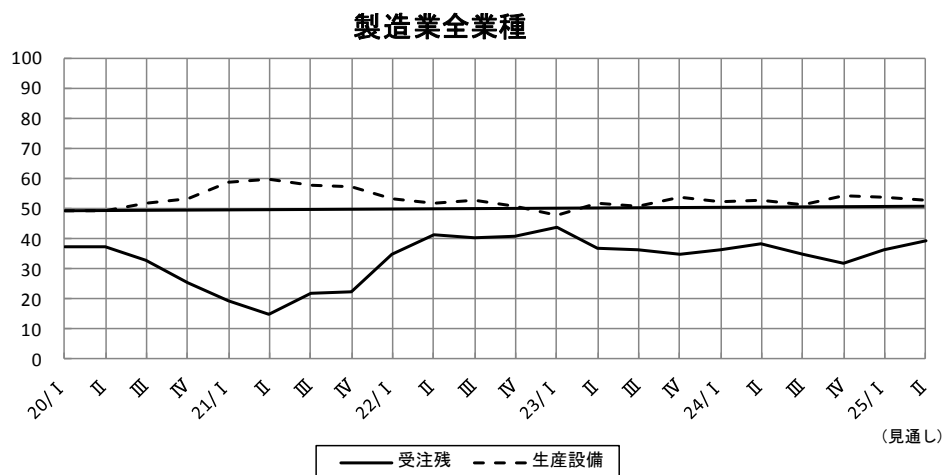
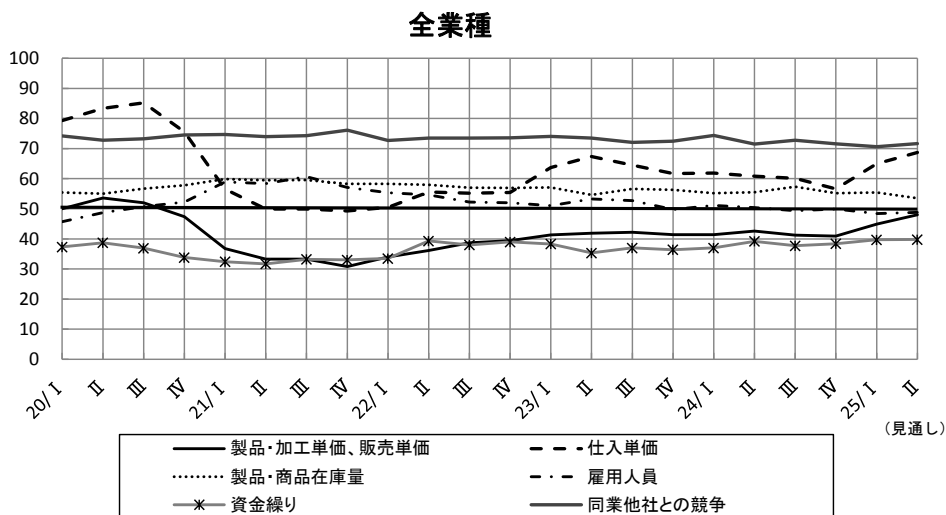
(見通し)

### 建設

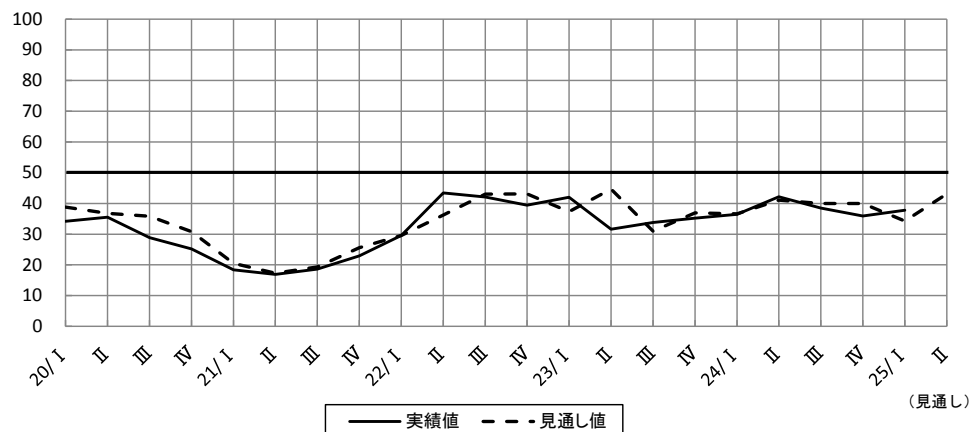


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



## 調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

### 注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。



# (1) 景気動向について

## 1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

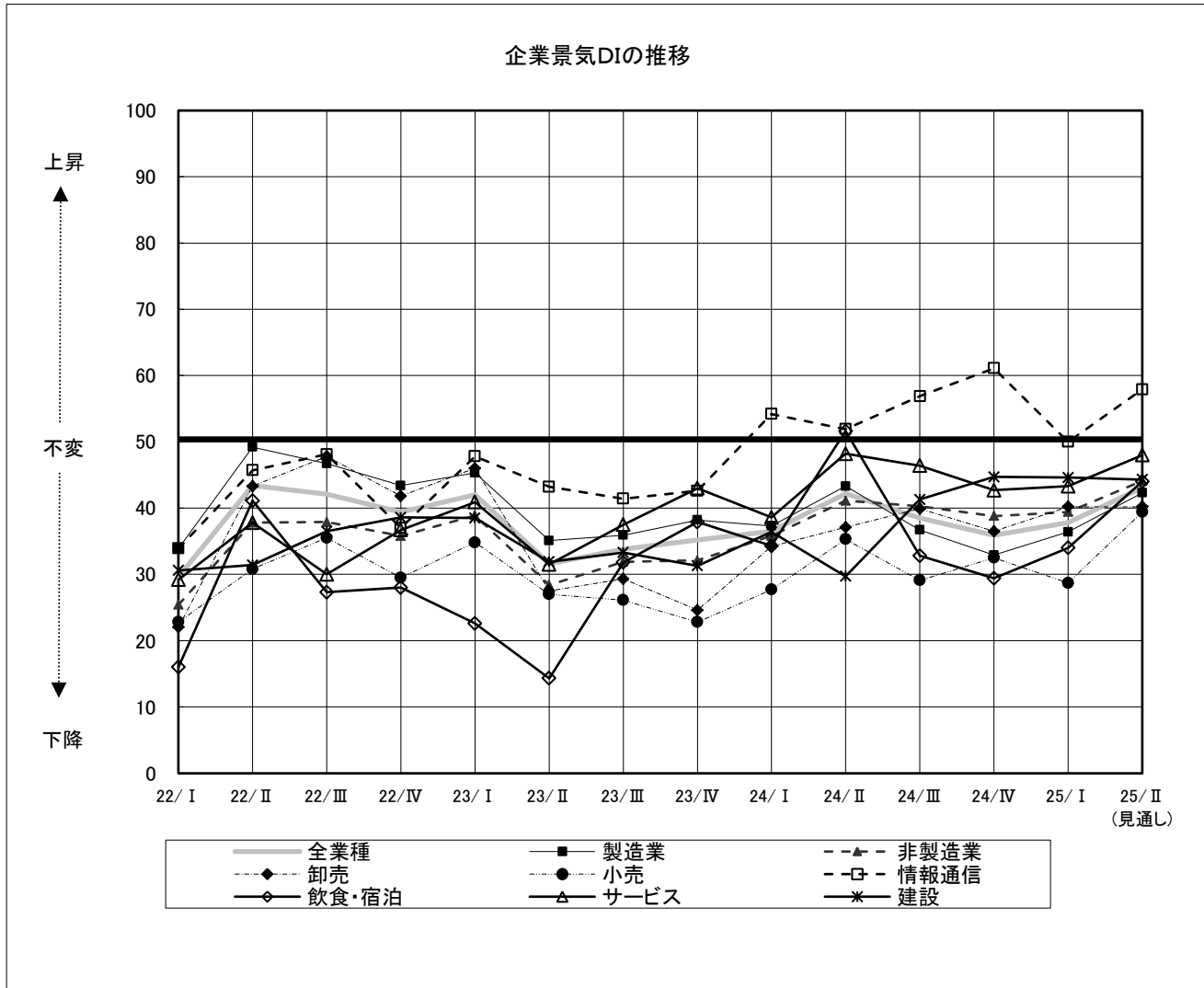


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

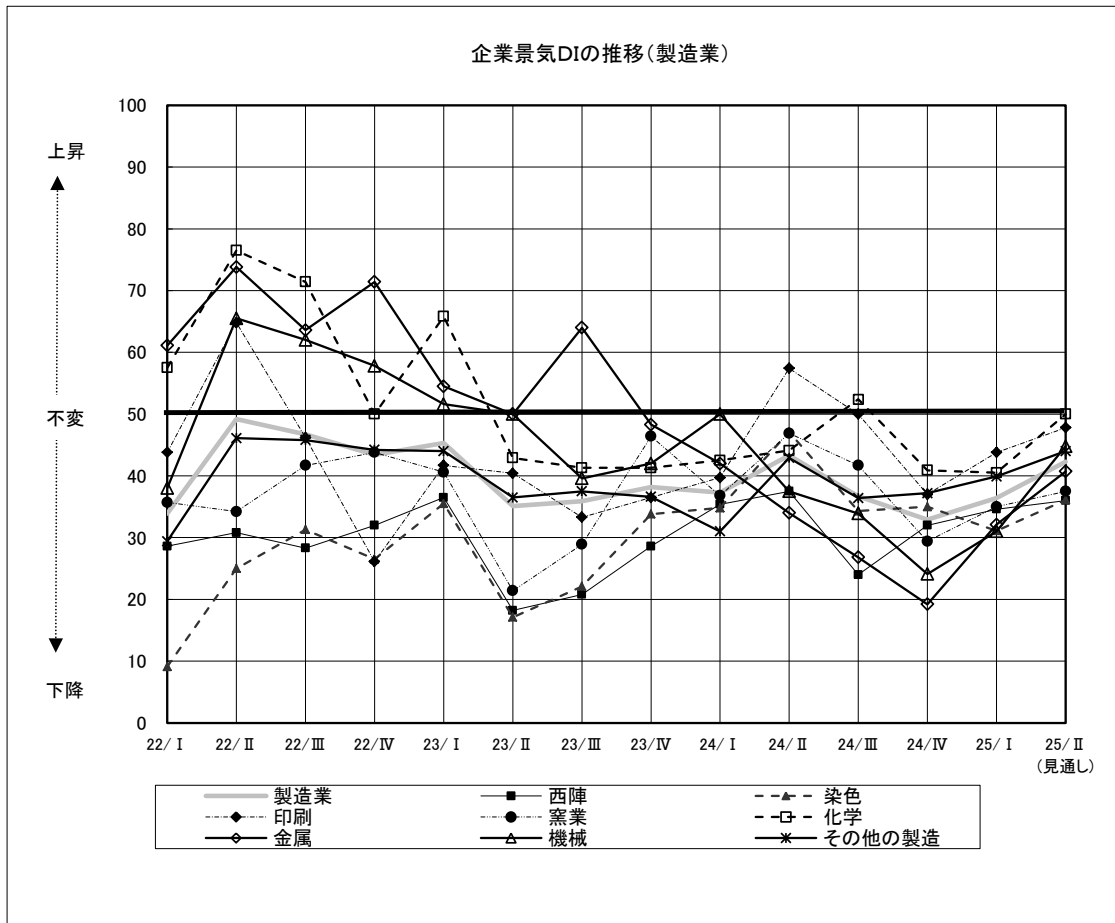


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比	今期比	前期比	今期比
全業種	35.9	37.8	△ 1.9	43.1	△ 5.3
製造業	32.9	36.4	△ 3.5	42.3	△ 5.9
西陣	32.0	34.6	△ 2.6	36.0	△ 1.4
染色	35.0	31.1	▼ 3.9	36.1	△ 5.0
印刷	37.0	43.8	△ 6.8	47.8	△ 4.0
窯業	29.4	35.0	△ 5.6	37.5	△ 2.5
化学	40.9	40.5	▼ 0.4	50.0	△ 9.5
金属	19.2	32.1	△ 12.9	40.7	△ 8.6
機械	24.1	31.0	△ 6.9	44.8	△ 13.8
其他の製造	37.2	39.9	△ 2.7	44.0	△ 4.1
非製造業	38.8	39.4	△ 0.6	44.1	△ 4.7
卸売	36.5	40.2	△ 3.7	40.2	△ 0.0
小売	32.5	28.7	▼ 3.8	39.4	△ 10.7
情報通信	61.1	50.0	▼ 11.1	57.9	△ 7.9
飲食・宿泊	29.4	34.0	△ 4.6	44.0	△ 10.0
サービス	42.7	43.3	△ 0.6	48.0	△ 4.7
建設	44.7	44.6	▼ 0.1	44.3	▼ 0.3
観光関連	37.5	37.8	△ 0.3	50.0	△ 12.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

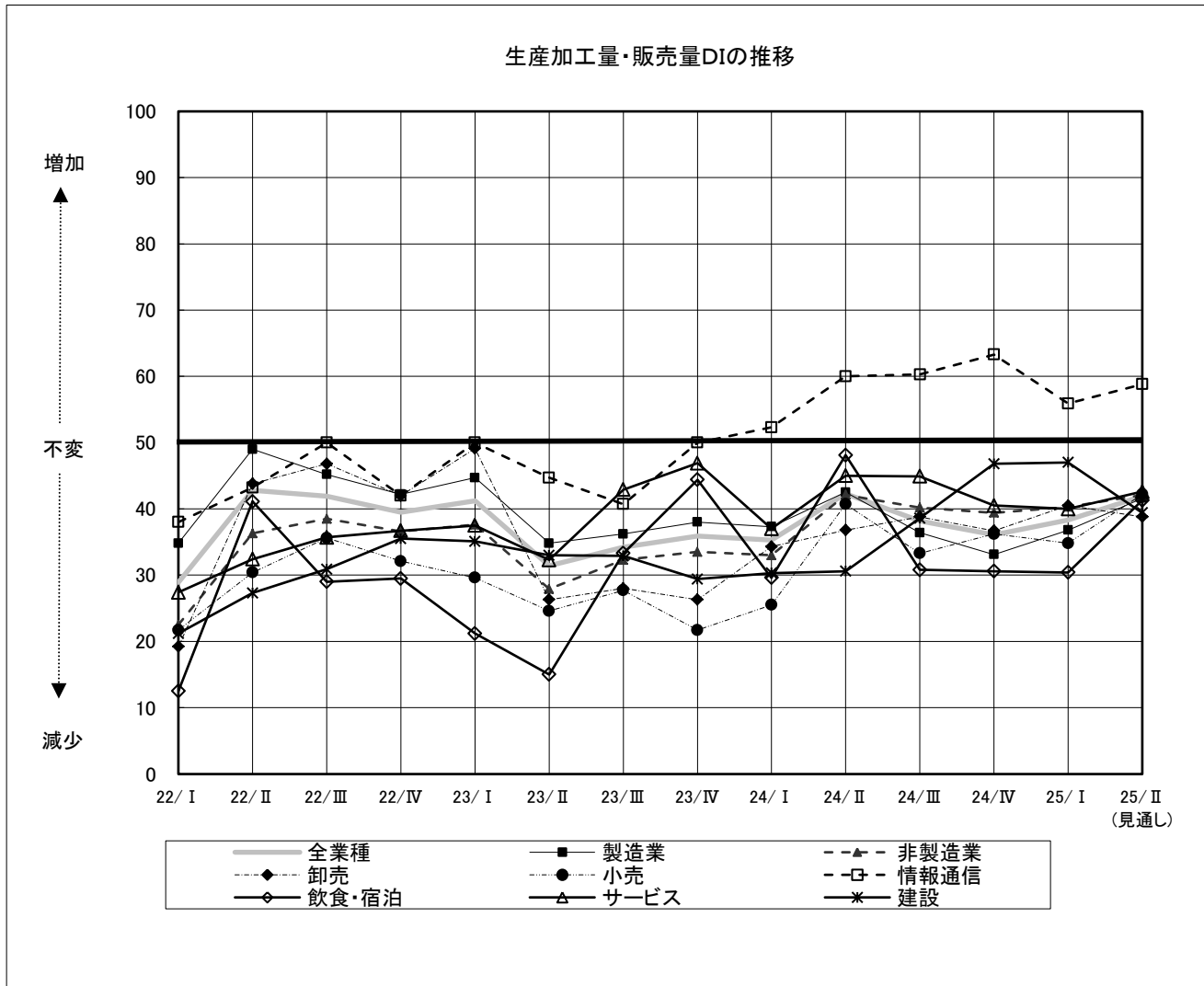


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

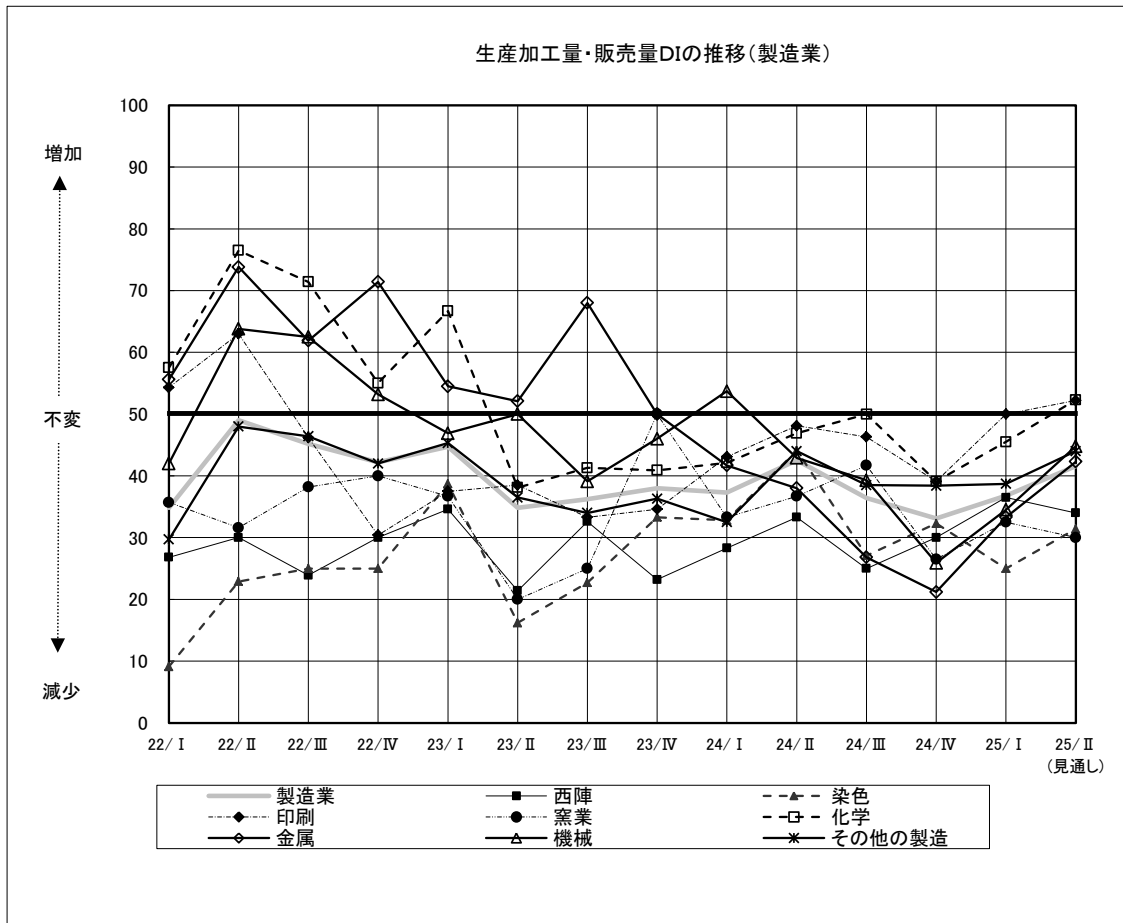


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	36.1	38.3	△ 2.2	41.9	△ 3.6
製造業	33.1	36.8	△ 3.7	41.6	△ 4.8
西陣	30.0	36.5	△ 6.5	34.0	▼ 2.5
染色	32.3	25.0	▼ 7.3	31.4	△ 6.4
印刷	39.1	50.0	△ 10.9	52.2	△ 2.2
窯業	26.5	32.5	△ 6.0	30.0	▼ 2.5
化学	39.1	45.5	△ 6.4	52.3	△ 6.8
金属	21.2	33.3	△ 12.1	42.3	△ 9.0
機械	25.9	34.5	△ 8.6	44.8	△ 10.3
その他の製造	38.4	38.7	△ 0.3	44.0	△ 5.3
非製造業	39.4	40.3	△ 0.9	42.1	△ 1.8
卸売	36.7	40.5	△ 3.8	38.8	▼ 1.7
小売	36.2	34.8	▼ 1.4	42.2	△ 7.4
情報通信	63.3	55.9	▼ 7.4	58.8	△ 2.9
飲食・宿泊	30.6	30.4	▼ 0.2	41.3	△ 10.9
サービス	40.5	40.0	▼ 0.5	42.6	△ 2.6
建設	46.8	47.0	△ 0.2	39.4	▼ 7.6
観光関連	38.7	37.0	▼ 1.7	48.9	△ 11.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

### 3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

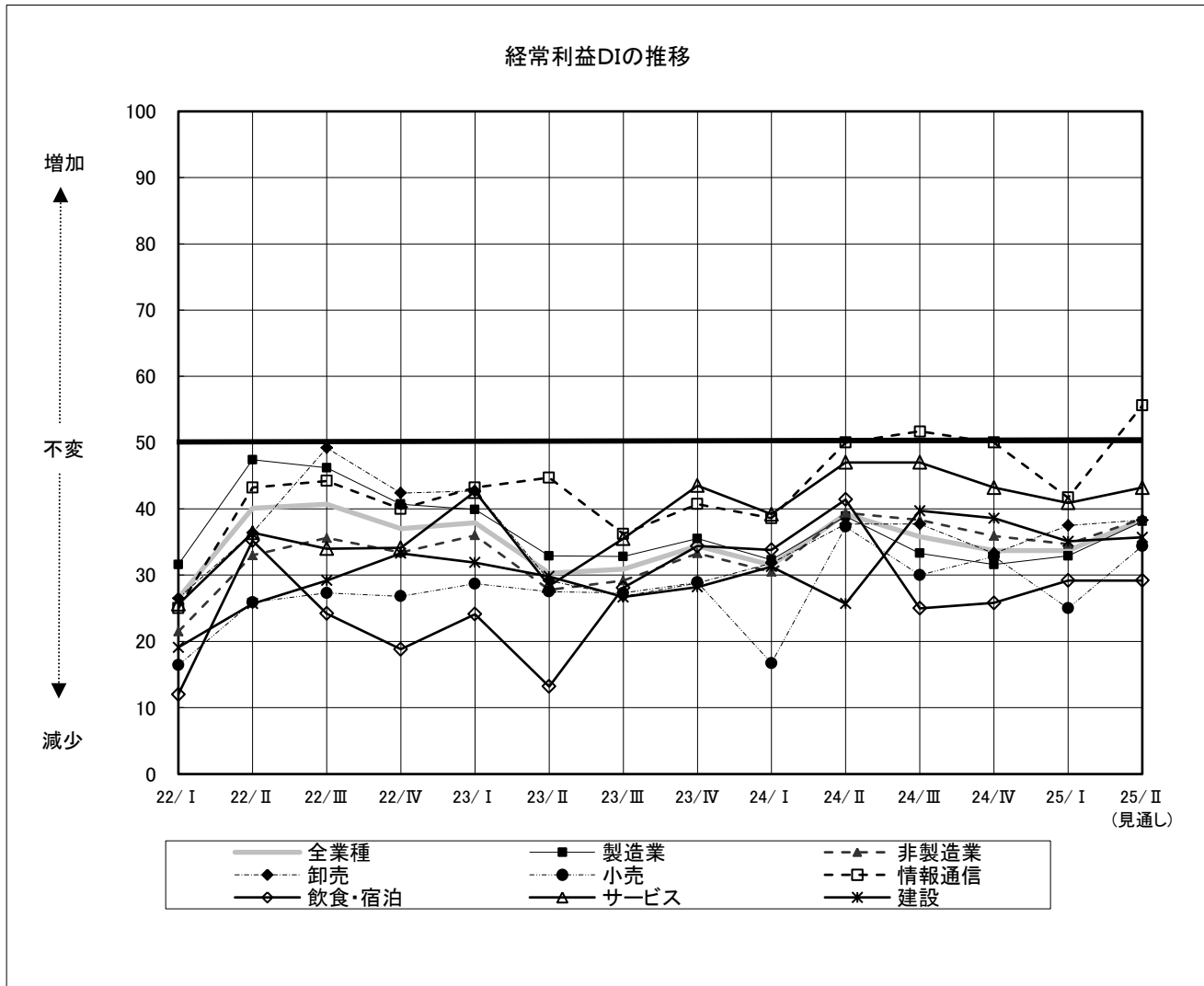


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

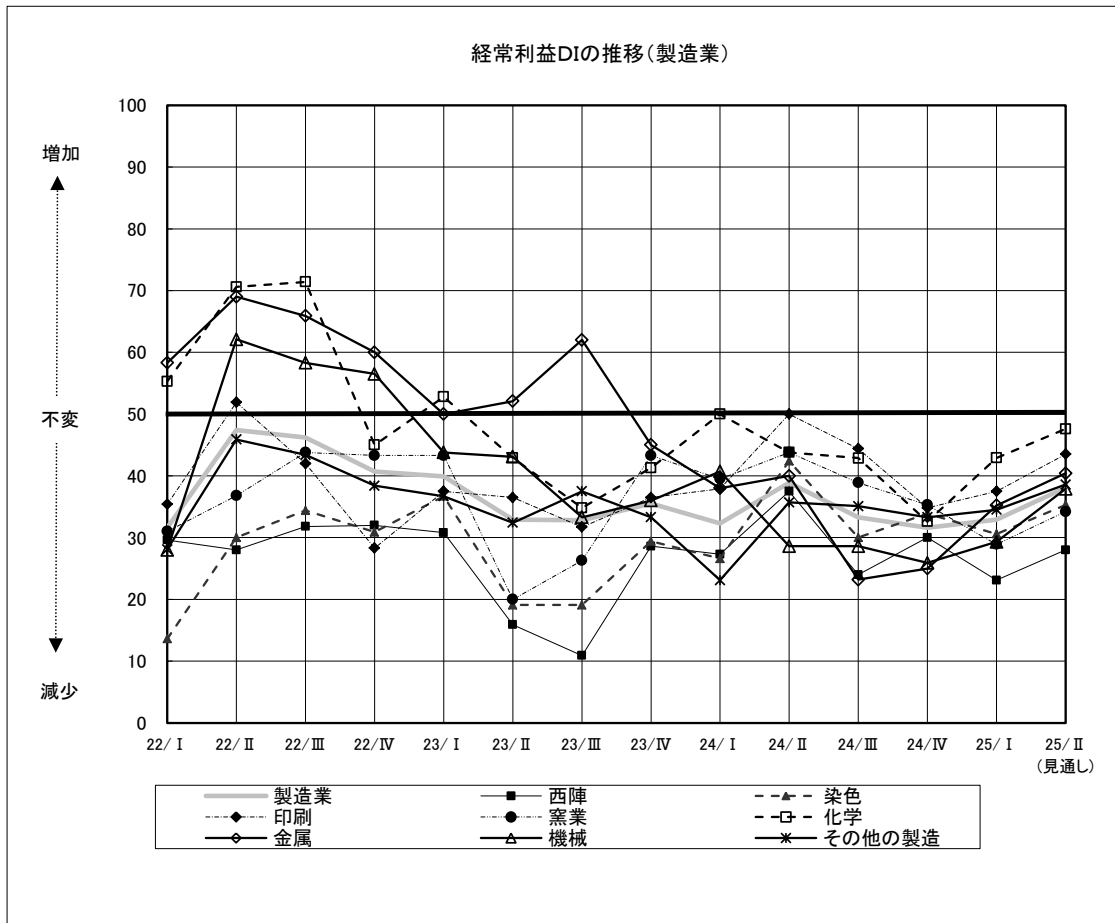


表3. 経常利益DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	33.7	33.7	△ 0.0	38.3	△ 4.6
製造業	31.6	32.9	△ 1.3	38.1	△ 5.2
西陣	30.0	23.1	▼ 6.9	28.0	△ 4.9
染色	33.9	30.6	▼ 3.3	35.3	△ 4.7
印刷	34.8	37.5	△ 2.7	43.5	△ 6.0
窯業	35.3	28.9	▼ 6.4	34.2	△ 5.3
化学	32.6	42.9	△ 10.3	47.6	△ 4.7
金属	25.0	35.2	△ 10.2	40.4	△ 5.2
機械	25.9	29.3	△ 3.4	37.9	△ 8.6
その他の製造	33.3	34.5	△ 1.2	38.6	△ 4.1
非製造業	35.9	34.7	▼ 1.2	38.5	△ 3.8
卸売	33.3	37.5	△ 4.2	38.3	△ 0.8
小売	32.8	25.0	▼ 7.8	34.4	△ 9.4
情報通信	50.0	41.7	▼ 8.3	55.6	△ 13.9
飲食・宿泊	25.8	29.2	△ 3.4	29.2	△ 0.0
サービス	43.2	40.9	▼ 2.3	43.2	△ 2.3
建設	38.6	35.1	▼ 3.5	35.7	△ 0.6
観光関連	37.1	35.4	▼ 1.7	45.7	△ 10.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

#### 4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

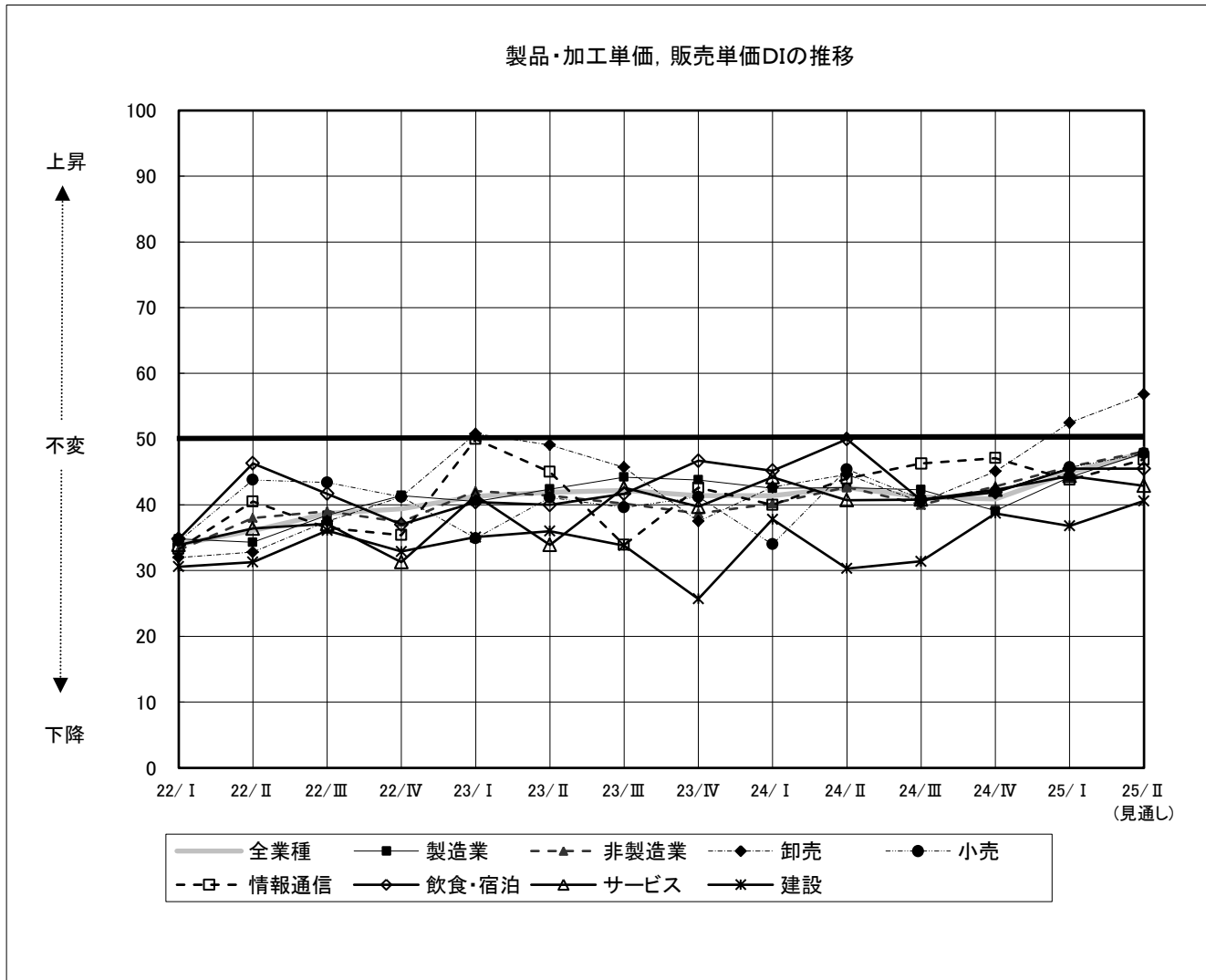


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

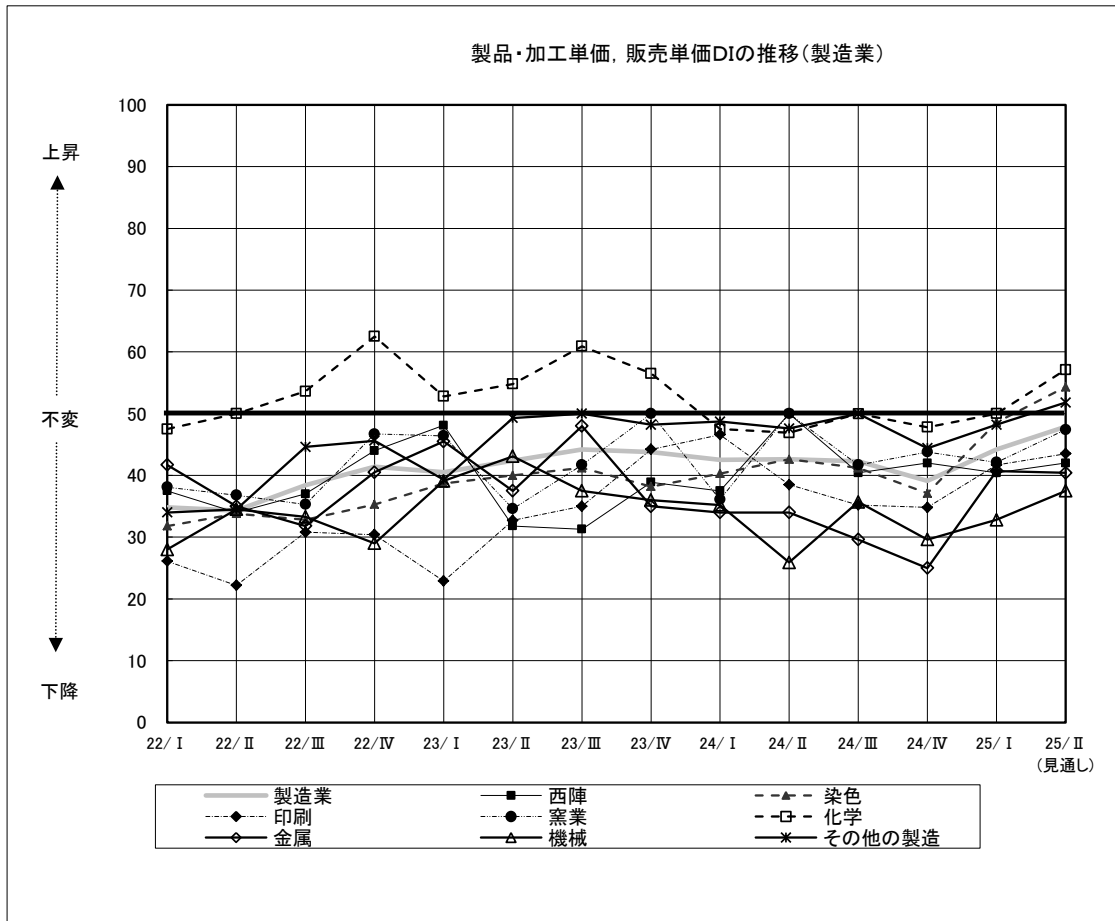


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	40.9	44.9	△ 4.0	48.0	△ 3.1
製造業	39.1	44.2	△ 5.1	47.9	△ 3.7
西陣	42.0	40.4	▼ 1.6	42.0	△ 1.6
染色	37.1	48.6	△ 11.5	54.3	△ 5.7
印刷	34.8	41.7	△ 6.9	43.5	△ 1.8
窯業	43.8	42.1	▼ 1.7	47.4	△ 5.3
化学	47.8	50.0	△ 2.2	57.1	△ 7.1
金属	25.0	40.7	△ 15.7	40.4	▼ 0.3
機械	29.6	32.8	△ 3.2	37.5	△ 4.7
その他の製造	44.4	48.2	△ 3.8	51.8	△ 3.6
非製造業	42.8	45.8	△ 3.0	48.1	△ 2.3
卸売	45.1	52.5	△ 7.4	56.8	△ 4.3
小売	42.0	45.7	△ 3.7	47.8	△ 2.1
情報通信	47.1	43.8	▼ 3.3	46.9	△ 3.1
飲食・宿泊	41.9	45.5	△ 3.6	45.5	△ 0.0
サービス	42.3	44.4	△ 2.1	42.9	▼ 1.5
建設	38.7	36.8	▼ 1.9	40.6	△ 3.8
観光関連	45.2	48.9	△ 3.7	51.1	△ 2.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。



## 5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

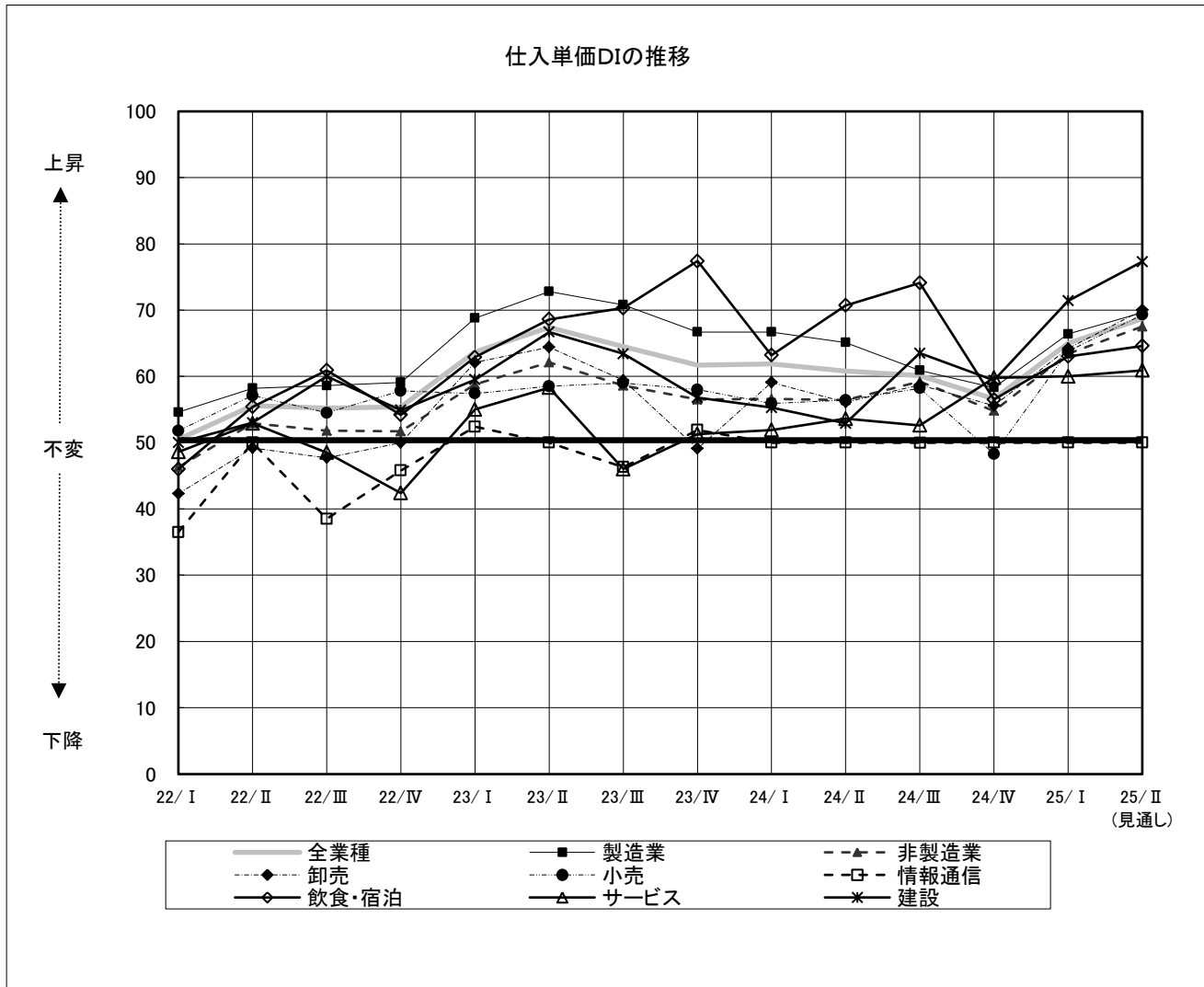


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

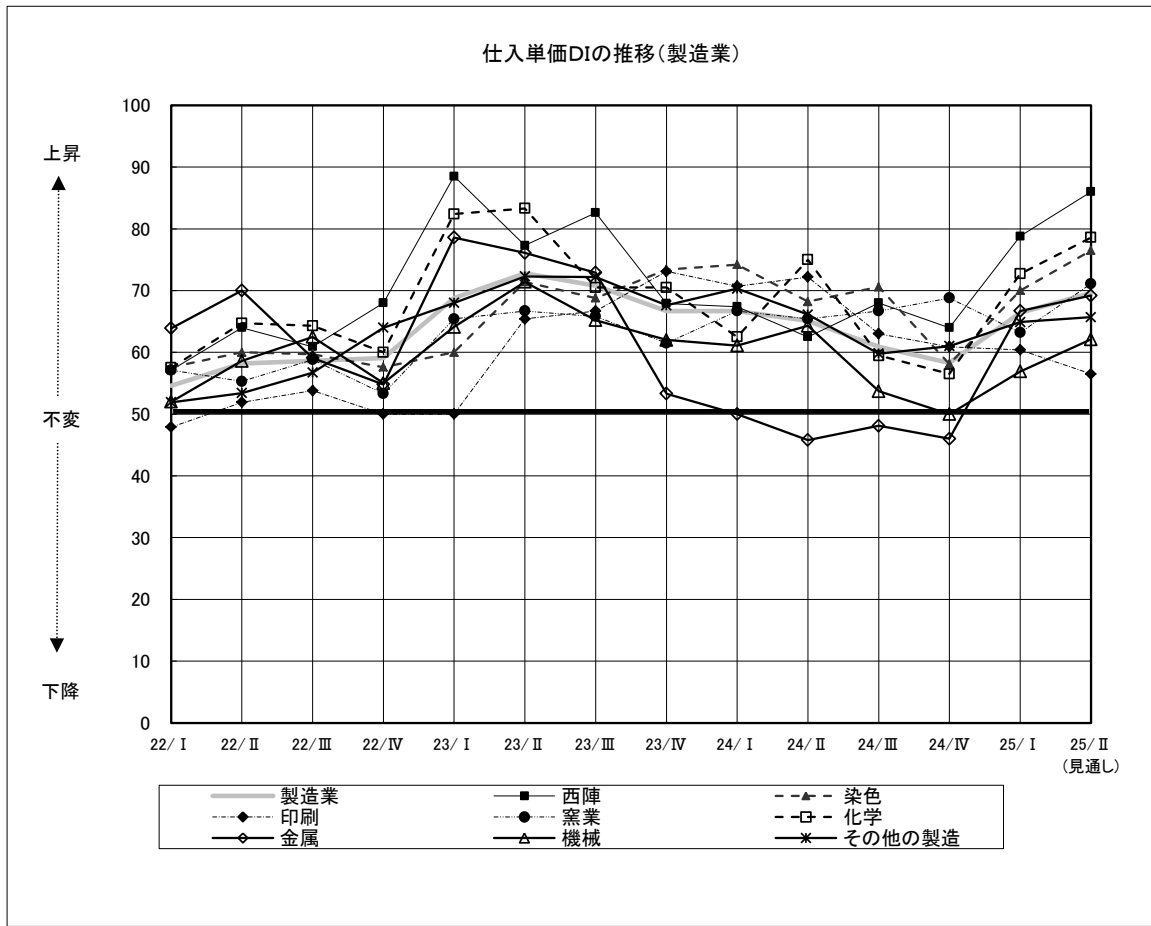


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	56.6	65.0	△ 8.4	68.7 △ 3.7
製造業	58.3	66.4	△ 8.1	69.6 △ 3.2
西陣	64.0	78.8	△ 14.8	86.0 △ 7.2
染色	58.1	70.0	△ 11.9	76.5 △ 6.5
印刷	60.9	60.4	▼ 0.5	56.5 ▼ 3.9
窯業	68.8	63.2	▼ 5.6	71.1 △ 7.9
化学	56.5	72.7	△ 16.2	78.6 △ 5.9
金属	46.0	66.7	△ 20.7	69.2 △ 2.5
機械	50.0	56.9	△ 6.9	62.1 △ 5.2
その他の製造	61.0	64.9	△ 3.9	65.7 △ 0.8
非製造業	54.8	63.4	△ 8.6	67.5 △ 4.1
卸売	55.6	64.2	△ 8.6	70.0 △ 5.8
小売	48.3	63.8	△ 15.5	69.3 △ 5.5
情報通信	50.0	50.0	△ 0.0	50.0 △ 0.0
飲食・宿泊	56.5	63.0	△ 6.5	64.6 △ 1.6
サービス	59.8	60.0	△ 0.2	60.9 △ 0.9
建設	59.4	71.4	△ 12.0	77.3 △ 5.9
観光関連	59.7	61.7	△ 2.0	61.7 △ 0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

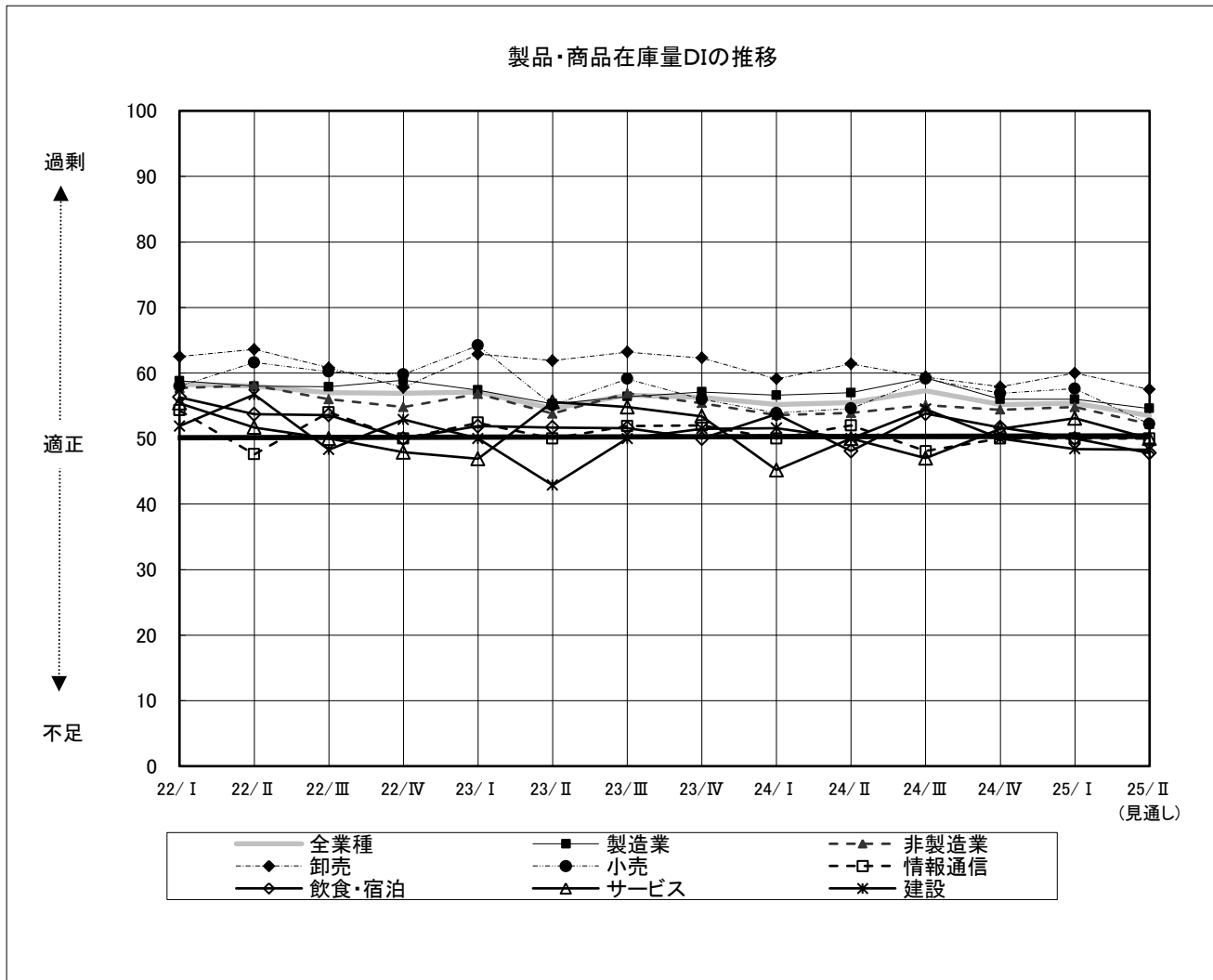


図 12. 製品・商品在庫量DI の推移 (製造業)

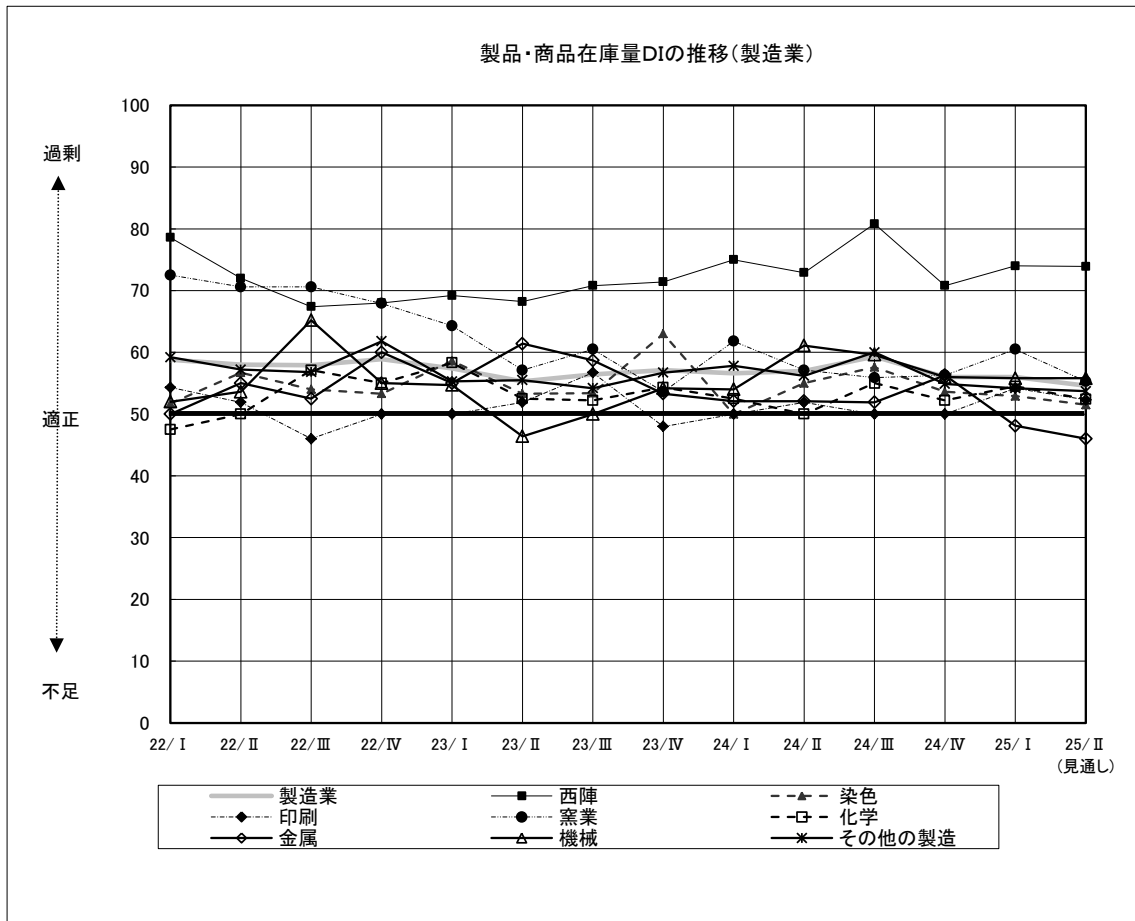


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.2	55.4	△ 0.2	53.5	▼ 1.9
製造業	56.0	56.0	△ 0.0	54.6	▼ 1.4
西陣	70.8	74.0	△ 3.2	73.9	▼ 0.1
染色	53.6	52.9	▼ 0.7	51.5	▼ 1.4
印刷	50.0	54.2	△ 4.2	52.3	▼ 1.9
窯業	56.3	60.5	△ 4.2	55.3	▼ 5.2
化学	52.2	54.5	△ 2.3	52.4	▼ 2.1
金属	56.3	48.1	▼ 8.2	46.0	▼ 2.1
機械	56.0	55.8	▼ 0.2	55.8	△ 0.0
その他の製造	54.9	54.2	▼ 0.7	53.7	▼ 0.5
非製造業	54.4	54.8	△ 0.4	52.2	▼ 2.6
卸売	57.9	60.0	△ 2.1	57.5	▼ 2.5
小売	56.9	57.6	△ 0.7	52.2	▼ 5.4
情報通信	50.0	50.0	△ 0.0	50.0	△ 0.0
飲食・宿泊	51.7	50.0	▼ 1.7	47.8	▼ 2.2
サービス	51.5	53.1	△ 1.6	50.0	▼ 3.1
建設	50.0	48.4	▼ 1.6	48.3	▼ 0.1
観光関連	55.2	54.3	▼ 0.9	52.2	▼ 2.1

## 7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

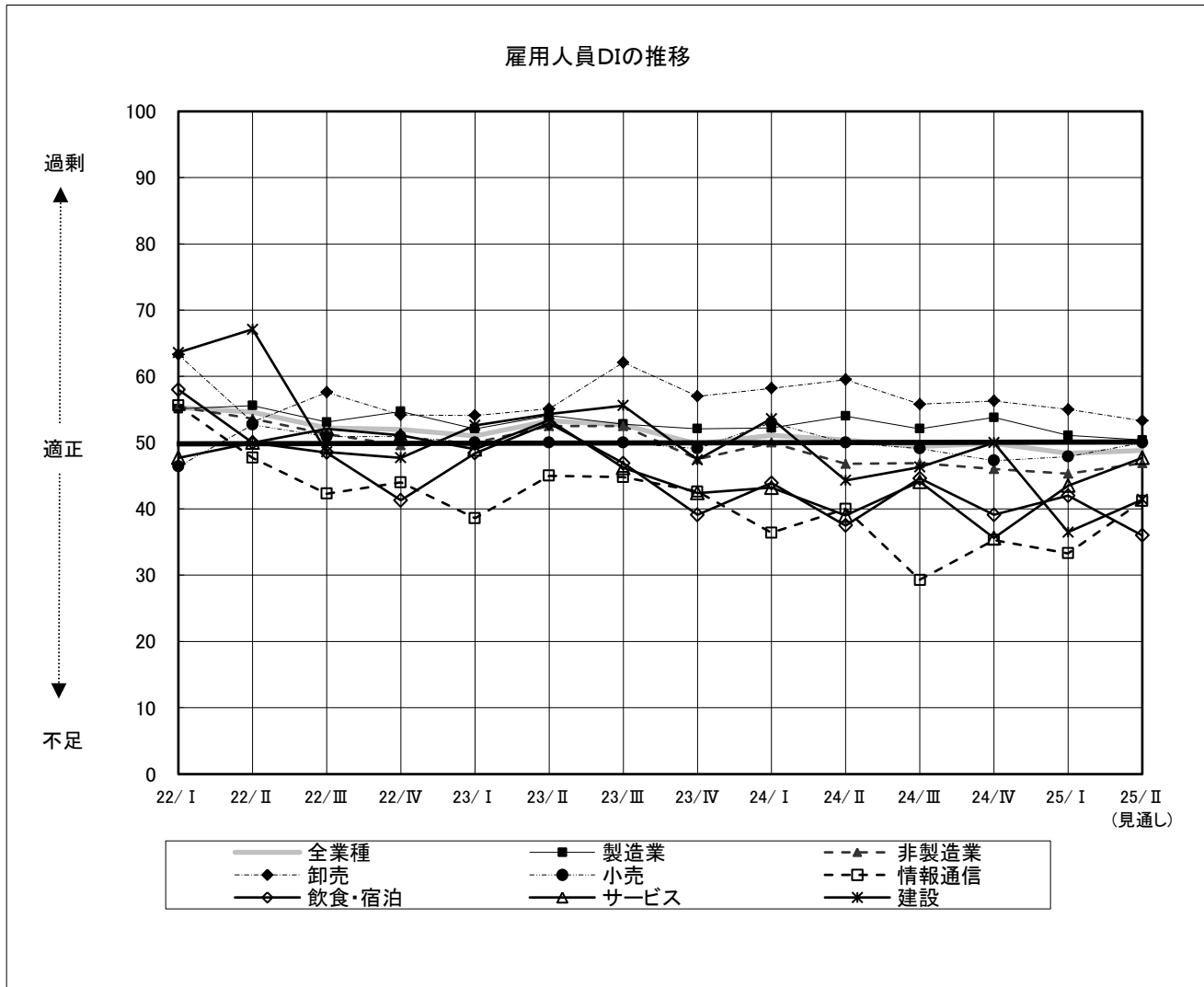


図 14. 雇用人員DIの推移（製造業）

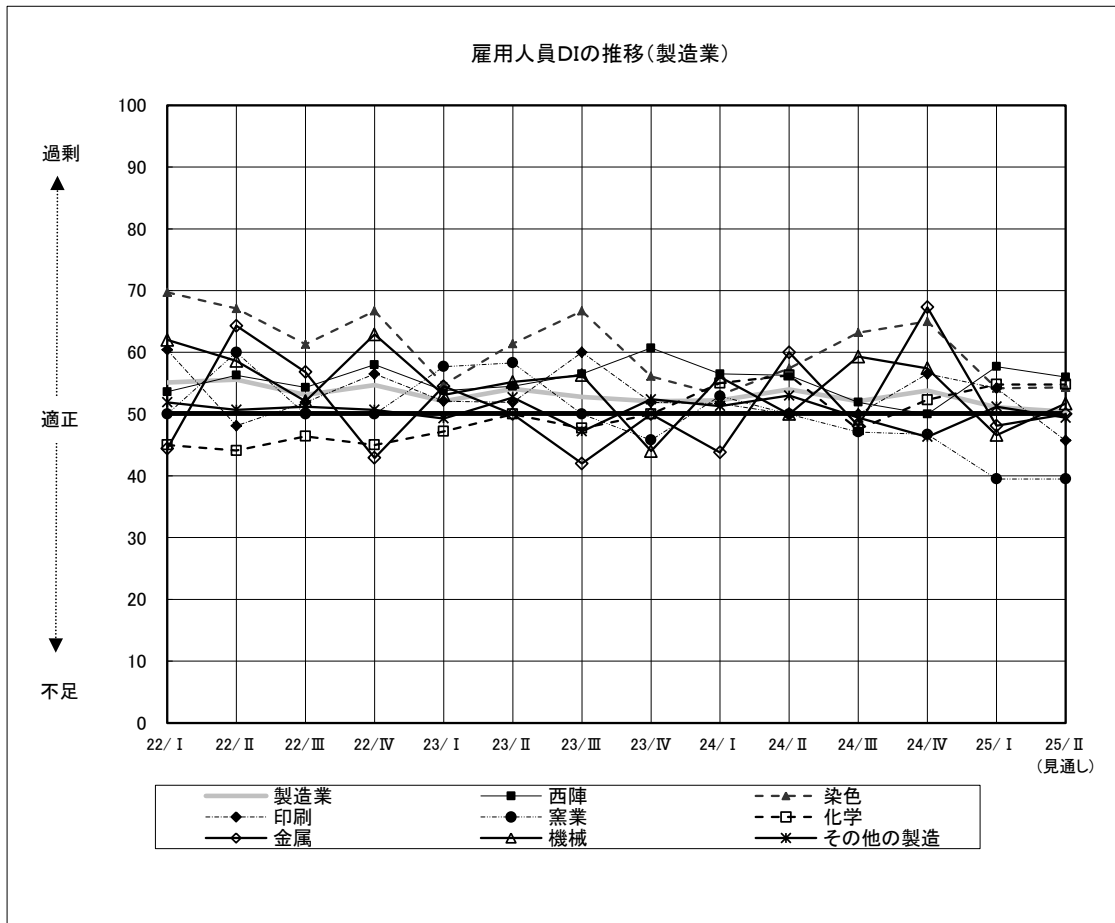


表 7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	49.9	48.4	▼ 1.5	△ 0.4
製造業	53.8	51.1	▼ 2.7	▼ 0.7
西陣	50.0	57.7	△ 7.7	▼ 1.7
染色	65.0	54.2	▼ 10.8	△ 0.1
印刷	56.5	54.2	▼ 2.3	▼ 8.5
窯業	46.7	39.5	▼ 7.2	△ 0.0
化学	52.3	54.8	△ 2.5	△ 0.0
金属	67.3	48.1	▼ 19.2	△ 1.9
機械	57.4	46.6	▼ 10.8	△ 5.1
其他の製造	46.3	51.2	△ 4.9	▼ 1.8
非製造業	46.0	45.3	▼ 0.7	△ 1.6
卸売	56.3	55.0	▼ 1.3	▼ 1.7
小売	47.3	47.9	△ 0.6	△ 2.1
情報通信	35.3	33.3	▼ 2.0	△ 7.9
飲食・宿泊	39.1	42.0	△ 2.9	▼ 6.0
サービス	35.6	43.5	△ 7.9	△ 4.2
建設	50.0	36.5	▼ 13.5	△ 4.9
観光関連	51.7	43.8	▼ 7.9	▼ 3.4

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

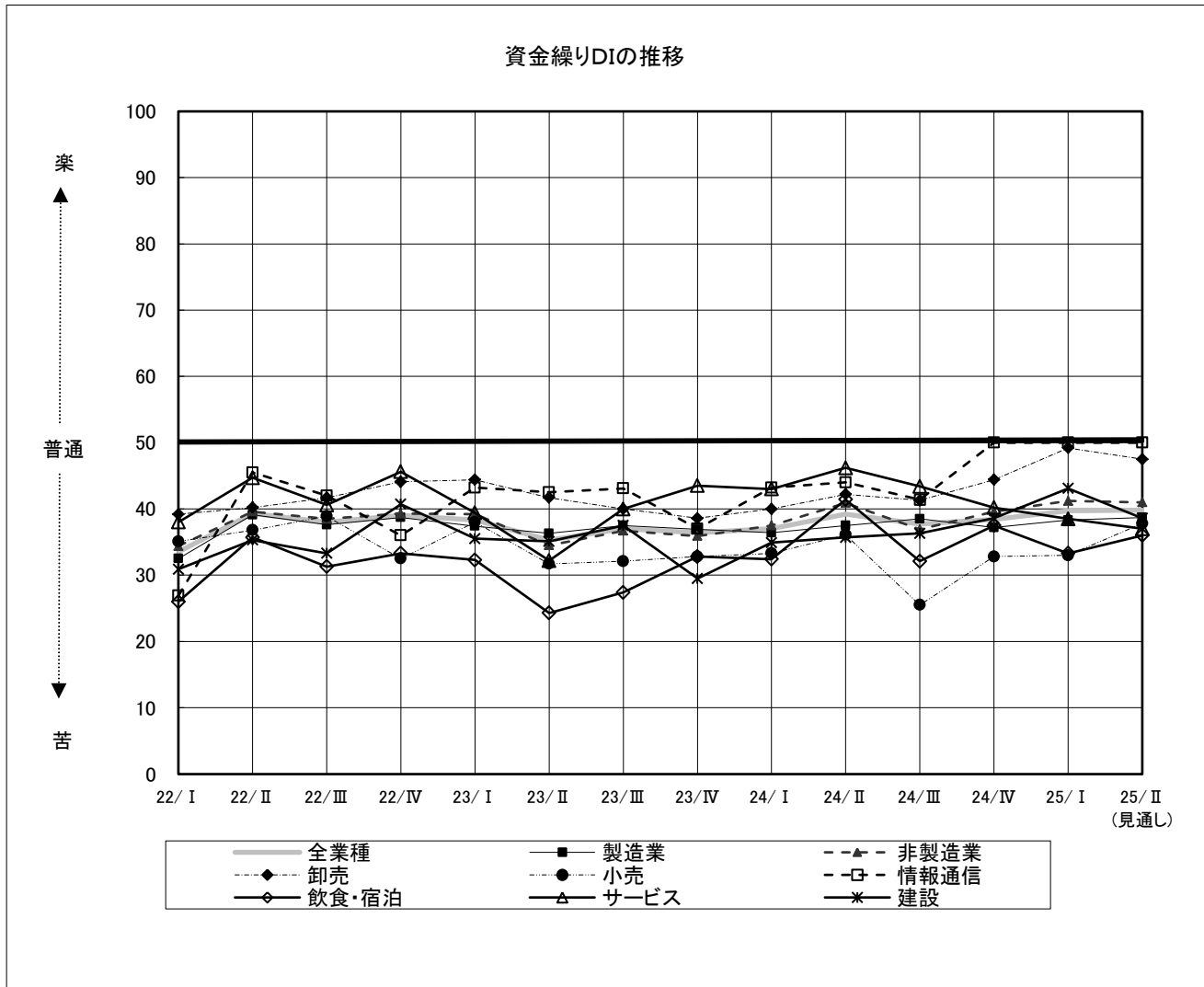


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

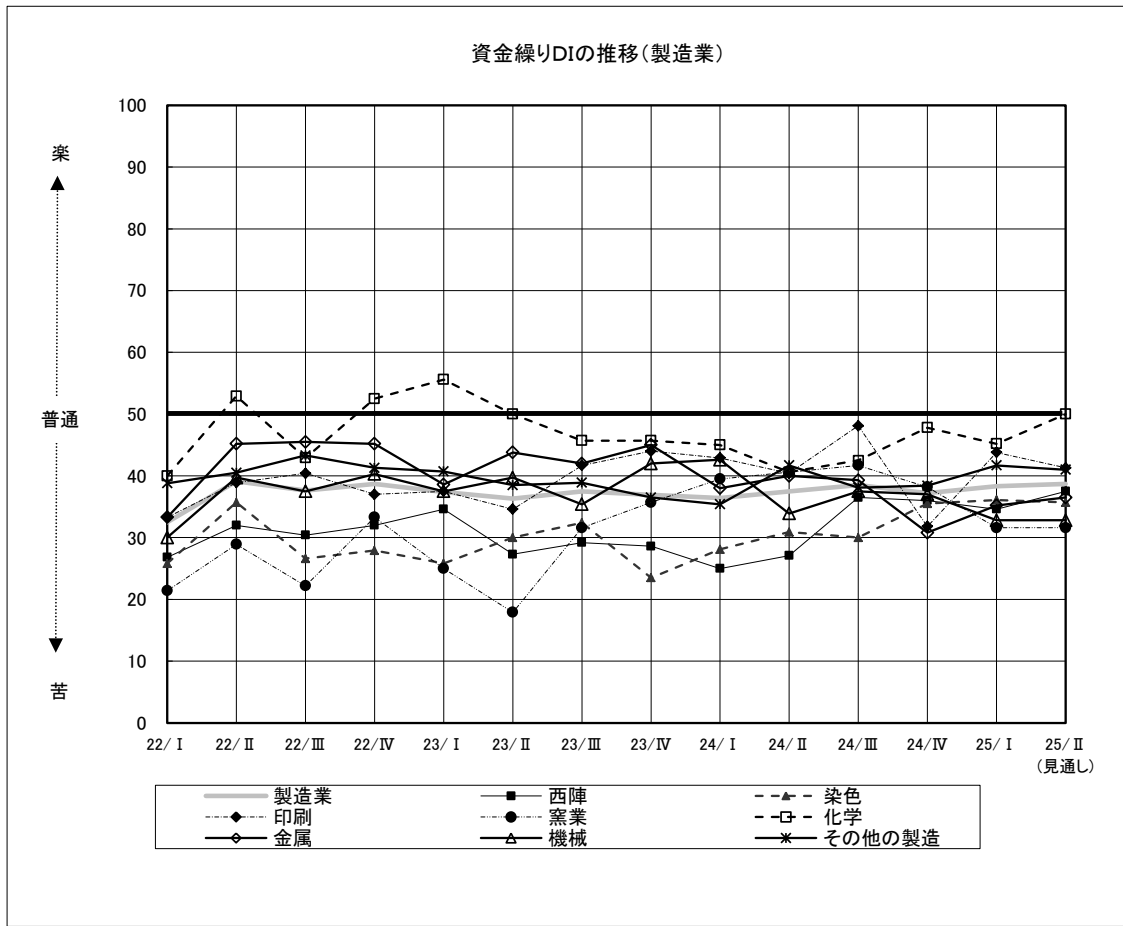


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	38.4	39.7	△ 1.3	39.8 △ 0.1
製造業	37.2	38.3	△ 1.1	38.7 △ 0.4
西陣	36.0	34.6	▼ 1.4	37.5 △ 2.9
染色	35.5	36.1	△ 0.6	35.7 ▼ 0.4
印刷	31.8	43.8	△ 12.0	41.3 ▼ 2.5
窯業	38.2	31.6	▼ 6.6	31.6 △ 0.0
化学	47.8	45.2	▼ 2.6	50.0 △ 4.8
金属	30.8	35.2	△ 4.4	36.5 △ 1.3
機械	37.0	32.8	▼ 4.2	32.8 △ 0.0
その他の製造	38.4	41.7	△ 3.3	41.0 ▼ 0.7
非製造業	39.6	41.2	△ 1.6	41.0 ▼ 0.2
卸売	44.4	49.2	△ 4.8	47.5 ▼ 1.7
小売	32.8	33.0	△ 0.2	37.8 △ 4.8
情報通信	50.0	50.0	△ 0.0	50.0 △ 0.0
飲食・宿泊	37.5	33.3	▼ 4.2	36.0 △ 2.7
サービス	40.2	38.5	▼ 1.7	37.0 ▼ 1.5
建設	38.6	43.1	△ 4.5	38.6 ▼ 4.5
観光関連	38.7	35.4	▼ 3.3	41.3 △ 5.9

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。



## 9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移 (全体)

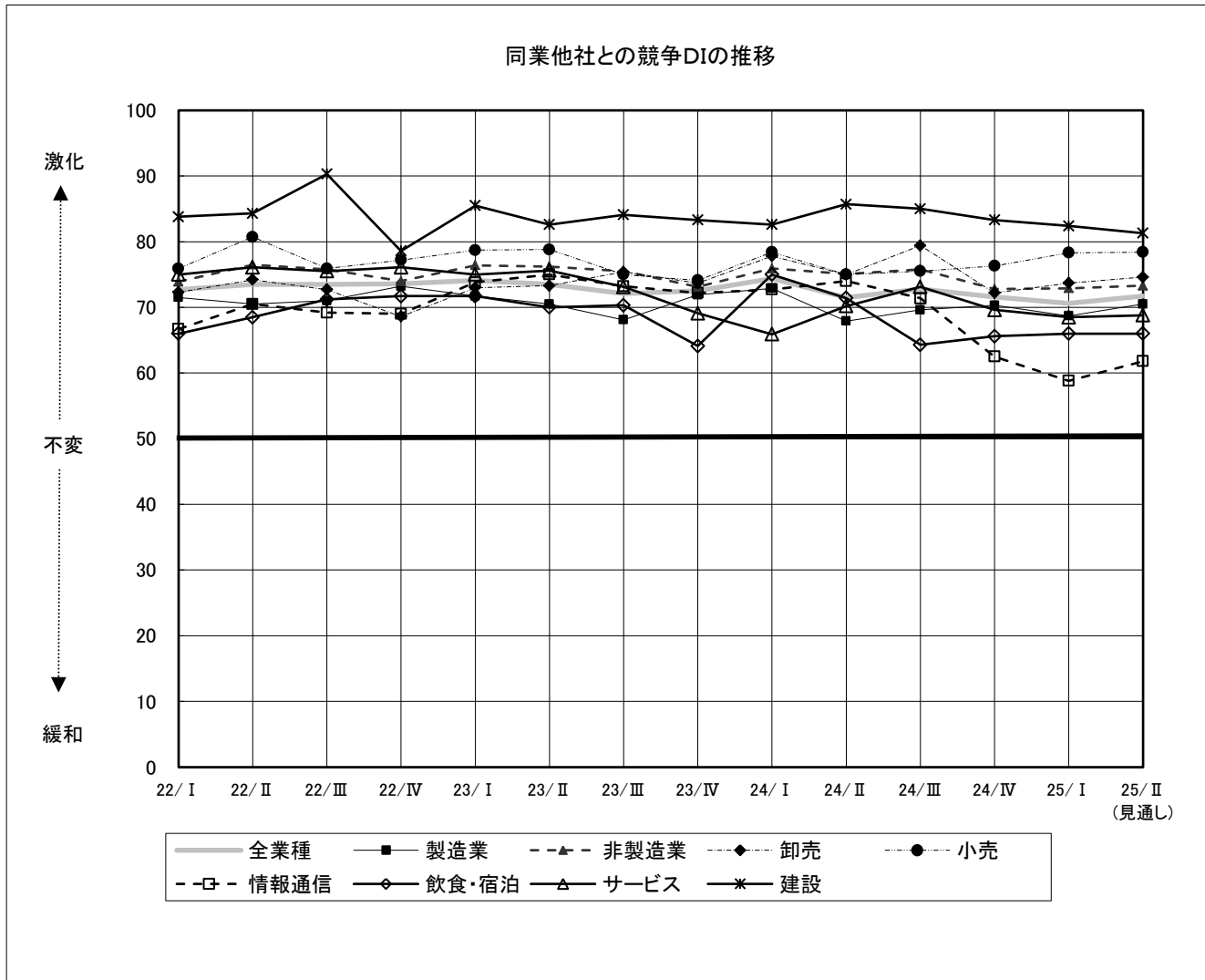


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

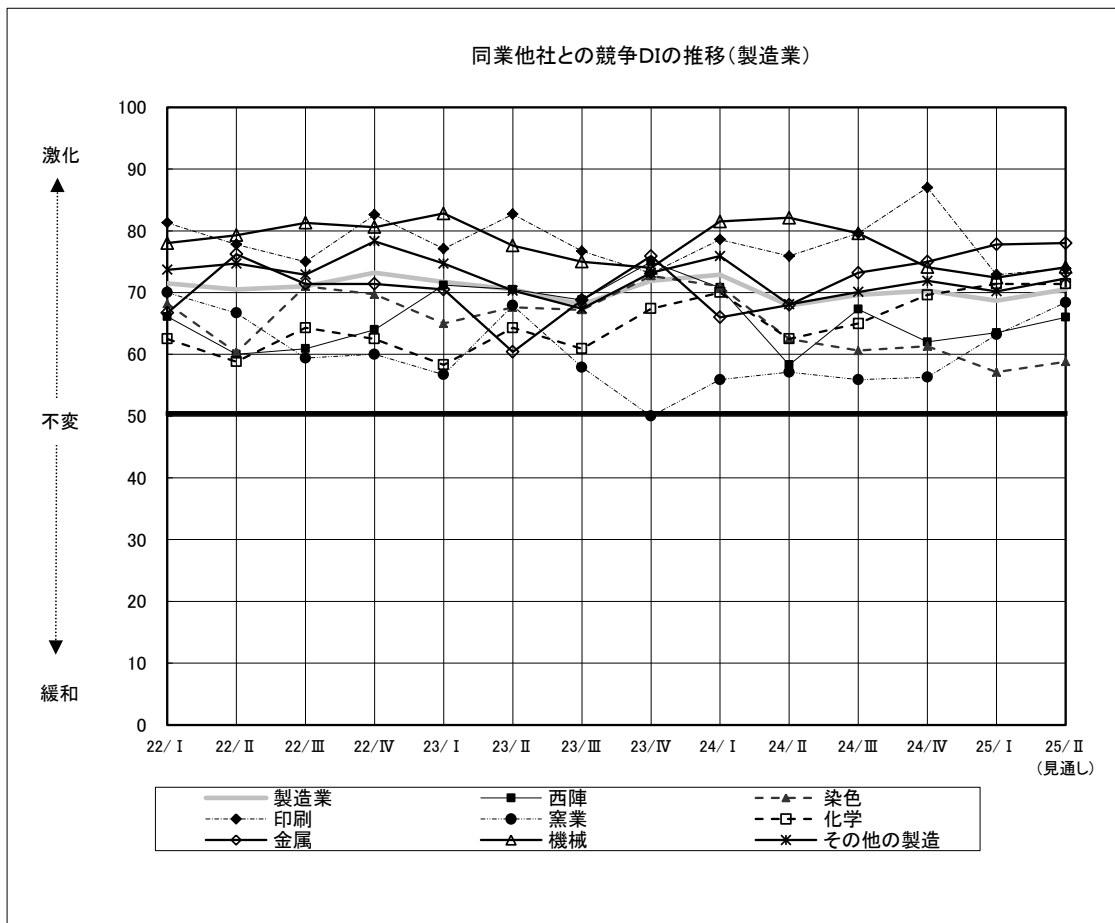


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	71.6	70.6	▼ 1.0	△ 1.1
製造業	70.3	68.7	▼ 1.6	△ 1.8
西陣	62.0	63.5	△ 1.5	△ 2.5
染色	61.3	57.1	▼ 4.2	△ 1.7
印刷	87.0	72.9	▼ 14.1	△ 1.0
窯業	56.3	63.2	△ 6.9	△ 5.2
化学	69.6	71.4	△ 1.8	△ 0.0
金属	75.0	77.8	△ 2.8	△ 0.2
機械	74.1	72.4	▼ 1.7	△ 1.7
その他の製造	71.9	70.2	▼ 1.7	△ 2.1
非製造業	72.8	72.9	△ 0.1	△ 0.4
卸売	72.2	73.7	△ 1.5	△ 0.9
小売	76.3	78.3	△ 2.0	△ 0.1
情報通信	62.5	58.8	▼ 3.7	△ 3.0
飲食・宿泊	65.6	66.0	△ 0.4	△ 0.0
サービス	69.6	68.5	▼ 1.1	△ 0.3
建設	83.3	82.4	▼ 0.9	▼ 1.1
観光関連	69.4	71.3	△ 1.9	▼ 0.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

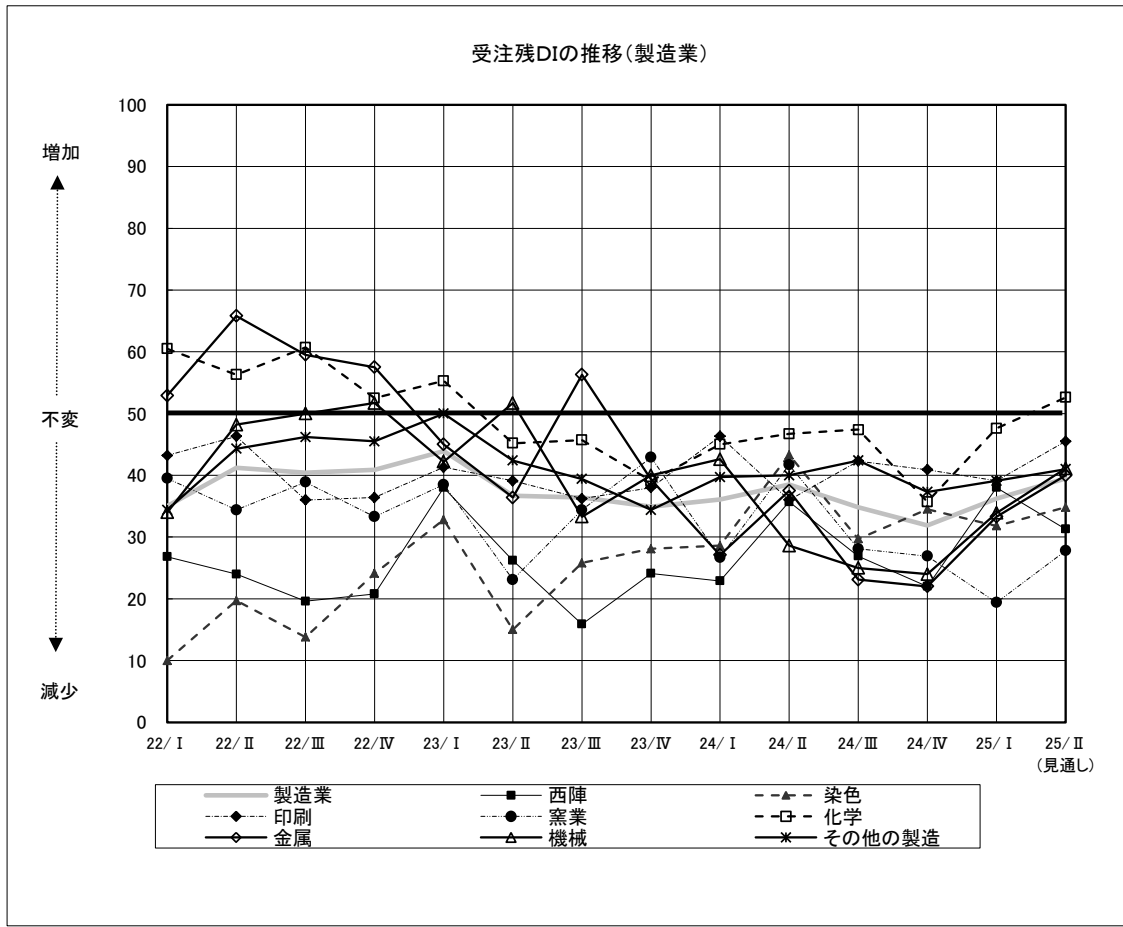


表10. 受注残DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	31.9	36.2	△ 4.3	39.5 △ 3.3
西陣	22.0	38.0	△ 16.0	31.3 ▼ 6.7
染色	34.5	31.8	▼ 2.7	34.8 △ 3.0
印刷	40.9	39.1	▼ 1.8	45.5 △ 6.4
窯業	26.9	19.4	▼ 7.5	27.8 △ 8.4
化学	35.7	47.6	△ 11.9	52.6 △ 5.0
金属	22.0	33.3	△ 11.3	40.0 △ 6.7
機械	24.0	33.9	△ 9.9	41.1 △ 7.2
その他の製造	37.3	39.1	△ 1.8	41.0 △ 1.9
観光関連	44.4	37.5	▼ 6.9	43.8 △ 6.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

# 1 1. 生産設備

図 20. 生産設備 DI の推移

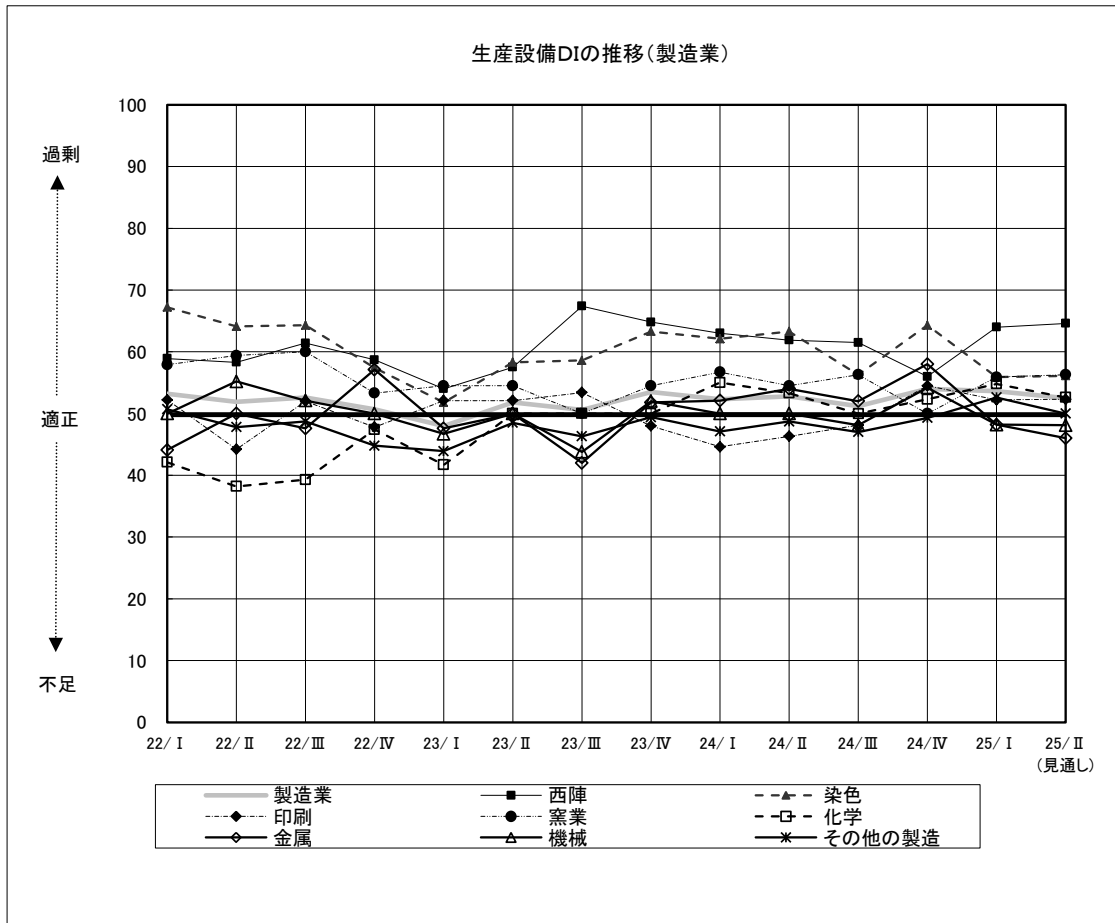


表 11. 生産設備 DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	54.0	53.6	▼ 0.4	52.5 ▼ 1.1
西陣	56.0	64.0	△ 8.0	64.6 △ 0.6
染色	64.3	55.9	▼ 8.4	56.1 △ 0.2
印刷	54.5	52.2	▼ 2.3	52.3 △ 0.1
窯業	50.0	55.9	△ 5.9	56.3 △ 0.4
化学	52.3	54.8	△ 2.5	52.6 ▼ 2.2
金属	58.0	48.2	▼ 9.8	46.0 ▼ 2.2
機械	54.2	48.2	▼ 6.0	48.1 ▼ 0.1
その他の製造	49.3	52.6	△ 3.3	50.0 ▼ 2.6
観光関連	50.0	46.7	▼ 3.3	46.7 △ 0.0

## 12. 設備投資

図 21. 設備投資DIの推移

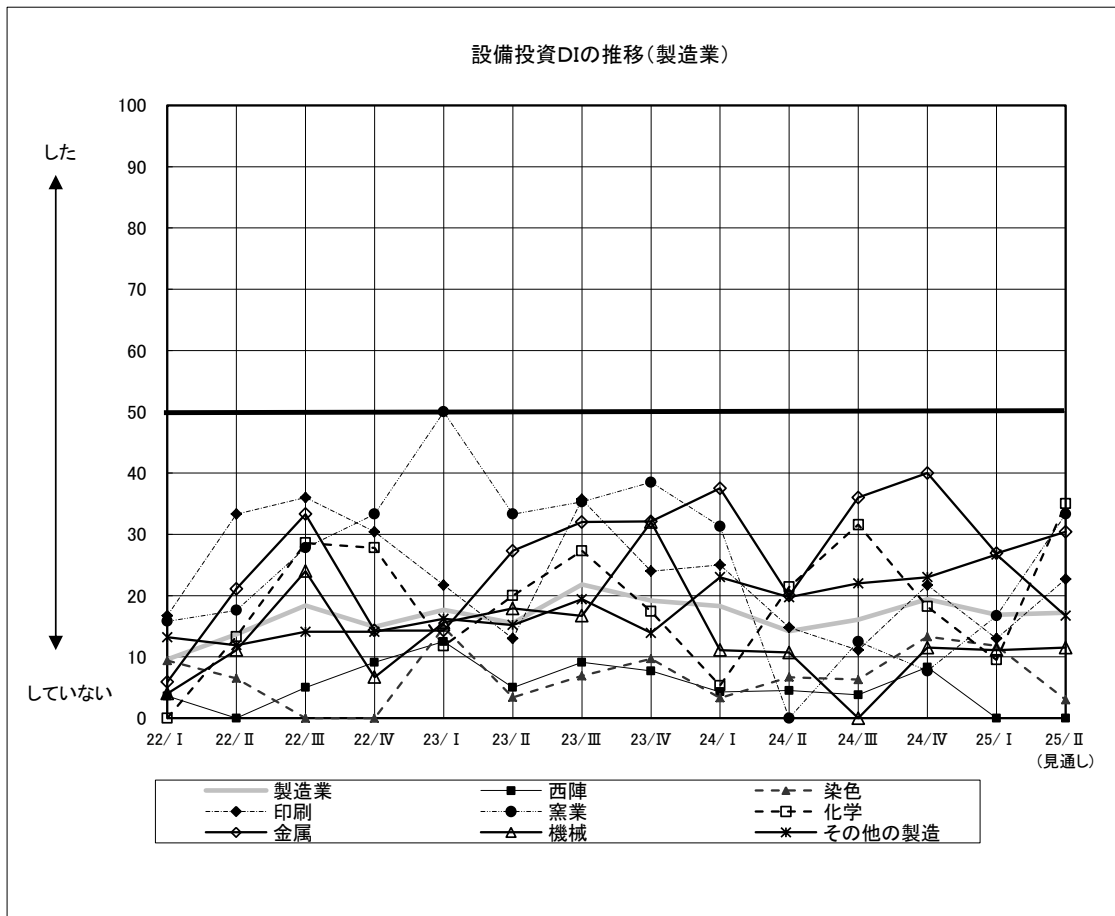


表 12. 設備投資DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	19.4	16.9	▼ 2.5	17.2 △ 0.3
西陣	8.3	0.0	▼ 8.3	0.0 △ 0.0
染色	13.3	11.8	▼ 1.5	3.0 ▼ 8.8
印刷	21.7	13.0	▼ 8.7	22.7 △ 9.7
窯業	7.7	16.7	△ 9.0	33.3 △ 16.6
化学	18.2	9.5	▼ 8.7	35.0 △ 25.5
金属	40.0	26.9	▼ 13.1	30.4 △ 3.5
機械	11.5	11.1	▼ 0.4	11.5 △ 0.4
その他の製造	23.0	26.7	△ 3.7	16.7 ▼ 10.0
観光関連	22.2	20.0	▼ 2.2	13.3 ▼ 6.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## (2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

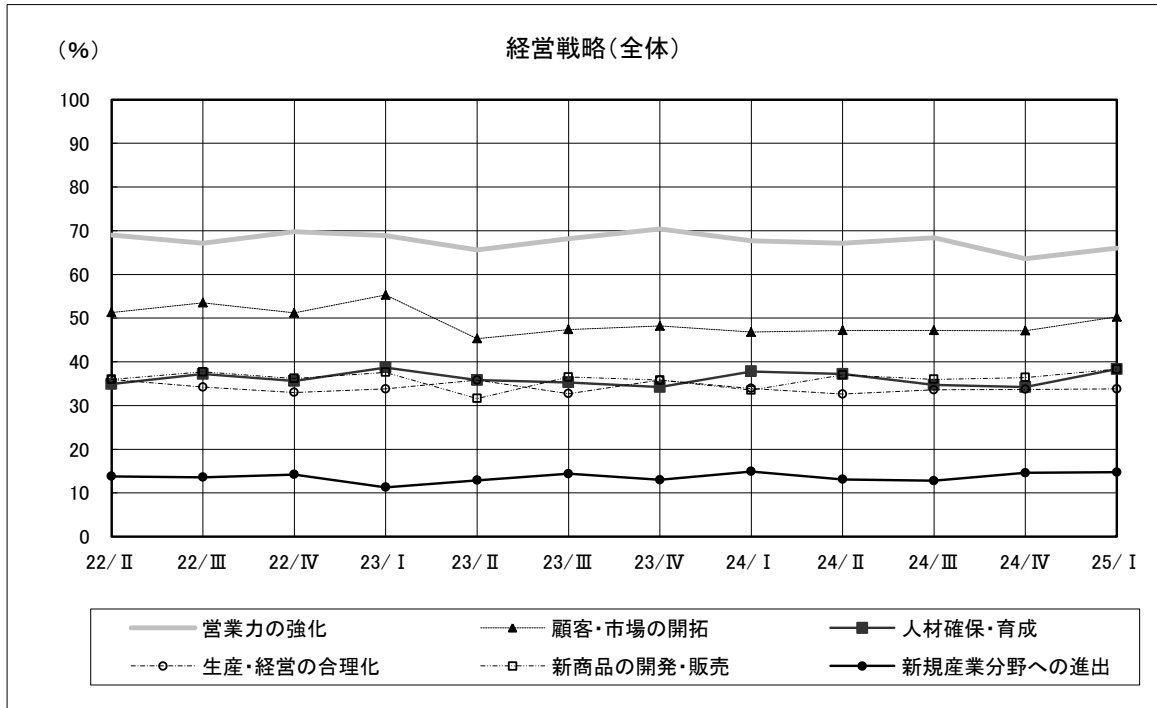


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

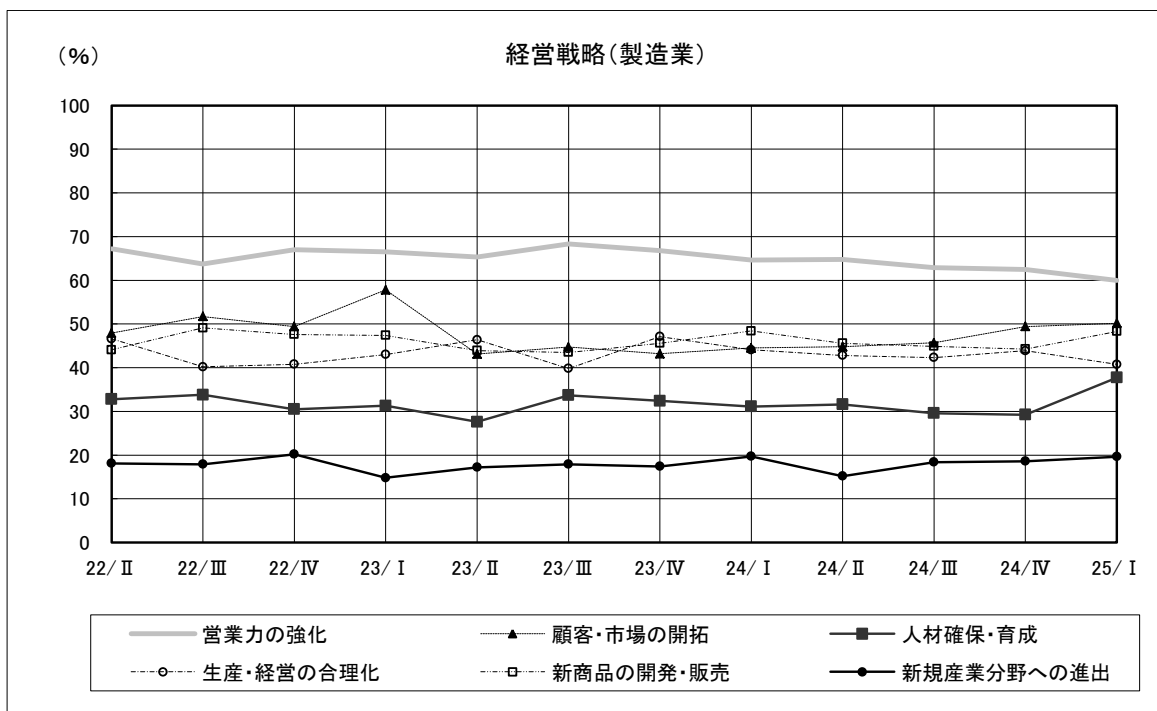


図 24. 当面の経営戦略・西陣

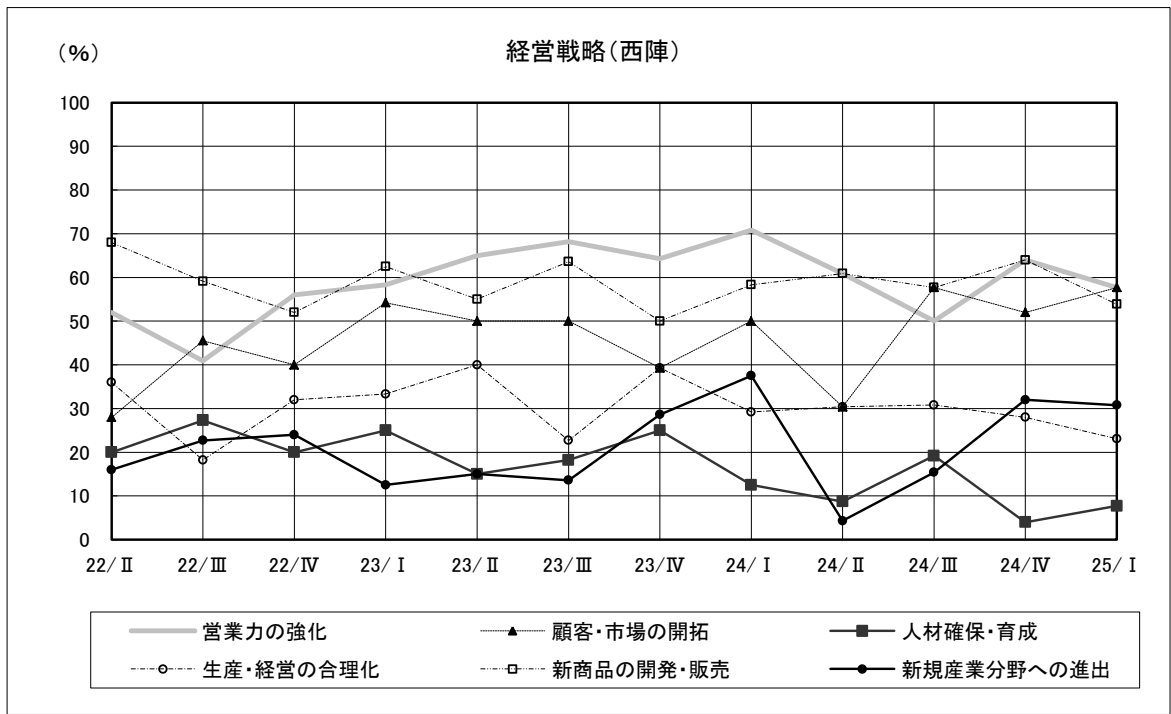


図 25. 当面の経営戦略・染色

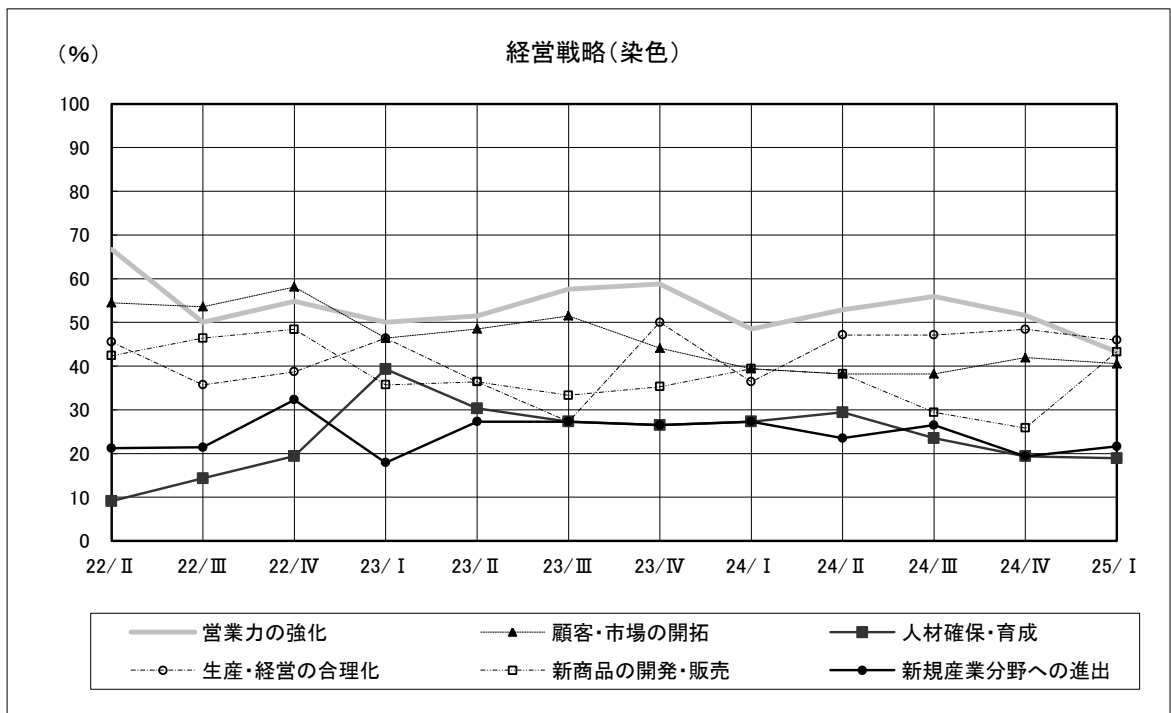


図 26. 当面の経営戦略・印刷

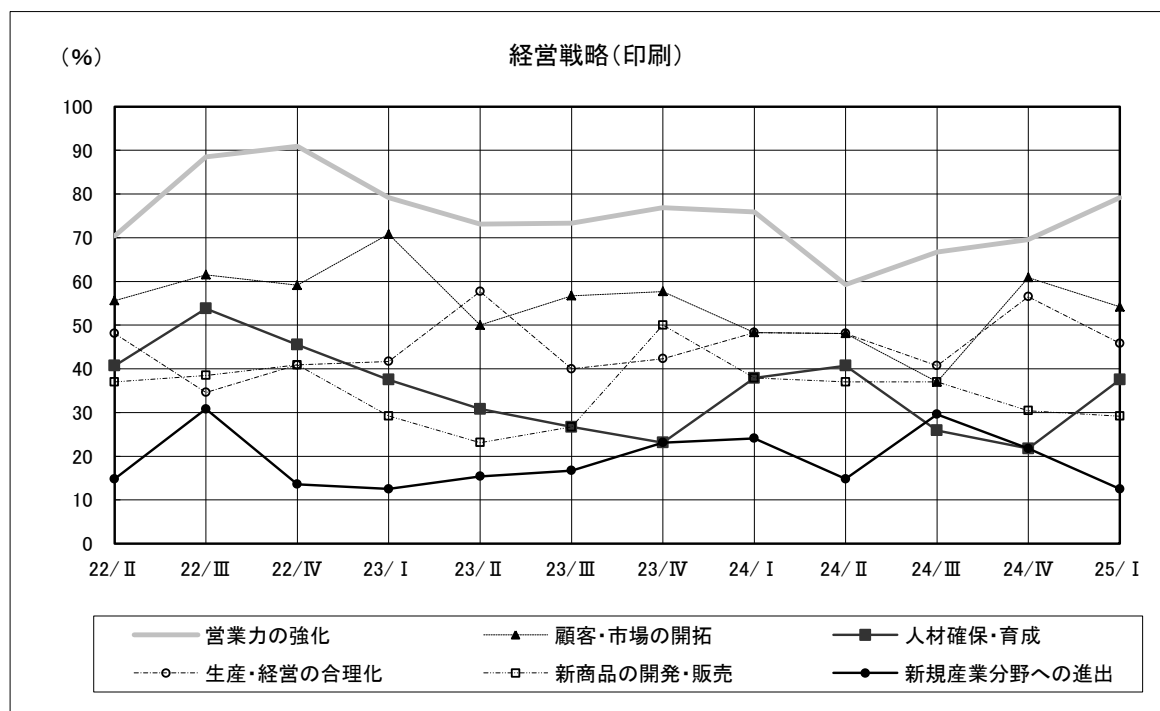


図 27. 当面の経営戦略・窯業

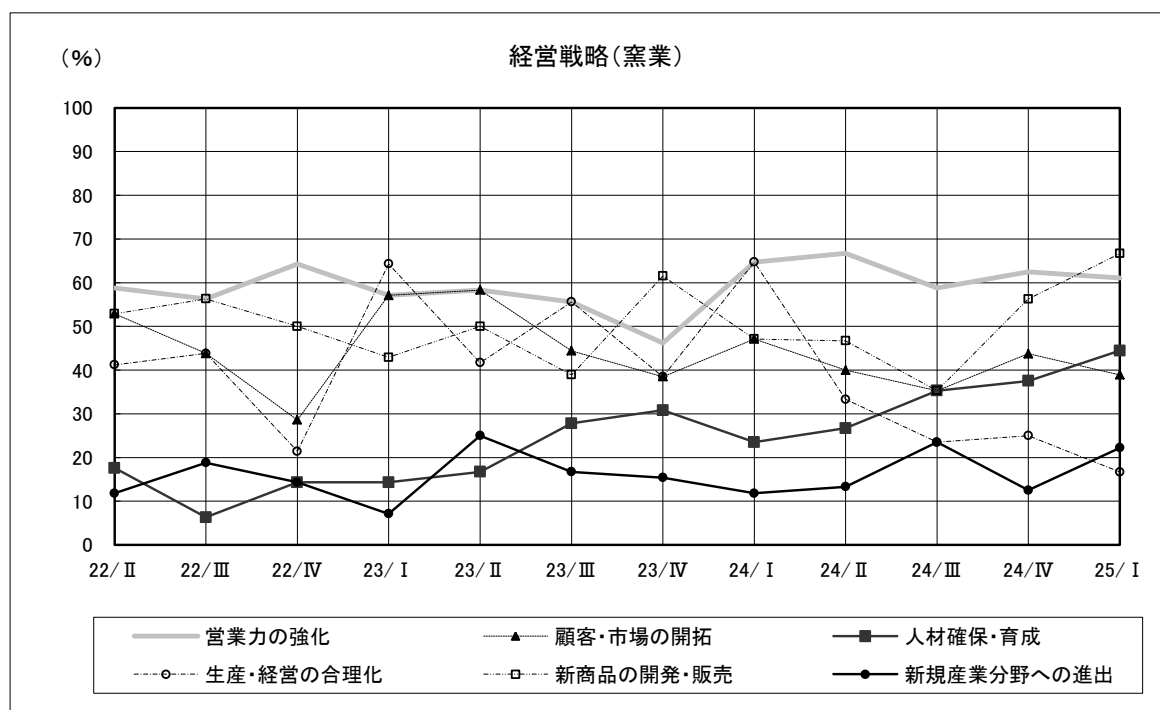




図 28. 当面の経営戦略・化学

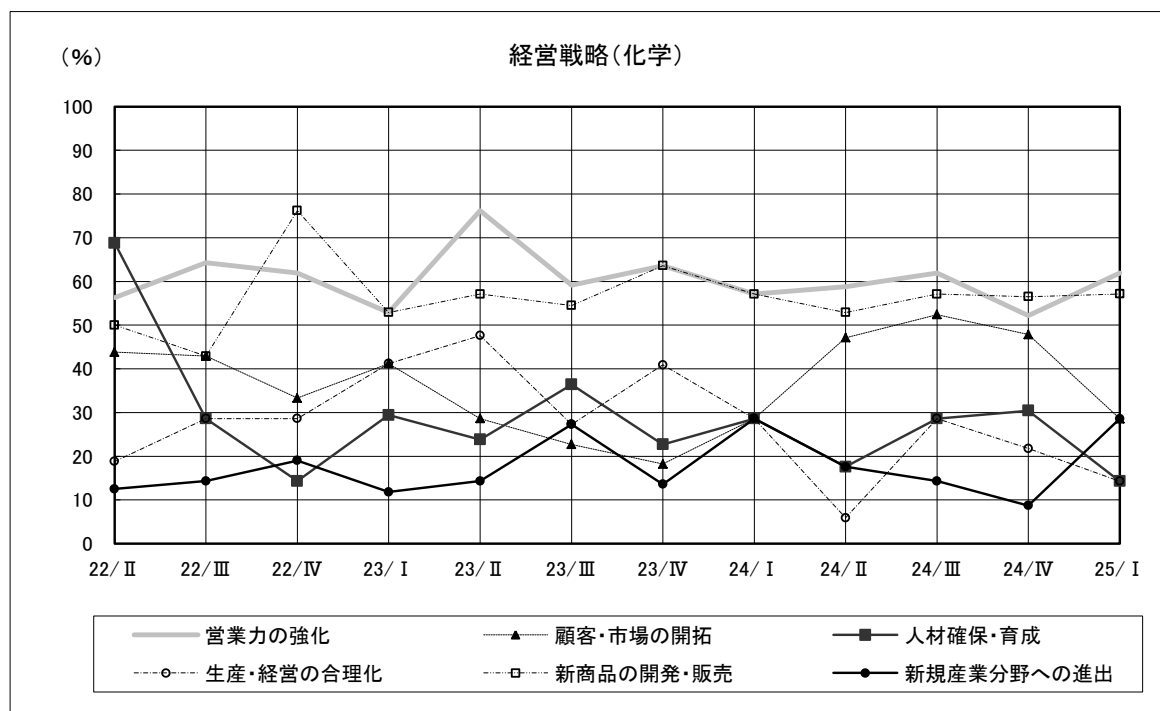


図 29. 当面の経営戦略・金属

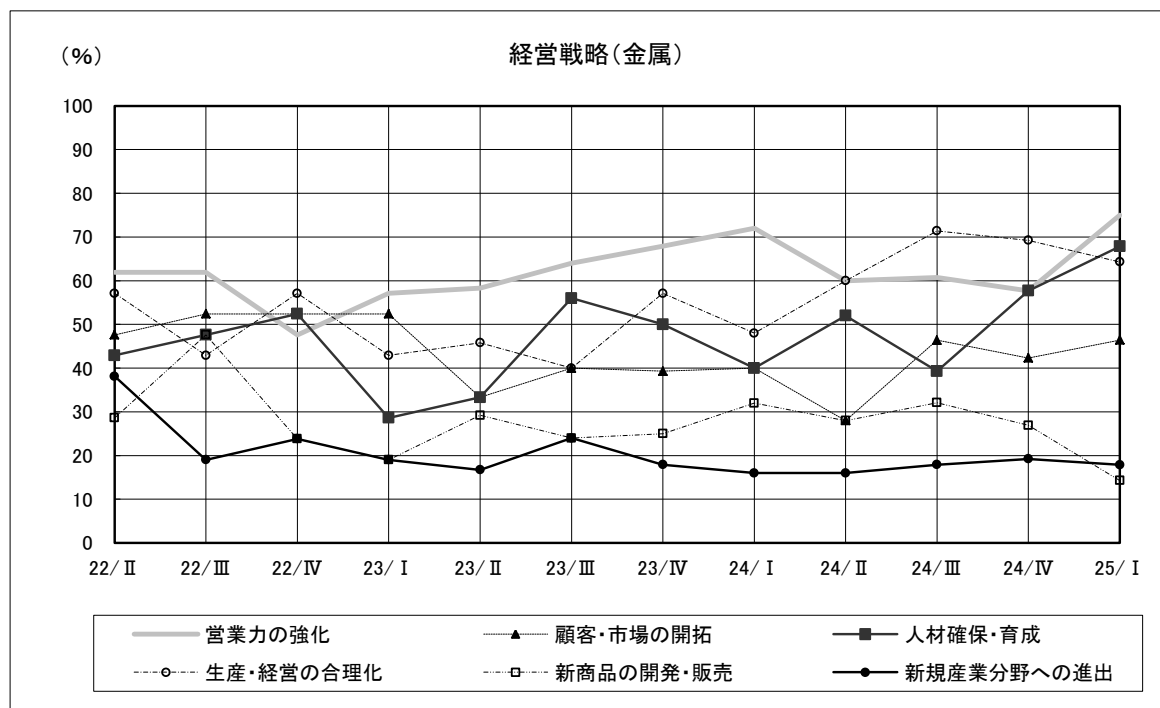


図 30. 当面の経営戦略・機械

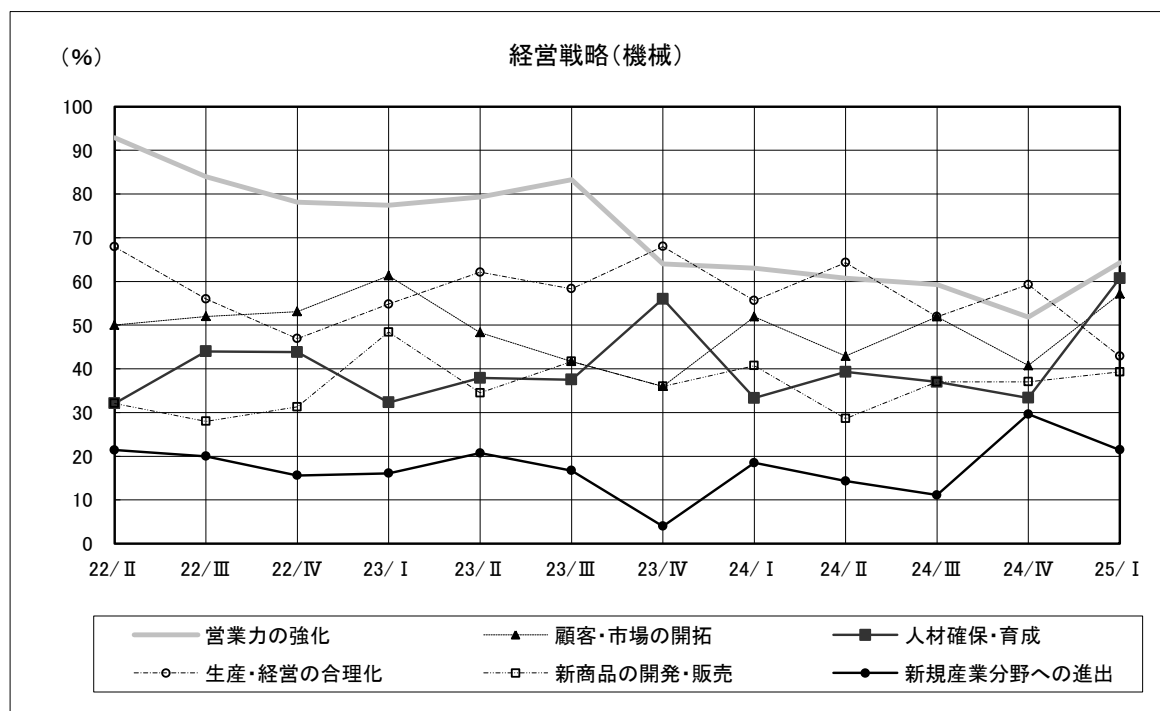


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

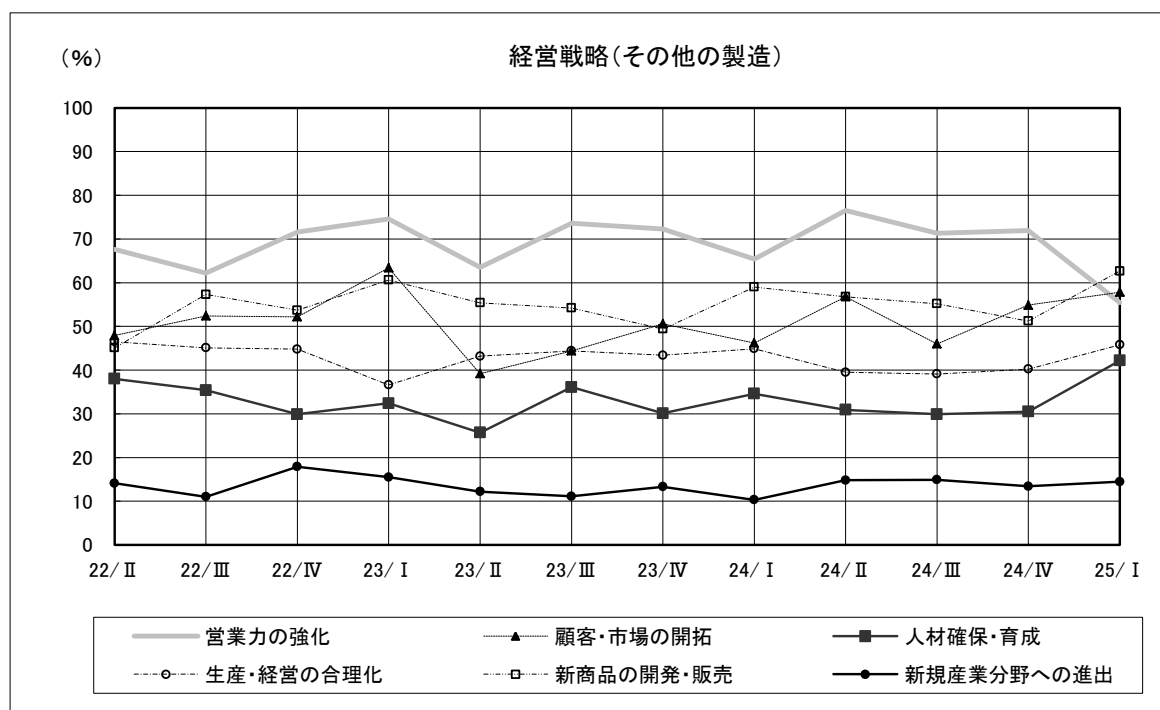


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

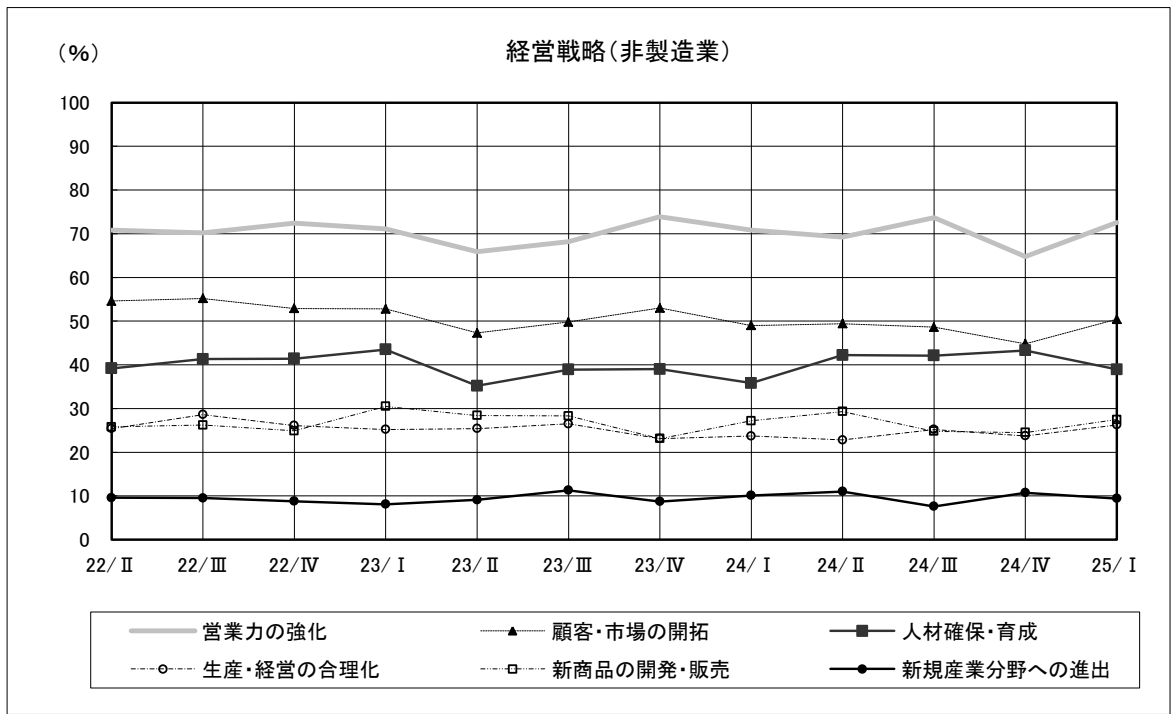


図 33. 当面の経営戦略・卸売

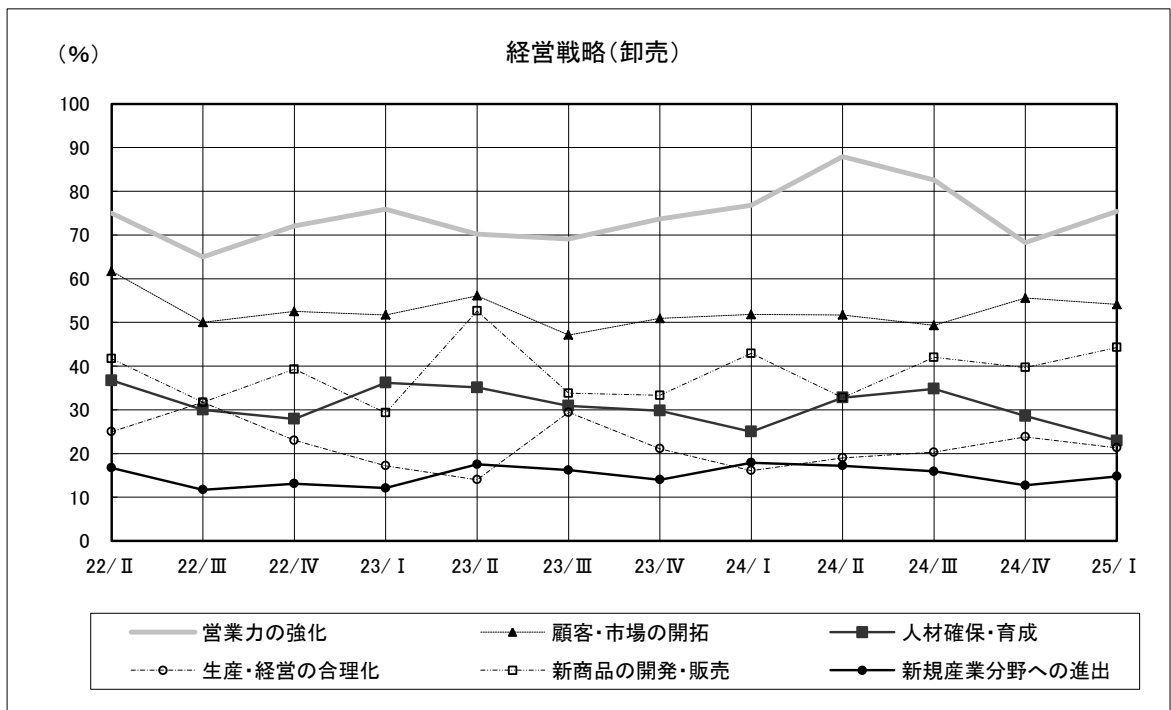


図 34. 当面の経営戦略・小売

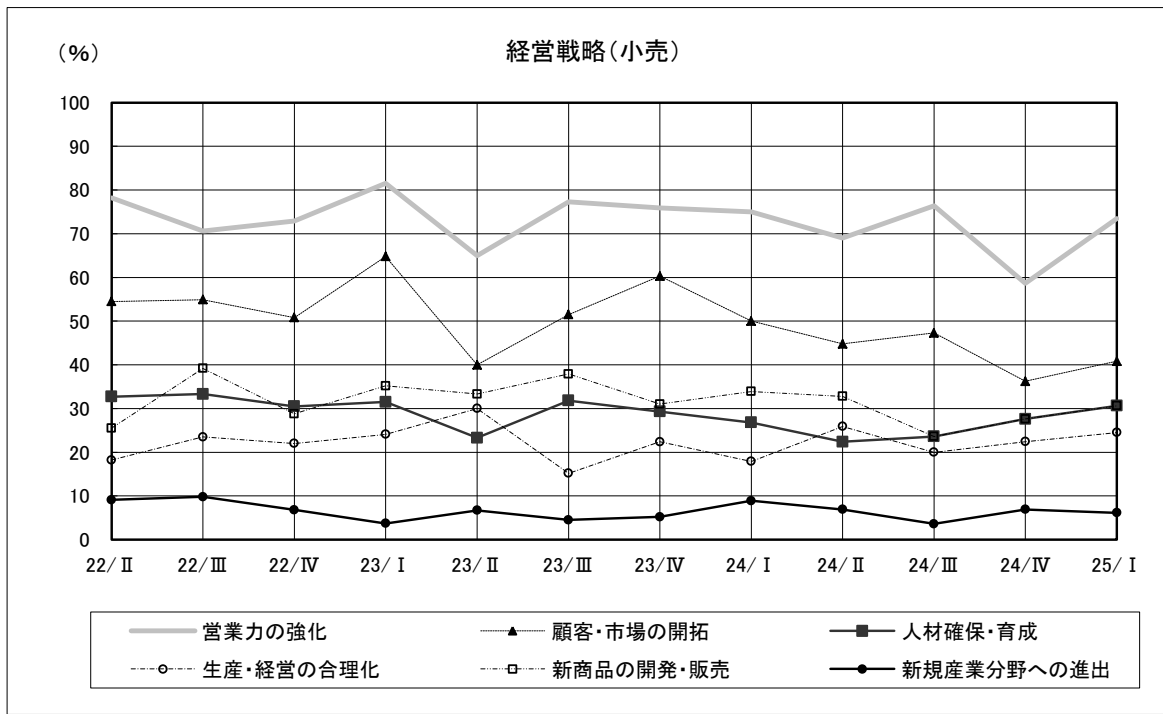


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

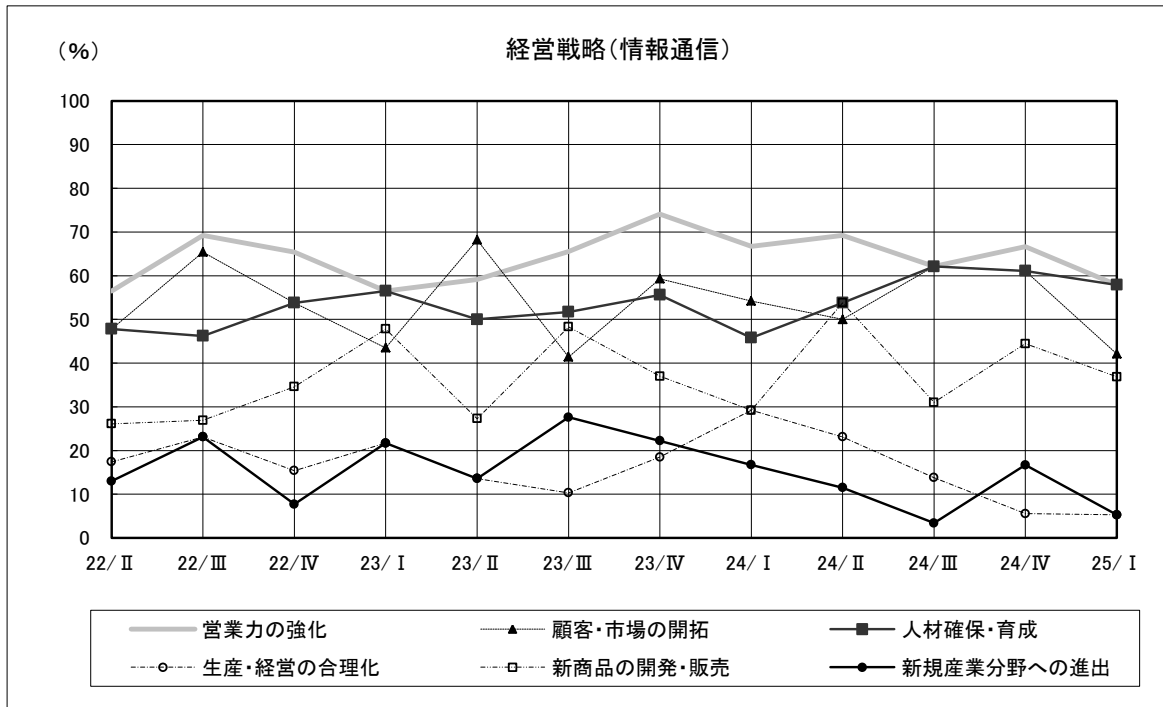


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

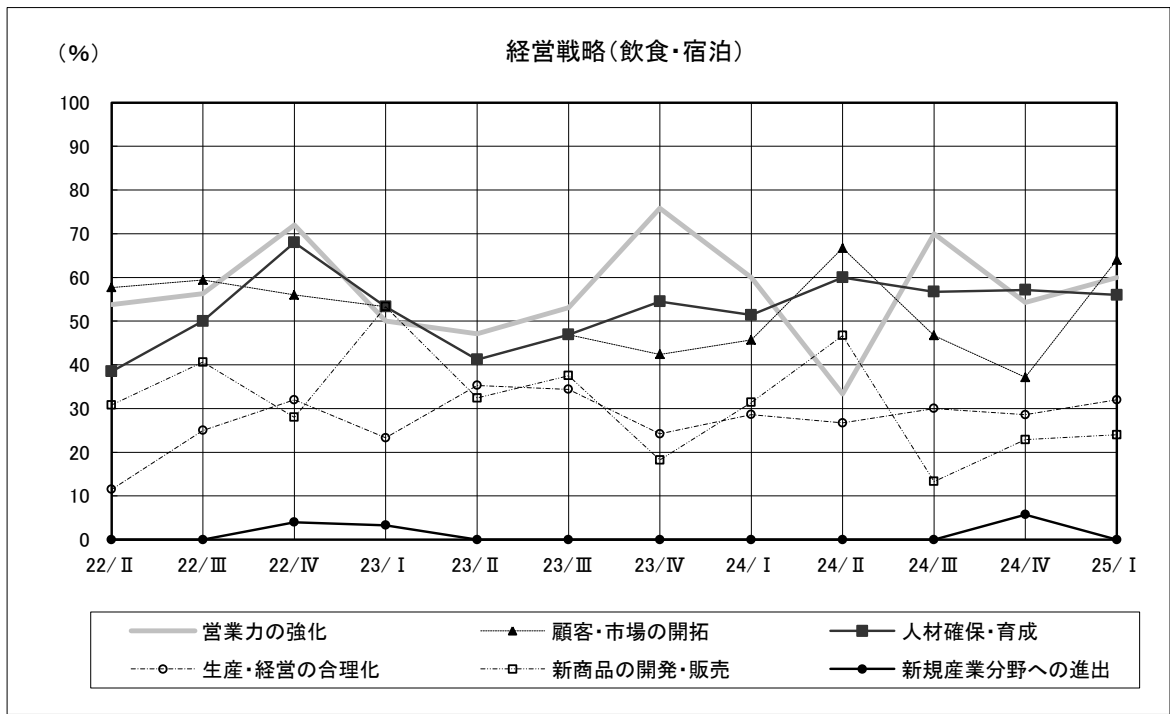


図 37. 当面の経営戦略・サービス

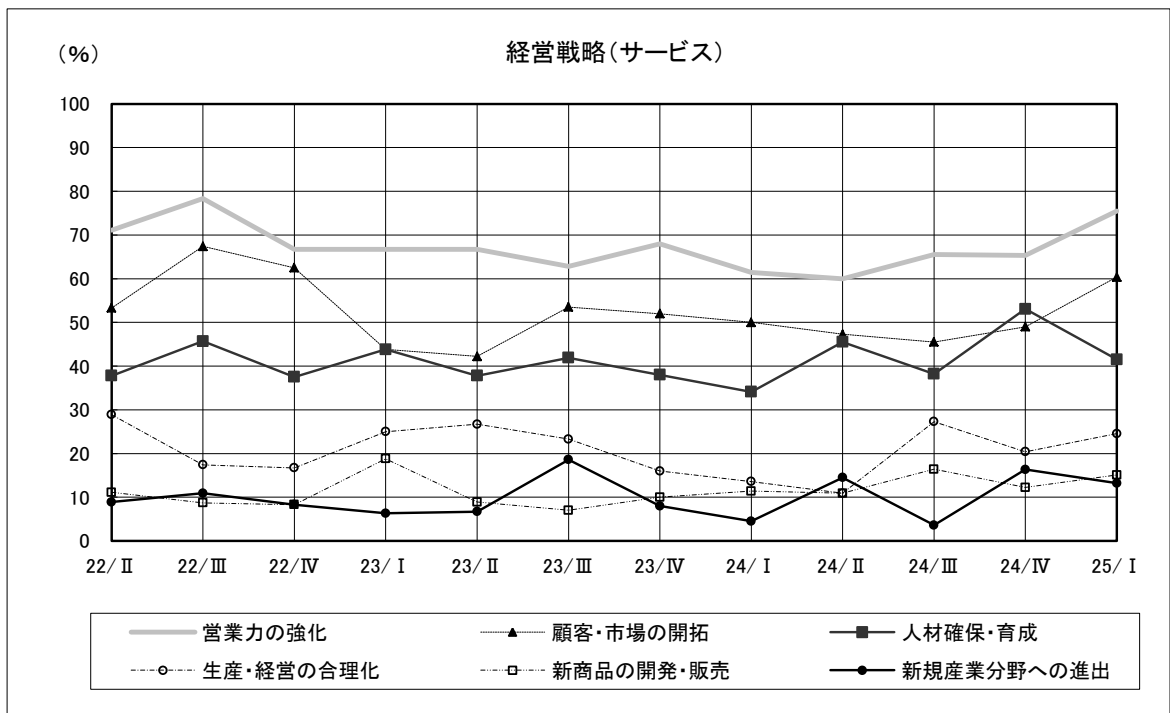


図 38. 当面の経営戦略・建設

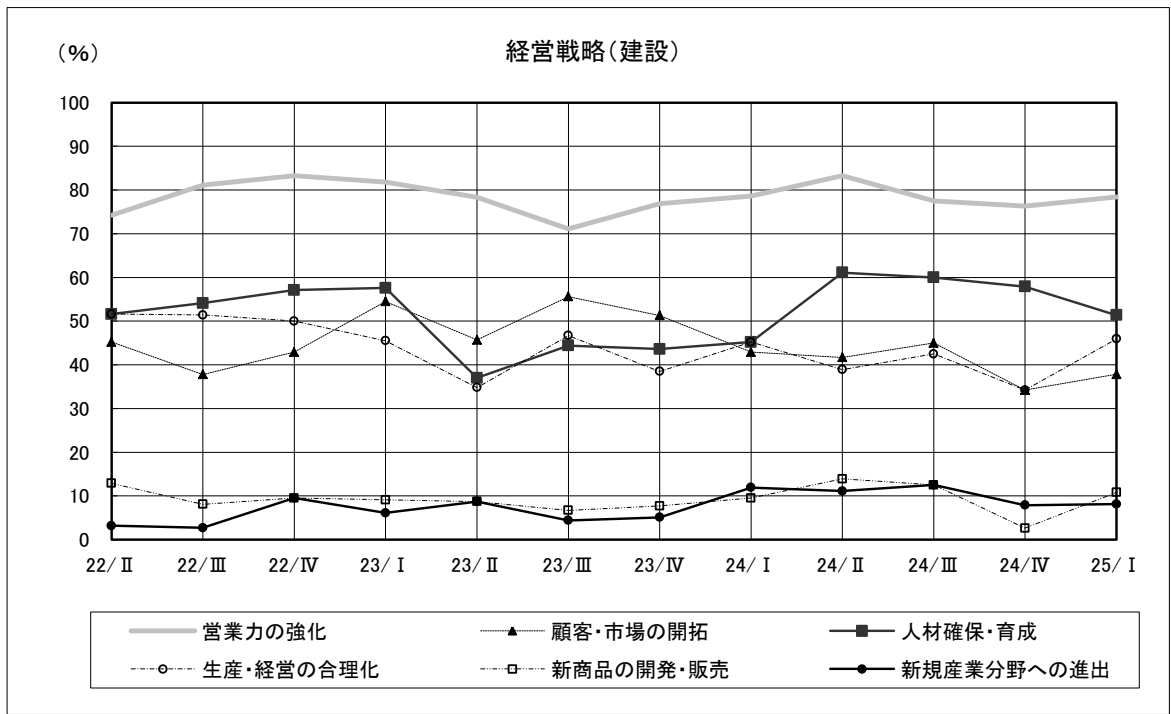


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	336 66.0%	172 33.8%	195 38.3%	75 14.7%	256 50.3%	195 38.3%	50 9.8%	63 12.4%	10 2.0%	509 100.0%	7
製造業	159 60.0%	108 40.8%	100 37.7%	52 19.6%	133 50.2%	128 48.3%	44 16.6%	37 14.0%	4 1.5%	265 100.0%	5
西陣	15 57.7%	6 23.1%	2 7.7%	8 30.8%	15 57.7%	14 53.8%	1 3.8%	2 7.7%	0 0.0%	26 100.0%	0
染色	16 43.2%	17 45.9%	7 18.9%	8 21.6%	15 40.5%	16 43.2%	6 16.2%	5 13.5%	1 2.7%	37 100.0%	0
印刷	19 79.2%	11 45.8%	9 37.5%	3 12.5%	13 54.2%	7 29.2%	1 4.2%	8 33.3%	0 0.0%	24 100.0%	0
窯業	11 61.1%	3 16.7%	8 44.4%	4 22.2%	7 38.9%	12 66.7%	7 38.9%	3 16.7%	1 5.6%	18 100.0%	2
化学	13 61.9%	3 14.3%	3 14.3%	6 28.6%	6 28.6%	12 57.1%	5 23.8%	5 23.8%	0 0.0%	21 100.0%	1
金属	21 75.0%	18 64.3%	19 67.9%	5 17.9%	13 46.4%	4 14.3%	4 14.3%	6 21.4%	0 0.0%	28 100.0%	0
機械	18 64.3%	12 42.9%	17 60.7%	6 21.4%	16 57.1%	11 39.3%	5 17.9%	0 0.0%	1 3.6%	28 100.0%	1
その他の製造	46 55.4%	38 45.8%	35 42.2%	12 14.5%	48 57.8%	52 62.7%	15 18.1%	8 9.6%	1 1.2%	83 100.0%	1
非製造業	177 72.5%	64 26.2%	95 38.9%	23 9.4%	123 50.4%	67 27.5%	6 2.5%	26 10.7%	6 2.5%	244 100.0%	2
卸売	46 75.4%	13 21.3%	14 23.0%	9 14.8%	33 54.1%	27 44.3%	1 1.6%	4 6.6%	0 0.0%	61 100.0%	0
小売	36 73.5%	12 24.5%	15 30.6%	3 6.1%	20 40.8%	15 30.6%	1 2.0%	7 14.3%	3 6.1%	49 100.0%	1
情報通信	11 57.9%	1 5.3%	11 57.9%	1 5.3%	8 42.1%	7 36.8%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	19 100.0%	0
飲食・宿泊	15 60.0%	8 32.0%	14 56.0%	0 0.0%	16 64.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	25 100.0%	0
サービス	40 75.5%	13 24.5%	22 41.5%	7 13.2%	32 60.4%	8 15.1%	0 0.0%	6 11.3%	2 3.8%	53 100.0%	0
建設	29 78.4%	17 45.9%	19 51.4%	3 8.1%	14 37.8%	4 10.8%	1 2.7%	6 16.2%	0 0.0%	37 100.0%	1
観光関連	30 60.0%	14 28.0%	27 54.0%	3 6.0%	25 50.0%	24 48.0%	3 6.0%	5 10.0%	1 2.0%	50 100.0%	0

### (3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

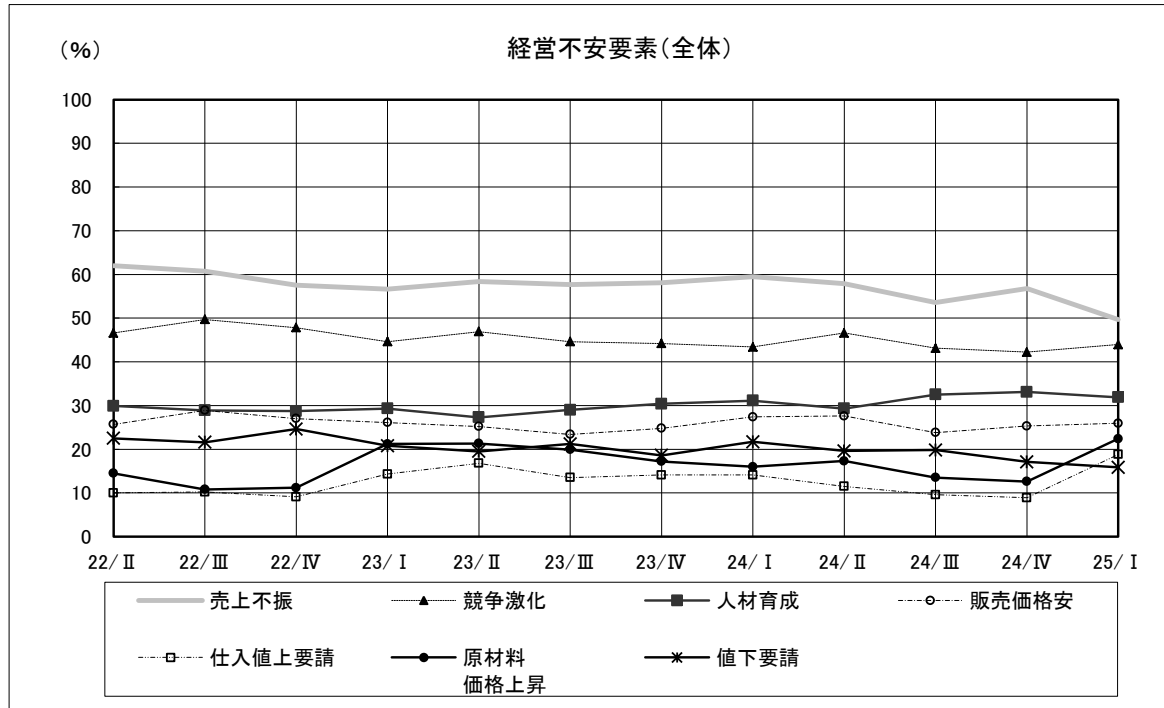


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

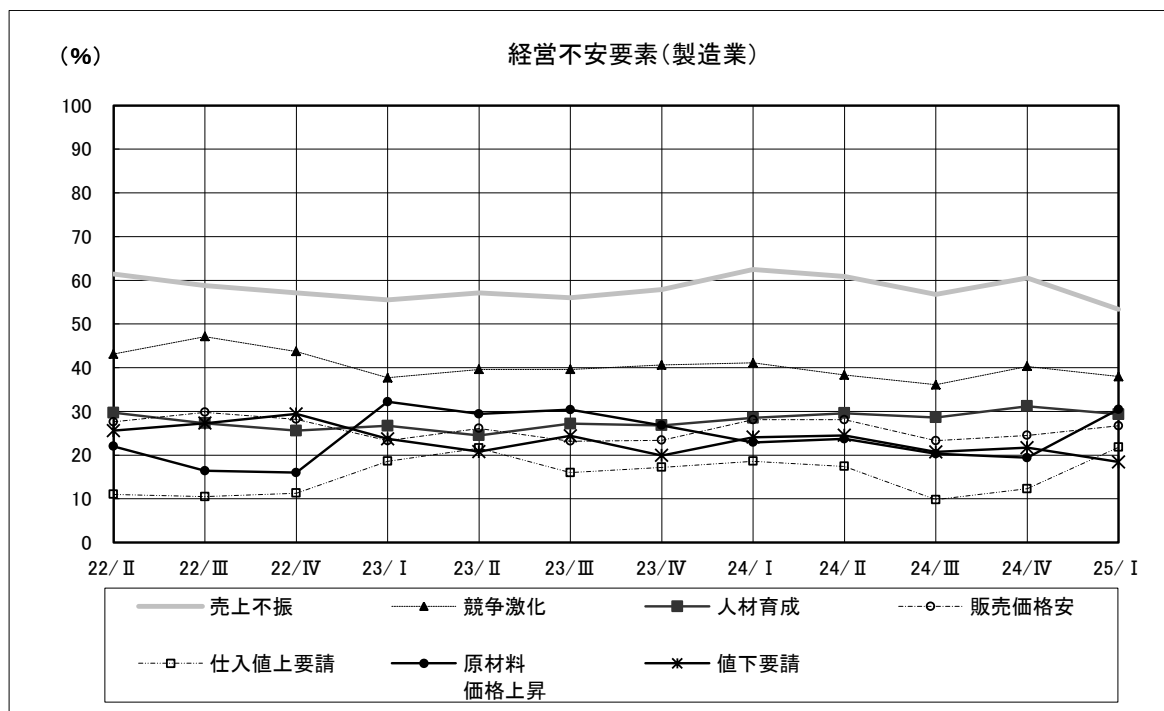


図 41. 経営上の不安要素・西陣

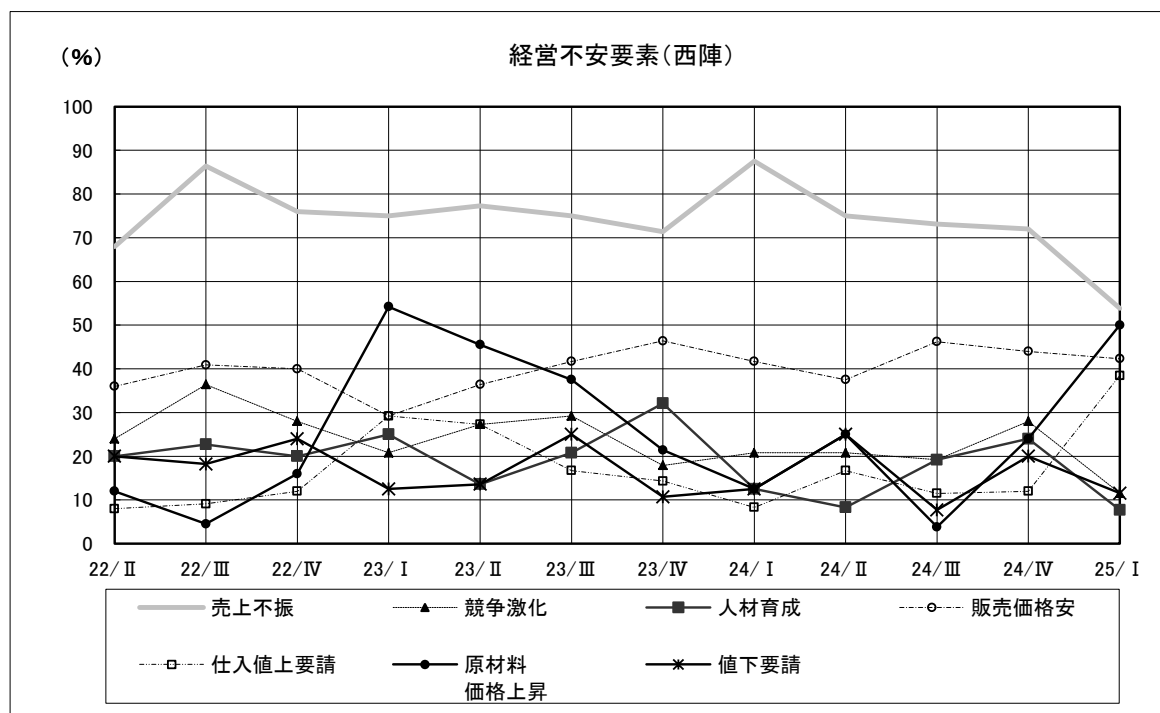


図 42. 経営上の不安要素・染色

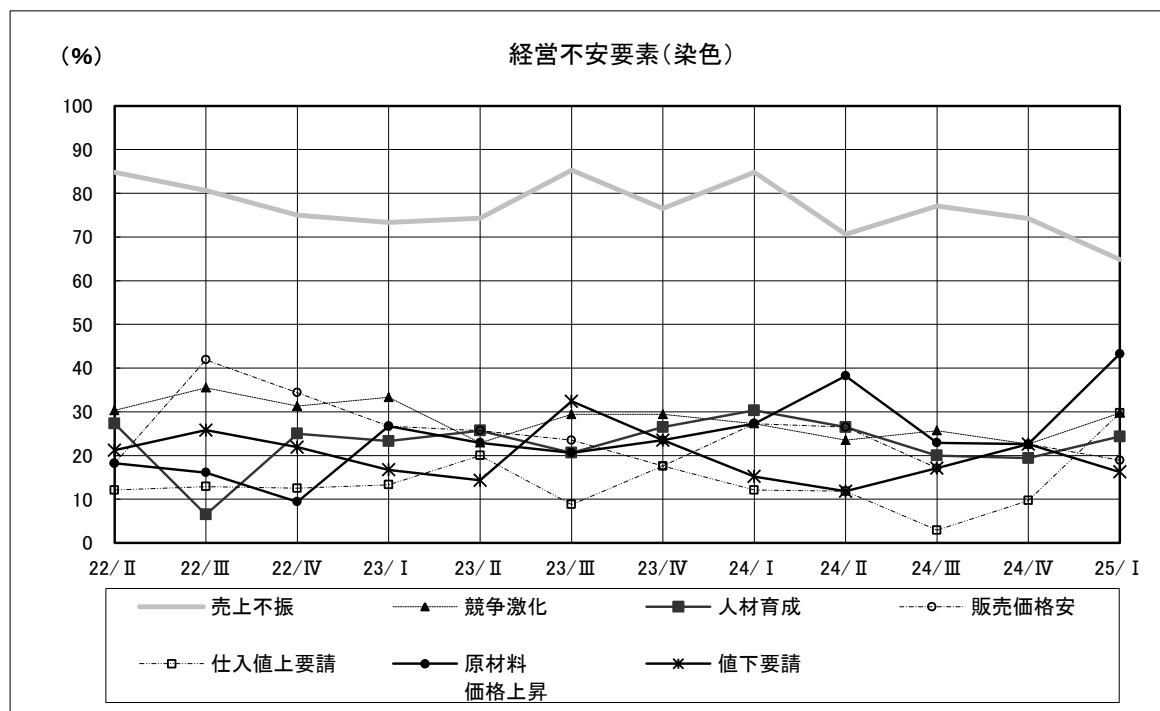




図 43. 経営上の不安要素・印刷

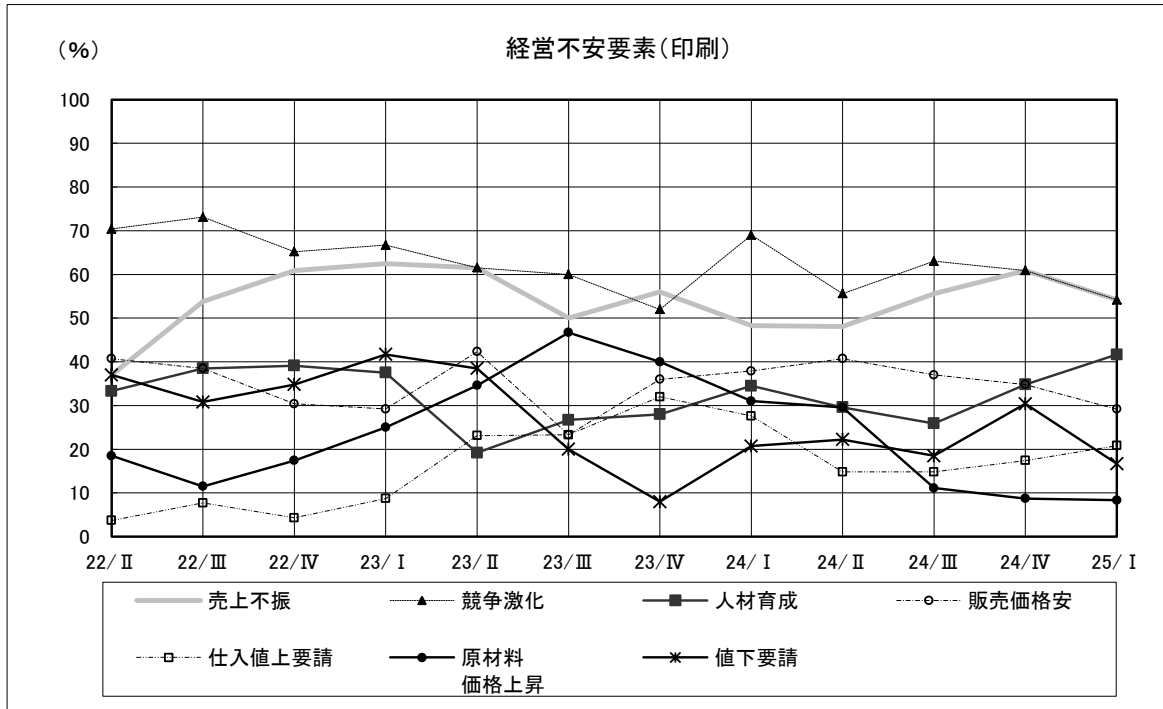


図 44. 経営上の不安要素・窯業

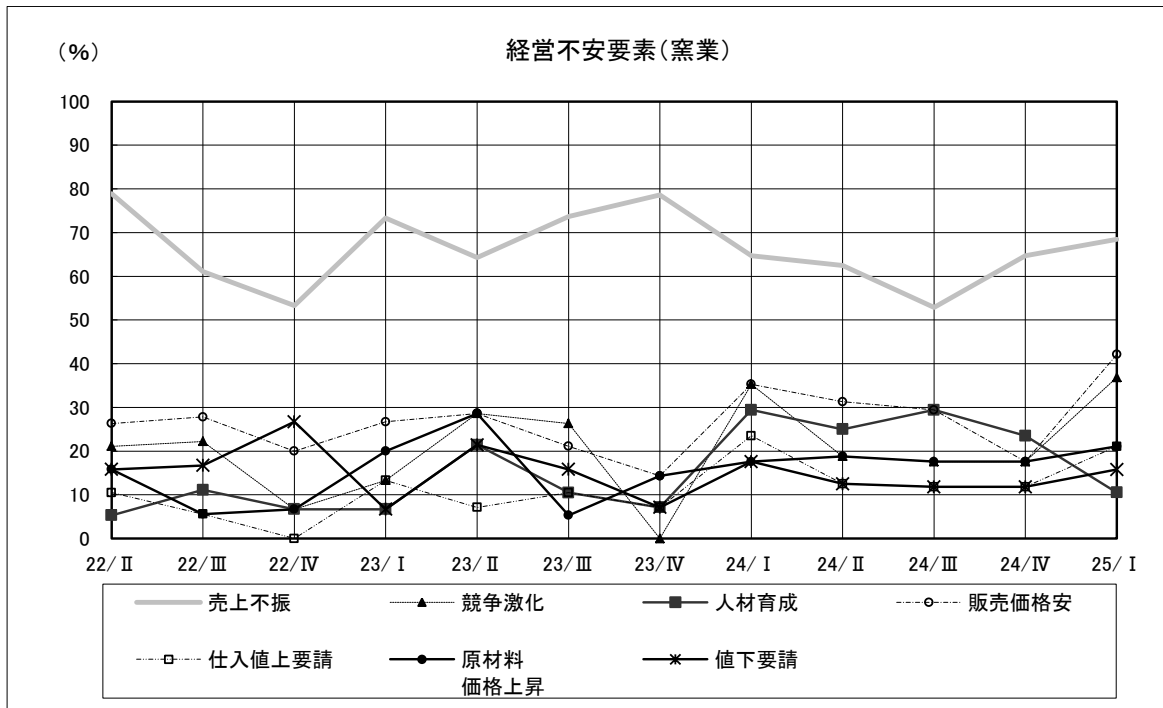


図 45. 経営上の不安要素・化学

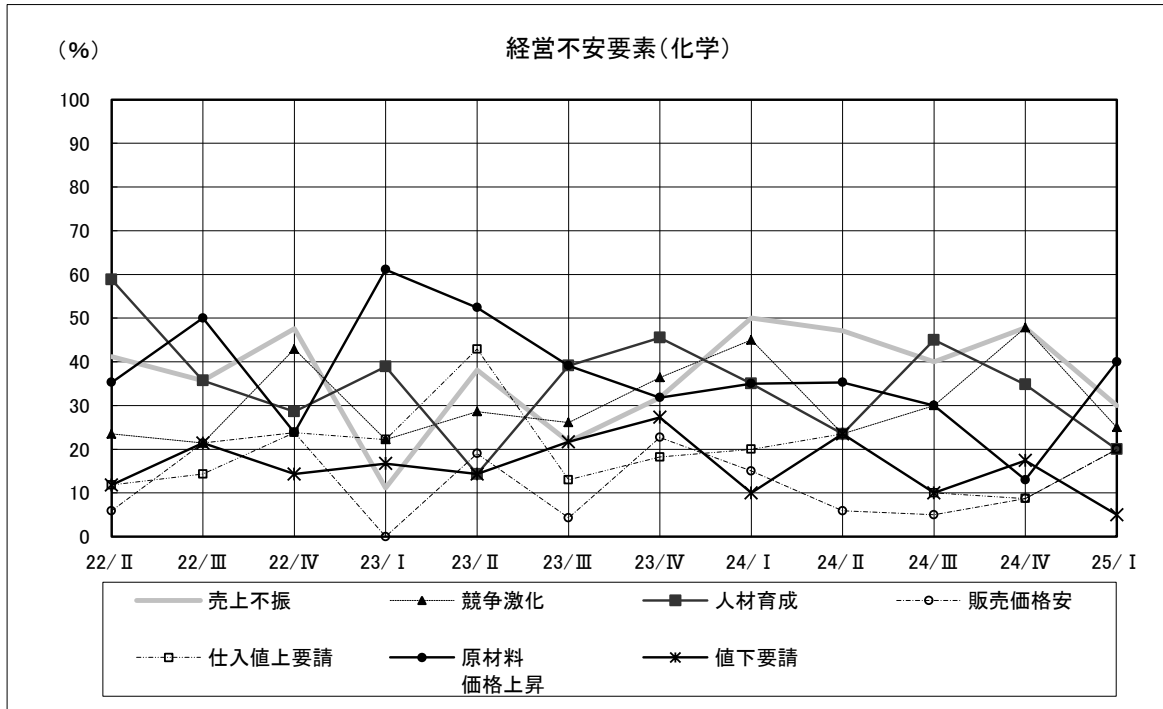


図 46. 経営上の不安要素・金属

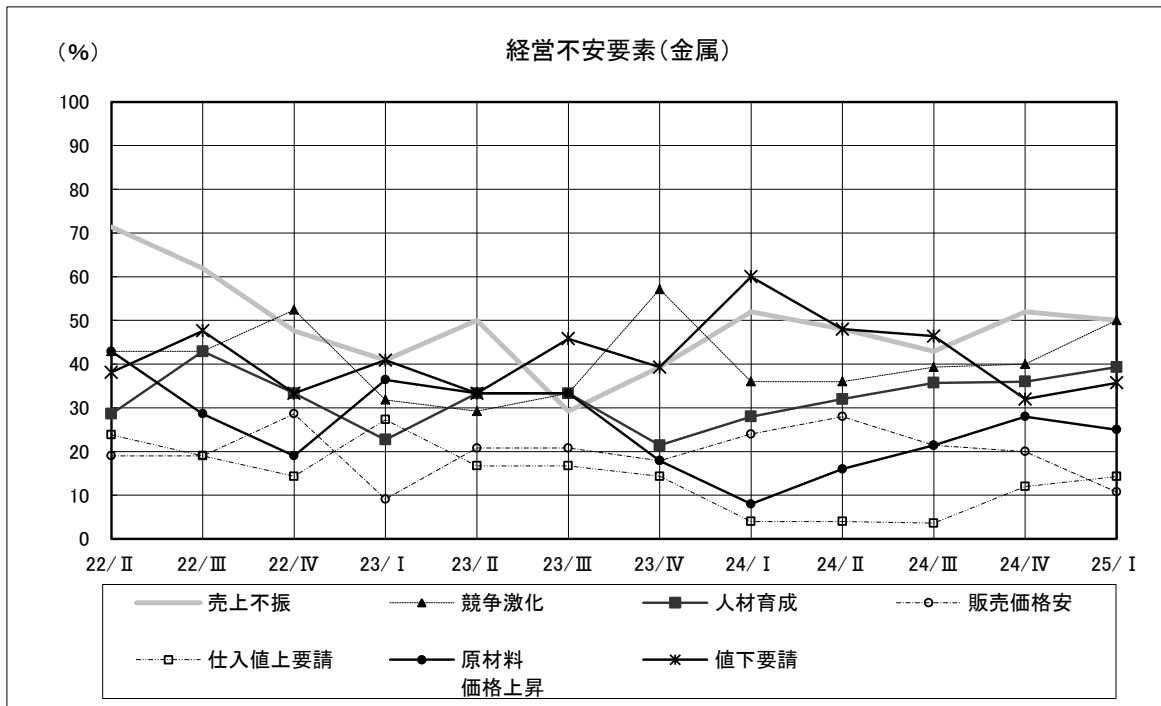


図 47. 経営上の不安要素・機械

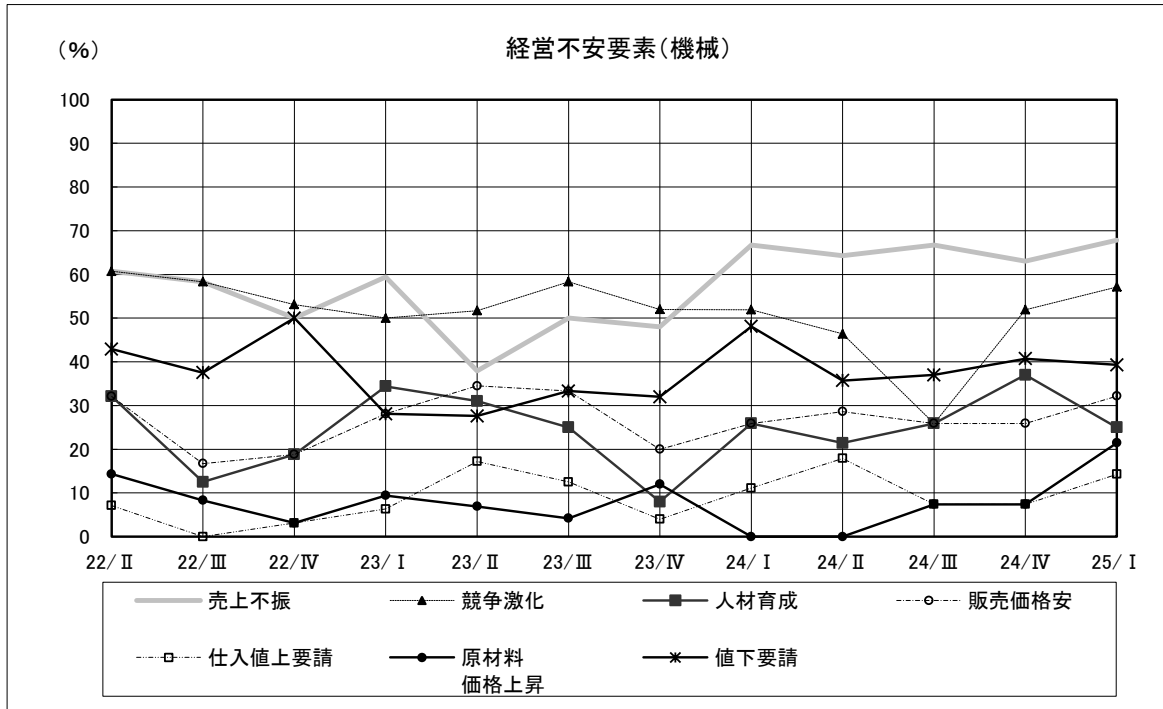


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

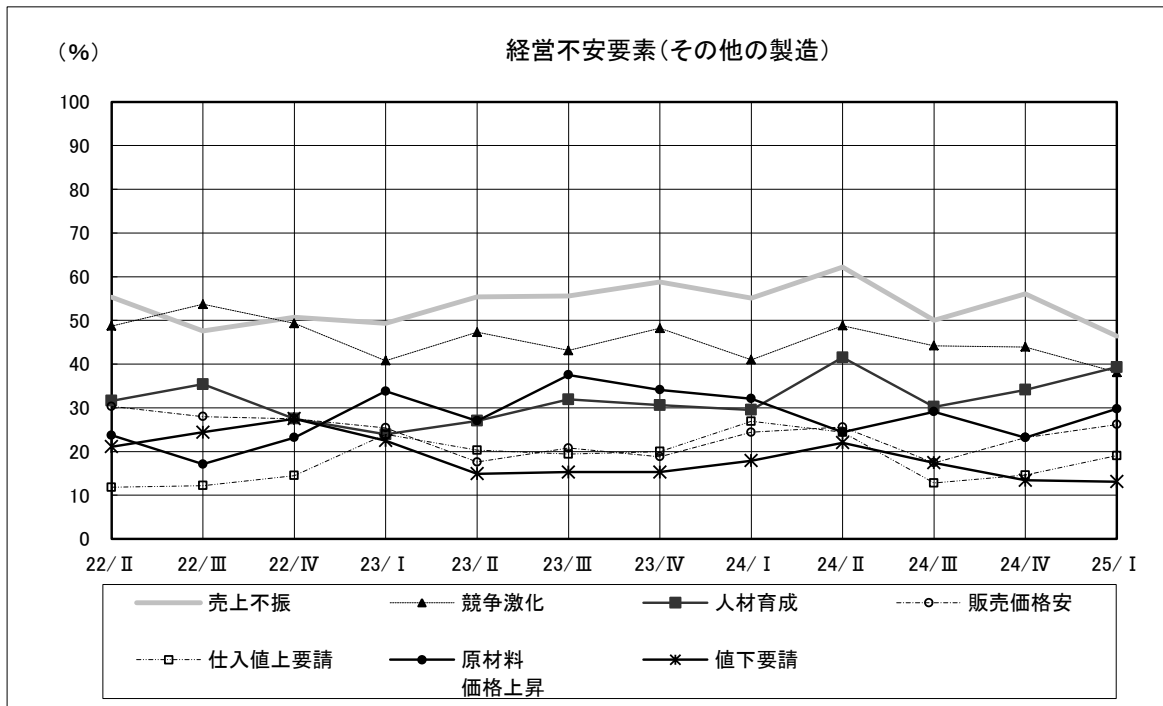


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

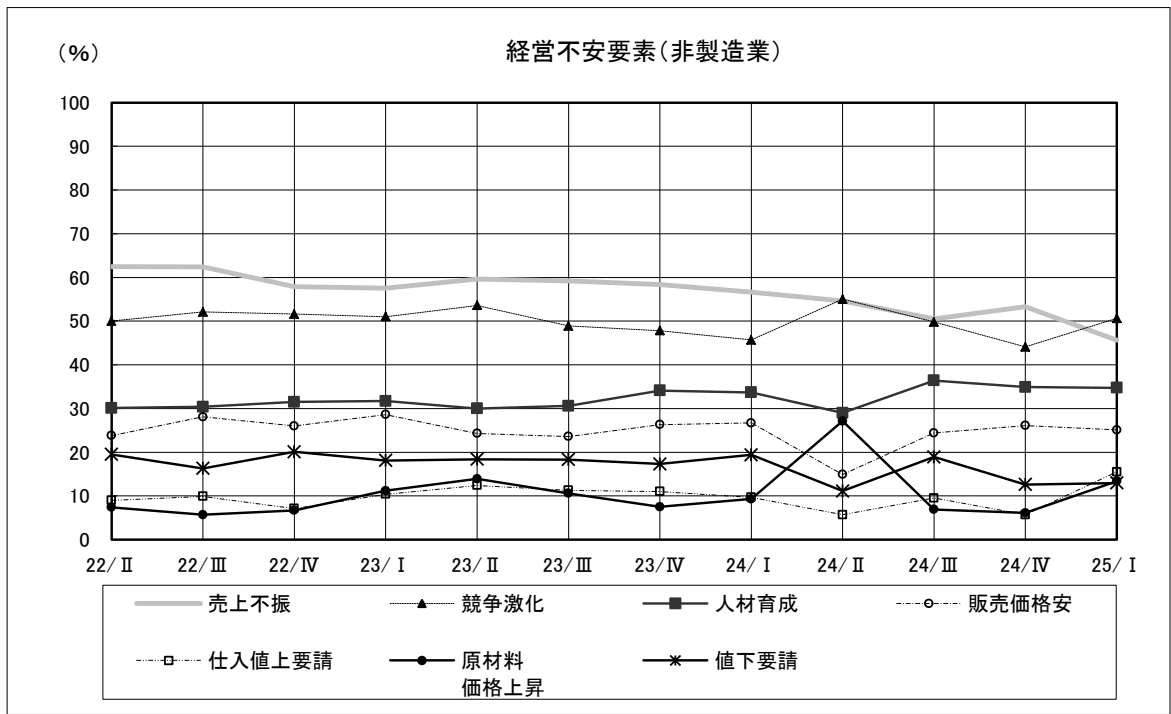


図 50. 経営上の不安要素・卸売

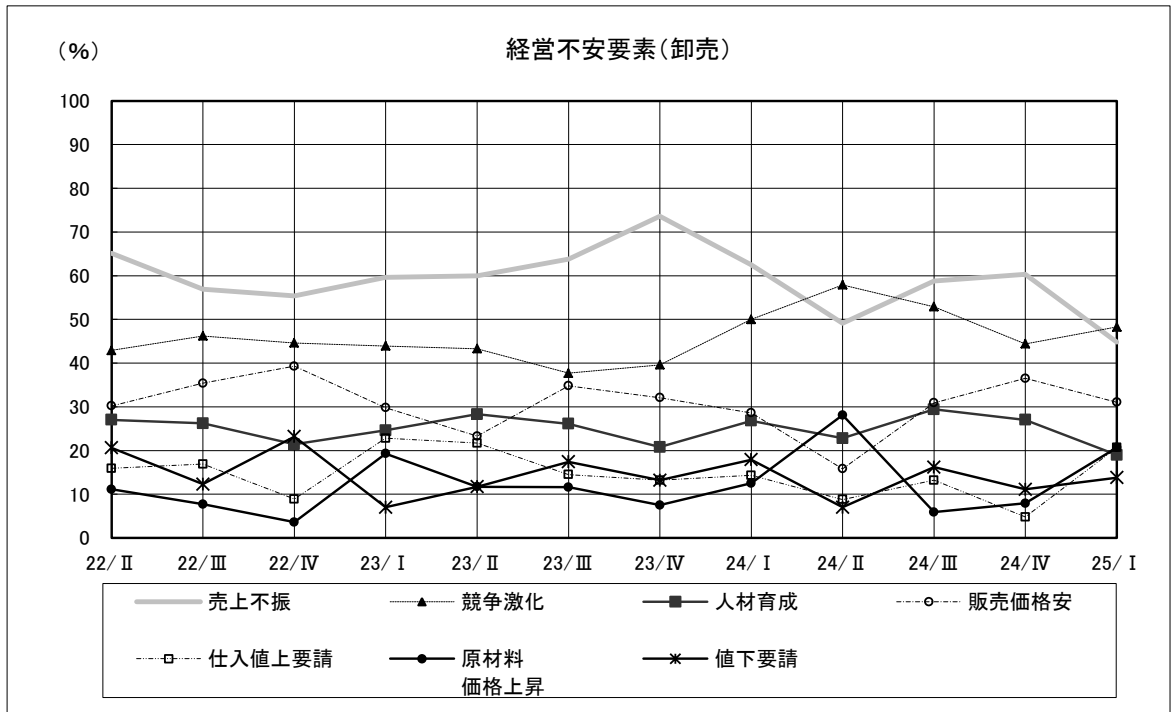


図 51. 経営上の不安要素・小売

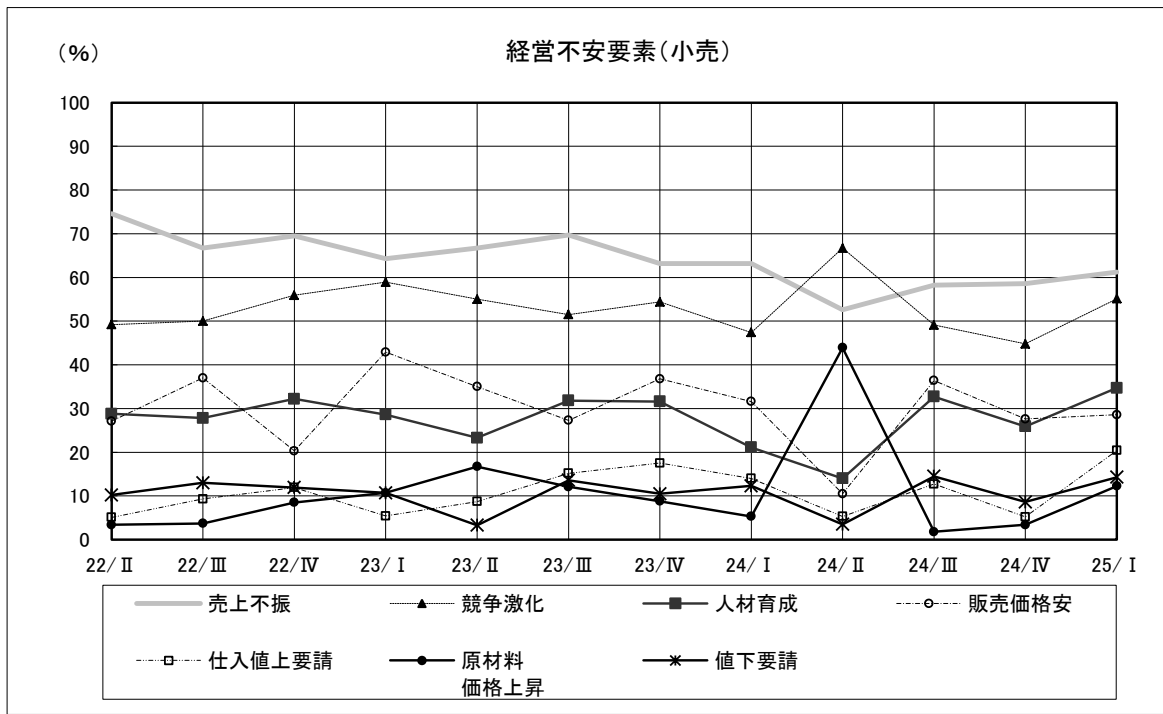


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

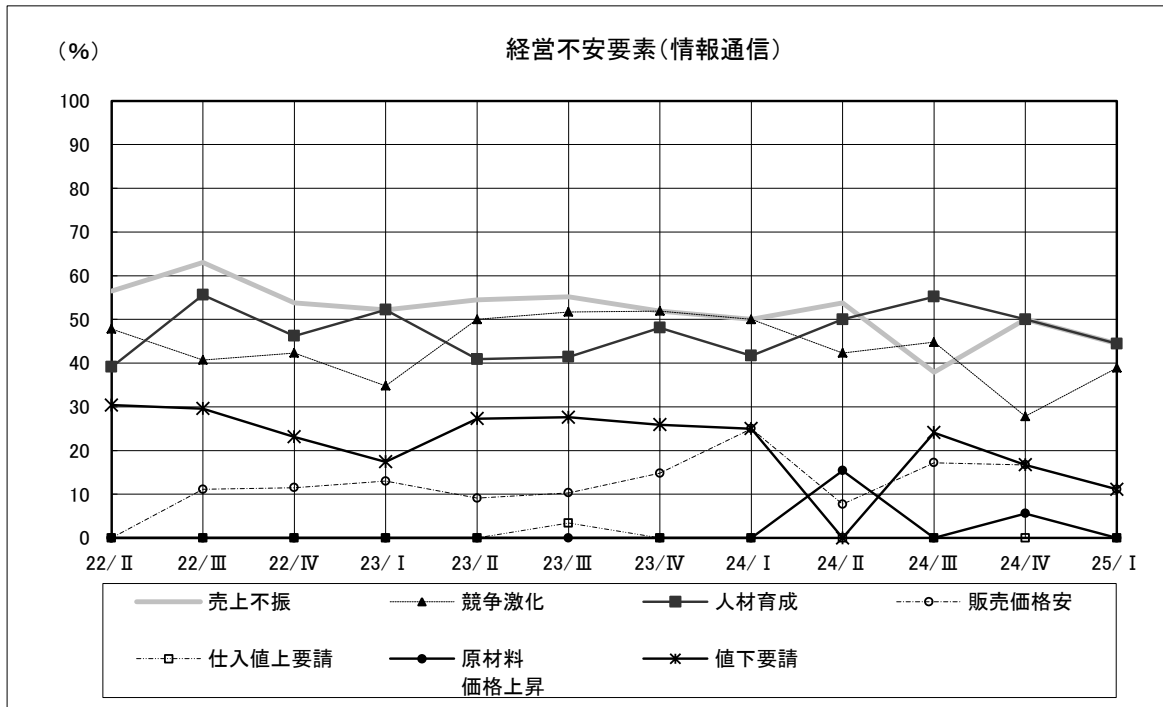


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

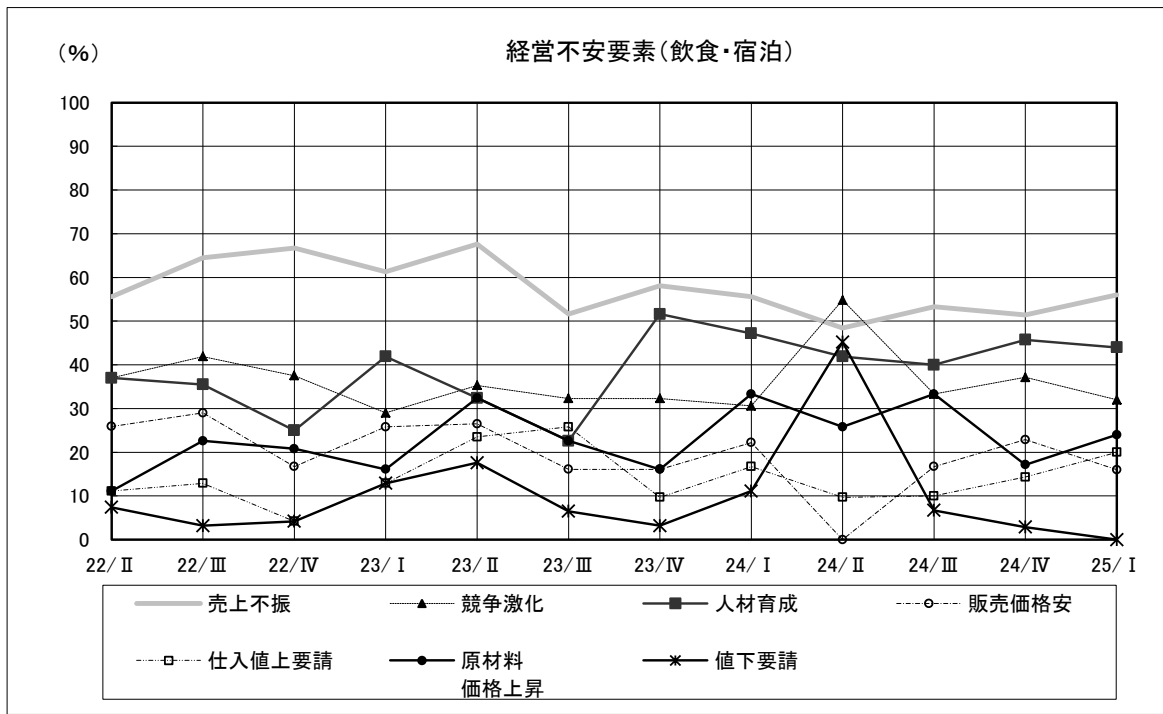


図 54. 経営上の不安要素・サービス

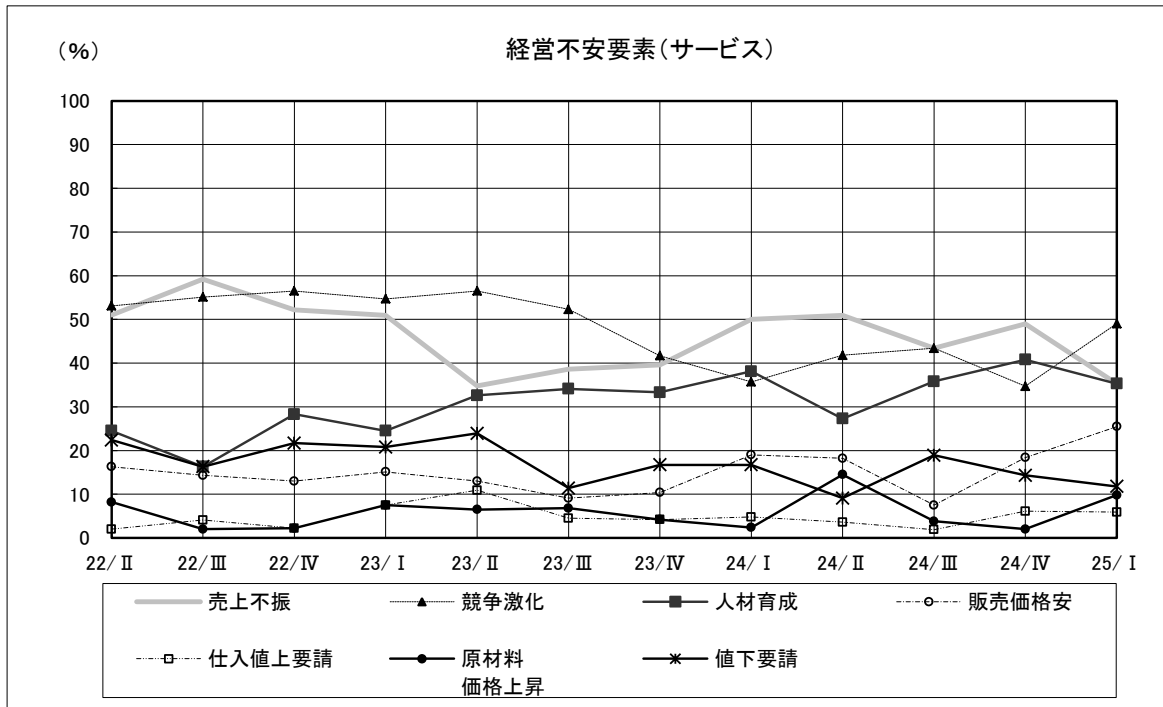


図 55. 経営上の不安要素・建設

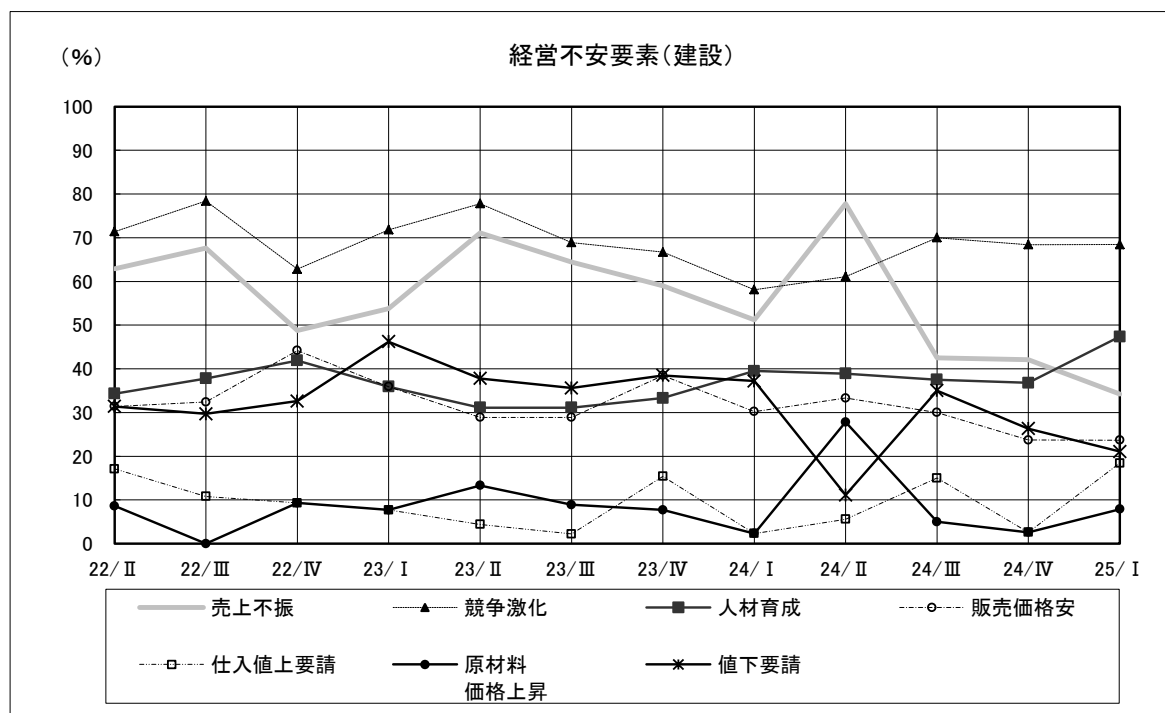


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	222 44.0%	251 49.7%	161 31.9%	80 15.8%	95 18.8%	113 22.4%	24 4.8%	131 25.9%
製造業	101 38.0%	142 53.4%	78 29.3%	49 18.4%	58 21.8%	81 30.5%	13 4.9%	71 26.7%
西陣	3 11.5%	14 53.8%	2 7.7%	3 11.5%	10 38.5%	13 50.0%	0 0.0%	11 42.3%
染色	11 29.7%	24 64.9%	9 24.3%	6 16.2%	11 29.7%	16 43.2%	4 10.8%	7 18.9%
印刷	13 54.2%	13 54.2%	10 41.7%	4 16.7%	5 20.8%	2 8.3%	1 4.2%	7 29.2%
窯業	7 36.8%	13 68.4%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	4 21.1%	2 10.5%	8 42.1%
化学	5 25.0%	6 30.0%	4 20.0%	1 5.0%	4 20.0%	8 40.0%	1 5.0%	4 20.0%
金属	14 50.0%	14 50.0%	11 39.3%	10 35.7%	4 14.3%	7 25.0%	2 7.1%	3 10.7%
機械	16 57.1%	19 67.9%	7 25.0%	11 39.3%	4 14.3%	6 21.4%	1 3.6%	9 32.1%
その他の製造	32 38.1%	39 46.4%	33 39.3%	11 13.1%	16 19.0%	25 29.8%	2 2.4%	22 26.2%
非製造業	121 50.6%	109 45.6%	83 34.7%	31 13.0%	37 15.5%	32 13.4%	11 4.6%	60 25.1%
卸売	28 48.3%	26 44.8%	11 19.0%	8 13.8%	12 20.7%	12 20.7%	1 1.7%	18 31.0%
小売	27 55.1%	30 61.2%	17 34.7%	7 14.3%	10 20.4%	6 12.2%	0 0.0%	14 28.6%
情報通信	7 38.9%	8 44.4%	8 44.4%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%
飲食・宿泊	8 32.0%	14 56.0%	11 44.0%	0 0.0%	5 20.0%	6 24.0%	2 8.0%	4 16.0%
サービス	25 49.0%	18 35.3%	18 35.3%	6 11.8%	3 5.9%	5 9.8%	4 7.8%	13 25.5%
建設	26 68.4%	13 34.2%	18 47.4%	8 21.1%	7 18.4%	3 7.9%	3 7.9%	9 23.7%
観光関連	21 42.0%	30 60.0%	23 46.0%	1 2.0%	11 22.0%	11 22.0%	2 4.0%	7 14.0%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	45 8.9%	51 10.1%	45 8.9%	57 11.3%	25 5.0%	505 100.0%	11
製造業	31 11.7%	30 11.3%	20 7.5%	25 9.4%	16 6.0%	266 100.0%	4
西陣	2 7.7%	2 7.7%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%	26 100.0%	0
染色	4 10.8%	6 16.2%	2 5.4%	3 8.1%	3 8.1%	37 100.0%	0
印刷	3 12.5%	2 8.3%	1 4.2%	4 16.7%	0 0.0%	24 100.0%	0
窯業	2 10.5%	3 15.8%	3 15.8%	3 15.8%	1 5.3%	19 100.0%	1
化学	4 20.0%	3 15.0%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%	20 100.0%	2
金属	4 14.3%	2 7.1%	2 7.1%	4 14.3%	2 7.1%	28 100.0%	0
機械	5 17.9%	4 14.3%	2 7.1%	2 7.1%	1 3.6%	28 100.0%	1
その他の製造	7 8.3%	8 9.5%	9 10.7%	5 6.0%	7 8.3%	84 100.0%	0
非製造業	14 5.9%	21 8.8%	25 10.5%	32 13.4%	9 3.8%	239 100.0%	7
卸売	3 5.2%	4 6.9%	0 0.0%	7 12.1%	3 5.2%	58 100.0%	3
小売	1 2.0%	6 12.2%	1 2.0%	7 14.3%	2 4.1%	49 100.0%	1
情報通信	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	1
飲食・宿泊	0 0.0%	5 20.0%	5 20.0%	5 20.0%	2 8.0%	25 100.0%	0
サービス	5 9.8%	5 9.8%	11 21.6%	9 17.6%	2 3.9%	51 100.0%	2
建設	3 7.9%	0 0.0%	7 18.4%	4 10.5%	0 0.0%	38 100.0%	0
観光関連	2 4.0%	8 16.0%	8 16.0%	9 18.0%	4 8.0%	50 100.0%	0



参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	12	( 2.3 )
明治	17	( 3.3 )
大正	10	( 1.9 )
昭和19年以前	29	( 5.6 )
20～39年	206	( 39.9 )
40～49年	88	( 17.1 )
昭和50年以降	89	( 17.2 )
平成	65	( 12.6 )
無回答	0	( 0.0 )
不明	0	( 0.0 )
合計	516	( 100.0 )

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	511	( 99.0 )
個人	5	( 1.0 )
無回答	0	( 0.0 )
合計	516	( 100.0 )

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	270	( 52.3 )	非製造業	246	( 47.7 )
西陣	26	( 5.0 )	卸売	61	( 11.8 )
染色	37	( 7.2 )	小売	50	( 9.7 )
印刷	24	( 4.7 )	情報通信	19	( 3.7 )
窯業	20	( 3.9 )	飲食・宿泊	25	( 4.8 )
化学	22	( 4.3 )	サービス	53	( 10.3 )
金属	28	( 5.4 )	建設	38	( 7.4 )
機械	29	( 5.6 )	不明	0	( 0.0 )
その他の製造	84	( 16.3 )	合計	516	( 100.0 )

※観光関連（観光関連の売上が25%以上）

50 ( 9.7 )

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
～100万円	2	( 0.4 )	3001～5000	88	( 17.2 )
101～200	0	( 0.0 )	5001～1億円	46	( 9.0 )
201～500	33	( 6.5 )	1億円超	12	( 2.3 )
501～1000	184	( 36.0 )	無回答	0	( 0.0 )
1001～3000	146	( 28.6 )	合計	511	( 100.0 )

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0～4人	74	( 14.3 )	50～99人	67	( 13.0 )
5～9人	79	( 15.3 )	100人以上	48	( 9.3 )
10人～19人	99	( 19.2 )	無回答	0	( 0.0 )
20人～29人	67	( 13.0 )	合計	516	( 100.0 )
30～49人	82	( 15.9 )			

# 第106回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成25年3月4日（月）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名											
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話					
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)				年	従業員数					人
※業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造										
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設										
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。										
主な製品、商品、サービス											
御記入者	部課：		役職：			氏名：					

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期 間	平成25年1月～3月の実績 (前年の同期と比較して)			平成25年4月～6月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴社の業況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益（税引前）		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕入単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同業他社との競争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剩	適 正	不 足	過 剩	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化     | 2 生産・経営の合理化   | 3 人材確保・育成   |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓    | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化  | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他( )    |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。（複数回答可）

- |           |          |                |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化    | 2 売上不振   | 3 人材育成         |
| 4 値下要請    | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に )価格上昇 |
| 7 金利上昇    | 8 販売価格安  | 9 技術力不足        |
| 10 後継者問題  | 11 人手不足  | 12 人件費増加       |
| 13 その他( ) |          |                |

（裏面も御記入ください。）

(5)平成25年度の貴社の設備投資計画についてお尋ねします。(非製造業の方も御回答ください。)

- A. 平成25年度に貴社は設備投資を計画していますか。該当するものに○印をお付けください。  
また、「3 計画はない」を選択された方はその理由を御記入ください。

1 計画がある	2 実施を検討中
3 計画はない (理由:	)

- B. 「計画がある」又は「実施を検討中」と回答された方にお尋ねします。  
設備投資の目的はどのようなものですか。  
該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)  
また、回答いただける範囲で具体的な設備投資の内容及び設備投資を行う理由について御記入ください。

1 能力増強	2 維持・補修・更新	3 省力化・合理化	4 新規事業・新製品
5 新店舗開設	6 研究開発	7 その他(	)

具体的な設備投資の内容:

(例)新しい生産機械を導入する。  
新しい研究機材を導入する。

設備投資を行う理由

(例)現在稼働中の設備が耐用年数を過ぎたため、新しい設備の導入が必要になった。  
新規分野を開拓するため、新商品を研究・開発が必要なため。

- C. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。  
投資額の対前年度伸び率はどの程度を予定していますか。  
該当するものを下記から選び、○印をお付けください。また、その理由を御記入ください。

1 前年度と同じ	2 1~9%の増	3 10~19%の増	4 20%以上の増
5 1~9%の減	6 10~19%の減	7 20%以上の減	8 不明

理由:

- D. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。  
計画はいつ頃を予定していますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。

1 4月~6月期	2 7月~9月期	3 10月~12月期	4 26年1月~3月期
----------	----------	------------	-------------

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)

京都市 産業観光局 (TEL:222-3325 FAX:222-3331)